

三種町国民健康保険 第3期データヘルス計画及び 第4期特定健康診査等実施計画

【計画期間：令和6年度～令和11年度】

令和6年3月
三種町

はじめに	1
第1部 第3期データヘルス計画	
第1章 計画策定について	
1. 計画の趣旨	3
2. 計画期間	4
3. 実施体制・関係者連携	4
4. データ分析期間	5
第2章 地域の概況	
1. 地域の特性	6
2. 人口構成	7
3. 医療基礎情報	10
4. 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況	11
5. 平均余命と平均自立期間	16
6. 介護保険の状況	18
7. 死亡の状況	24
第3章 過去の取り組みの考察	
1. 取り組みと評価	27
第4章 健康・医療情報等の分析	
1. 医療費の基礎集計	29
2. 生活習慣病に関する分析	38
3. 健康診査データによる分析	43
4. 被保険者の階層化	47
5. 受診行動適正化に関する分析	49
第5章 健康課題の抽出と保健事業の実施内容	
1. 分析結果に基づく健康課題の抽出と解決のための対策	53
2. 健康課題を解決するための個別の保健事業	54
第6章 その他	
1. 計画の評価及び見直し	66
2. 計画の公表・周知	66
3. 個人情報の取扱い	66
4. 地域包括ケアに係る取り組み及びその他の留意事項	67
第2部 第4期特定健康診査等実施計画	
第1章 特定健康診査等実施計画について	
1. 計画策定の趣旨	69
2. 特定健康診査等実施計画の位置づけ	69
3. 計画期間	69
4. データ分析期間	70
第2章 特定健康診査及び特定保健指導の現状と評価	
1. 取り組みの実施内容	71
2. 特定健康診査の受診状況	72
3. 特定保健指導の実施状況	75
4. メタボリックシンドローム該当状況	81
5. 第3期計画の評価と考察	83

-目次-

第3章	特定健康診査に係る詳細分析	
	1. 特定健診の受診者と未受診者の生活習慣病治療状況	84
	2. 特定保健指導対象者に係る分析	85
第4章	特定健康診査等実施計画	
	1. 目標	91
	2. 対象者数推計	91
	3. 実施方法	93
	4. 目標達成に向けての取り組み	97
	5. 実施スケジュール	98
第5章	その他	
	1. 個人情報の保護	99
	2. 特定健康診査等実施計画の公表及び周知	99
	3. 特定健康診査等実施計画の評価及び見直し	99
	4. 他の健診との連携	100
	5. 実施体制の確保及び実施方法の改善	100
巻末資料		
	1. 用語解説集	102
	2. 秋田県の共通指標一覧	104

はじめに

厚生労働省が令和元年に策定した「健康寿命延伸プラン」においては、令和22年までに健康寿命を男女ともに3年以上延伸し(平成28年比)、75歳以上とすることを目指すとしている。またそのためには、「次世代を含めたすべての人の健やかな生活習慣形成」、「疾病予防・重症化予防」、「介護予防・フレイル対策、認知症予防」の三分野を中心に取り組みを推進することとある。健康寿命の延伸は社会全体の課題であるが、目標達成に向けては地域の特性や現状を踏まえた健康施策の検討・推進が必要不可欠であり、目標達成に向けて地方自治体が担う役割は大きくなっている。

また、令和2年から世界的に大流行した新型コロナウイルス感染症は、国内でも感染が拡大し、価値観や生活様式等が大きく変化した。健康・医療分野においては、コロナ禍の中で全国的に健(検)診や医療機関の受診控えがみられ、健(検)診受診率、医療費の動向及び疾病構造等に影響が出た。一方、コロナ禍をきっかけとして、オンライン診療やオンライン服薬指導、ICTを活用した保健指導等の支援サービスの普及が加速度的に進むなど、現在は大きな転換期にある。

三種町国民健康保険においては、平成30年度から令和5年度までの目標を設定した「データヘルス計画」及び「特定健康診査等実施計画」を策定し、計画に定める保健事業を推進してきた。「データヘルス計画」はデータ分析に基づく保健事業の実施内容やその目的・目標を、「特定健康診査実施計画」は保健事業の中核をなす特定健康診査・特定保健指導の実施方法や目標等をそれぞれ定めたもので、いずれも、被保険者の生活の質(QOL)の維持・向上、健康寿命の延伸、その結果としての医療費適正化に資することを目的としている。このたび両計画が最終年度を迎えることから、過去の取り組みの成果・課題を踏まえ、より効果的・効率的に保健事業を実施するために、「第3期データヘルス計画」と「第4期特定健康診査等実施計画」を策定する。

計画書の構成

		目的	根拠法令
第1部	第3期データヘルス計画	健康・医療情報等を活用したデータ分析に基づき、PDCAサイクルに沿った効率的かつ効果的な保健事業の実施計画を定め、実施及び評価を行う。	国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針(厚生労働省告示)
第2部	第4期特定健康診査等実施計画	特定健康診査等基本指針(厚生労働省告示)に基づき、特定健康診査及び特定保健指導の実施方法や目標等、基本的な事項を定める。	高齢者の医療の確保に関する法律第19条

第1部
第3期データヘルス計画

第1章 計画策定について

1. 計画の趣旨

(1) 背景

平成25年6月に閣議決定された「日本再興戦略」において、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータ分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求めるとともに、市町村国保が同様の取組を行うことを推進する。」と掲げられた。またこれを受け、「国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針」の一部が改正され、「市町村及び組合は(中略)健康・医療情報を活用してPDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るための保健事業の実施計画を策定した上で、保健事業の実施及び評価を行うこと。」と定められた。その後、平成30年4月から都道府県が財政運営の責任主体として共同保険者となり、また、令和2年7月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2020(骨太方針2020)」において、データヘルス計画の標準化等の取り組みの推進が掲げられ、令和4年12月の経済財政諮問会議における「新経済・財政再生計画 改革工程表2022」においては、データヘルス計画の標準化の進展にあたり、保険者共通の評価指標やアウトカムベースでの適切なKPI※の設定を推進するとの方針が示された。このように、全ての保険者にデータヘルス計画の策定が求められ、効果的・効率的な保健事業の実施に向けて、標準化の取り組みの推進や評価指標の設定の推進が進められている。

市町村国保においては、幅広い年代の被保険者が存在するため、これらの年代の身体的な状況等に応じた健康課題を的確に捉え、課題に応じた保健事業を実施することにより、健康の保持増進、生活の質(QOL)の維持及び向上が図られ、結果として、医療費の適正化に資すると考えられる。本計画は、前期計画における実施結果等を踏まえ、PDCAサイクルに沿った保健事業の展開、達成すべき目標やその指標等を定めたものである。計画の推進に当たっては、医療介護分野における連携を強化し、地域の実情に根差したきめ細かな支援の実現を目指し、地域で一体となって被保険者を支える地域包括ケアの充実・強化に努めるものとする。

※KPI…Key Performance Indicatorの略称。重要業績評価指標。

(2) 計画の位置づけ

保健事業の実施計画(データヘルス計画)とは、被保険者の健康の保持増進に資することを目的として、保険者が効果的・効率的な保健事業の実施を図るため、特定健康診査・特定保健指導の結果、レセプトデータ等の健康・医療情報を活用して、PDCAサイクルに沿って運用するものである。

データヘルス計画の策定に当たっては、健康増進法に基づく「基本的な方針」を踏まえ、健康寿命の延伸と健康格差の縮小等を基本的な方向とするとともに、関連する他計画(健康増進計画、医療費適正化計画、介護保険事業計画、高齢者保健事業の実施計画(データヘルス計画)、国民健康保険運営方針、特定健康診査等実施計画)と調和のとれた内容とする。本計画において推進・強化する取り組み等については他計画の関連事項・関連目標を踏まえて検討し、関係者等に共有し、理解を図るものとする。

2. 計画期間

計画期間は、関係する計画との整合性を踏まえ、令和6年度から令和11年度までの6年間とする。

3. 実施体制・関係者連携

(1) 保険者内の連携体制の確保

三種町国民健康保険における健康課題の分析や計画の策定、保健事業の実施、評価等は、保健衛生部局等の関係部局や県、保健所、国民健康保険団体連合会等の関係機関の協力を得て、国保部局が主体となっていく。国民健康保険には幅広い年代の被保険者が属し、その健康課題もさまざまであることから、後期高齢者医療部局や介護保険部局、生活保護部局（福祉事務所等）等と連携してそれぞれの健康課題を共有するとともに、後期高齢者や生活保護受給者の健康課題も踏まえて保健事業を展開する。

国保部局は、研修等による職員の資質向上に努め、計画期間を通じてPDCAサイクルに沿った計画運用ができるよう、体制を確保する。

(2) 関係機関との連携

計画の実効性を高めるためには、関係機関との連携・協力が重要となる。共同保険者である秋田県のほか、国民健康保険団体連合会や連合会内に設置される支援・評価委員会、地域の医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会、栄養士会等の保健医療関係者等、保険者協議会、後期高齢者医療広域連合、健康保険組合等の他の医療保険者、地域の医療機関や大学等の社会資源等と健康課題を共有し、連携強化に努める。

また、計画は、被保険者の健康保持増進が最終的な目標であり、被保険者自身が主体的、積極的に健康づくりに取り組むことが重要であることから、自治会等の地域組織との意見交換や情報提供の場の設置、被保険者向けの説明会の実施等、被保険者が議論に参画できる体制を構築し、被保険者の意見反映に努める。

4. データ分析期間

■入院（DPCを含む）、入院外、調剤の電子レセプト

単年分析

令和4年4月～令和5年3月診療分（12カ月分）

年度分析

令和2年度…令和2年4月～令和3年3月診療分（12カ月分）

令和3年度…令和3年4月～令和4年3月診療分（12カ月分）

令和4年度…令和4年4月～令和5年3月診療分（12カ月分）

■健康診査データ

単年分析

令和4年4月～令和5年3月健診分（12カ月分）

年度分析

令和2年度…令和2年4月～令和3年3月健診分（12カ月分）

令和3年度…令和3年4月～令和4年3月健診分（12カ月分）

令和4年度…令和4年4月～令和5年3月健診分（12カ月分）

■国保データベース（KDB）システムデータ

平成30年度～令和4年度（5年分）

■介護データ（KDB「要介護（支援）者突合状況」を使用）

単年分析

令和4年4月～令和5年3月分（12カ月分）

年度分析

令和2年度…令和2年4月～令和3年3月分（12カ月分）

令和3年度…令和3年4月～令和4年3月分（12カ月分）

令和4年度…令和4年4月～令和5年3月分（12カ月分）

第2章 地域の概況

1. 地域の特性

(1) 地理的・社会的背景

琴丘町、山本町、八竜町の三町が合併して誕生した三種町（みたねちょう）は、秋田県北西部に位置し、東は上小阿仁村、南は男鹿市、大潟村、八郎潟町、五城目町、西は日本海、北は能代市に接している。東西が約25キロメートル、南北が約20キロメートルで、房住山に源を発する三種川がほぼ中央を流れ、八郎湖へと注いでおり、東部の丘陵地から西部の平坦地までゆるやかに傾斜した地勢となっている。

気候は、四季の移り変わりが明瞭で、対馬暖流の影響により年間の平均気温は10℃前後と温暖であるが、冬は低温で日本海側特有の北西に強い季節風が吹き、降雪日数は40～50日で、積雪は平野部で10～50センチメートル、山間部では100センチメートル以上になる。

三種町は平成18年3月20日、琴丘町、山本町、八竜町の三町が合併して誕生した。その名称は、旧三町を流れる三種川に由来する。「長寿の種」「福祿の種」「楽の種」の三つの種を語源とする三種川は、旧琴丘町の房住山に源を発し、旧山本町を横断、旧八竜町の八郎湖に注ぎ、この地域の大動脈として生活や農業などに深い関わり合いをもっている。

三種川のように旧三町が一体感を持てるように、旧三町で知恵を出し合い活力あるまちづくりができるように、という願いが込められている。

(2) 医療アクセスの状況

以下は、本町の令和4年度における、医療提供体制を示したものである。

医療提供体制（令和4年度）

医療項目	三種町	県	同規模	国
千人当たり				
病院数	0.3	0.3	0.3	0.3
診療所数	3.4	4.2	2.8	3.7
病床数	43.4	74.1	45.4	54.8
医師数	3.1	12.6	6.6	12.4
外来患者数	841.4	759.1	721.7	687.8
入院患者数	25.3	22.4	21.9	17.7

出典：国保データベース（KDB）システム「地域の全体像の把握」

2. 人口構成

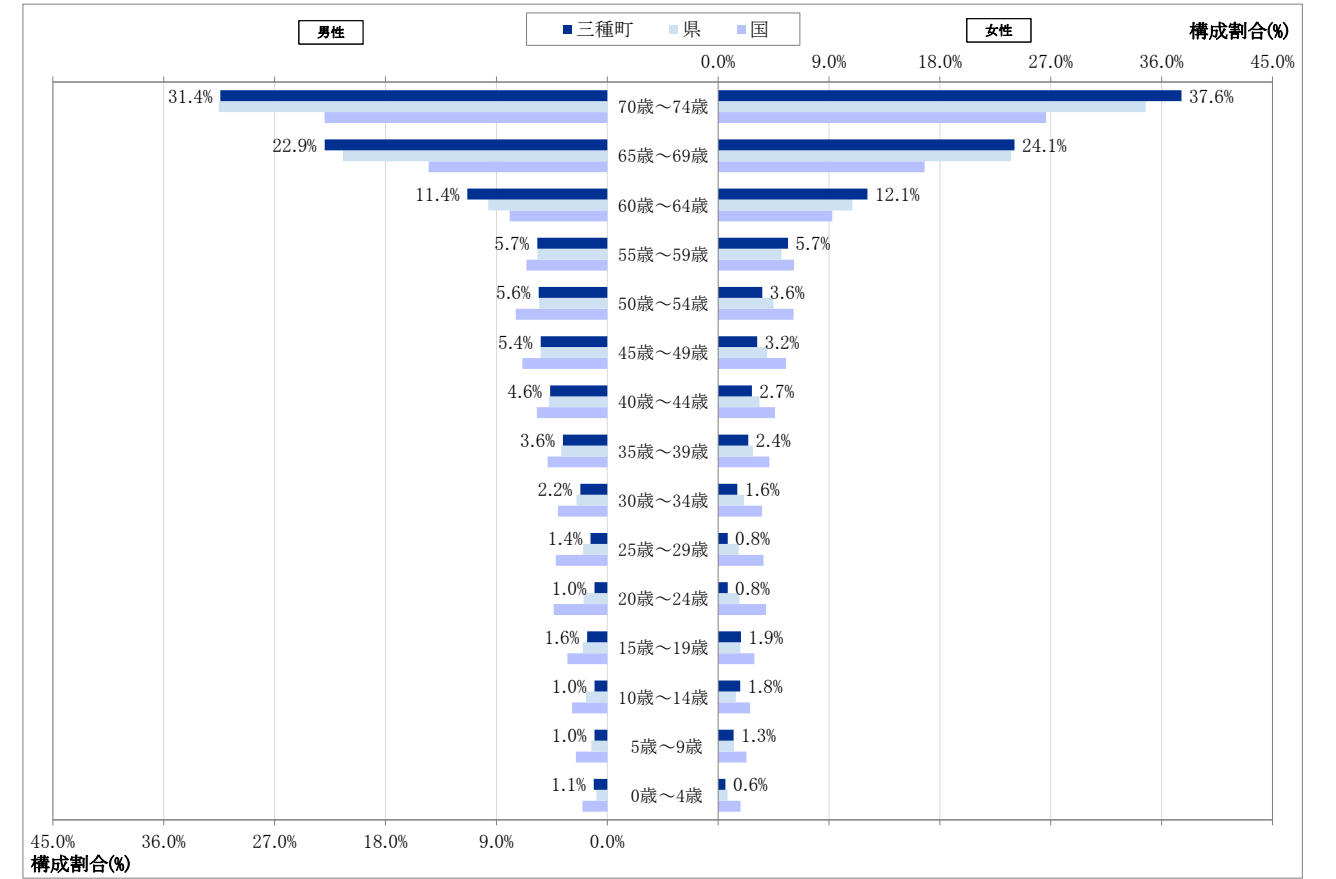
以下は、本町の令和4年度における人口構成概要を示したものである。高齢化率(65歳以上)は45.5%であり、県との比較で1.2倍、同規模との比較で1.3倍となっている。また、国民健康保険被保険者数は3,506人で、町の人口に占める国民健康保険加入率は23.0%である。国民健康保険被保険者平均年齢は59.9歳である。

人口構成概要(令和4年度)

区分	人口総数(人)	高齢化率 (65歳以上)	国保被保険者数 (人)	国保加入率	国保被保険者 平均年齢(歳)	出生率	死亡率
三種町	15,253	45.5%	3,506	23.0%	59.9	3.3	21.0
県	950,928	37.6%	193,728	20.4%	58.6	4.7	16.2
同規模	15,346	36.0%	3,782	23.2%	55.9	5.3	14.7
国	123,214,261	28.7%	27,488,882	22.3%	51.9	6.8	11.1

※「県」は秋田県を指す。以下全ての表において同様である。
出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

男女・年齢階層別 被保険者数構成割合ピラミッド(令和4年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「人口及び被保険者の状況」

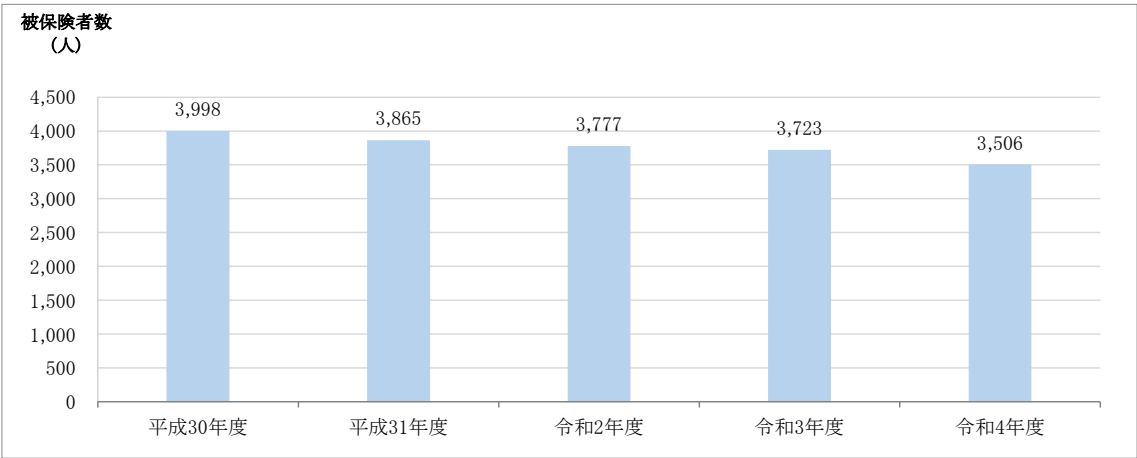
以下は、本町の平成30年度から令和4年度における、人口構成概要を年度別に示したものである。令和4年度を平成30年度と比較すると、国民健康保険被保険者数3,506人は平成30年度3,998人より492人減少しており、国民健康保険被保険者平均年齢59.9歳は平成30年度58.3歳より1.6歳上昇している。

年度別 人口構成概要

区分		人口総数 (人)	高齢化率 (65歳以上)	国保被保険者数 (人)	国保加入率	国保被保険者 平均年齢(歳)	出生率	死亡率
三種町	平成30年度	17,076	39.6%	3,998	23.4%	58.3	4.3	18.6
	平成31年度			3,865	22.6%	58.6		
	令和2年度			3,777	22.1%	59.2		
	令和3年度			3,723	21.8%	59.7		
	令和4年度	15,253	45.5%	3,506	23.0%	59.9	3.3	21.0
県	平成30年度	1,014,579	33.8%	217,724	21.5%	57.3	5.8	14.6
	平成31年度			211,916	20.9%	57.7		
	令和2年度			211,643	20.9%	58.2		
	令和3年度			204,346	20.1%	58.6		
	令和4年度	950,928	37.6%	193,728	20.4%	58.6	4.7	16.2
同規模	平成30年度	15,699	32.2%	4,221	25.4%	54.2	6.6	13.7
	平成31年度	15,832		4,062	24.3%	54.7		13.8
	令和2年度	15,975		4,068	24.1%	55.4		13.7
	令和3年度	16,135		3,967	23.2%	55.7		13.6
	令和4年度	15,346	36.0%	3,782	23.2%	55.9	5.3	14.7
国	平成30年度	125,640,987	26.6%	30,811,133	24.5%	51.3	8.0	10.3
	平成31年度			29,893,491	23.8%	51.6		
	令和2年度			29,496,636	23.5%	52.0		
	令和3年度			28,705,575	22.9%	52.2		
	令和4年度	123,214,261	28.7%	27,488,882	22.3%	51.9	6.8	11.1

出典：国保データベース (KDB) システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」
 ※項目によっては国勢調査の結果を元としているため、平成30年度～令和3年度の数値が同一となる
 ※同規模については、年度ごとに人口変動などにより、対象となる自治体異なるため、人口総数などが変化する

年度別 被保険者数



出典：国保データベース (KDB) システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

以下は、男女・年齢階層別被保険者数を年度別に示したものである。

年度別 男女・年齢階層別国民健康保険被保険者数

単位：人

年齢階層	平成30年度			平成31年度			令和2年度		
	男女合計	男性	女性	男女合計	男性	女性	男女合計	男性	女性
0歳～4歳	32	18	14	30	17	13	33	21	12
5歳～9歳	56	23	33	58	22	36	45	15	30
10歳～14歳	59	31	28	54	30	24	56	30	26
15歳～19歳	78	36	42	61	29	32	63	31	32
20歳～24歳	55	31	24	58	31	27	48	25	23
25歳～29歳	63	37	26	58	34	24	48	31	17
30歳～34歳	104	66	38	93	57	36	80	54	26
35歳～39歳	114	80	34	121	83	38	116	81	35
40歳～44歳	162	104	58	154	97	57	142	89	53
45歳～49歳	156	101	55	150	90	60	153	95	58
50歳～54歳	188	118	70	181	112	69	178	112	66
55歳～59歳	270	143	127	250	134	116	241	128	113
60歳～64歳	580	288	292	530	253	277	477	231	246
65歳～69歳	1,078	549	529	980	506	474	910	465	445
70歳～74歳	1,003	455	548	1,087	506	581	1,187	575	612
合計	3,998	2,080	1,918	3,865	2,001	1,864	3,777	1,983	1,794

年齢階層	令和3年度			令和4年度		
	男女合計	男性	女性	男女合計	男性	女性
0歳～4歳	27	18	9	30	20	10
5歳～9歳	46	16	30	40	19	21
10歳～14歳	59	32	27	49	19	30
15歳～19歳	60	27	33	61	30	31
20歳～24歳	44	17	27	32	19	13
25歳～29歳	39	26	13	38	25	13
30歳～34歳	73	45	28	66	40	26
35歳～39歳	111	70	41	107	66	41
40歳～44歳	140	91	49	131	85	46
45歳～49歳	155	93	62	152	99	53
50歳～54歳	168	113	55	162	102	60
55歳～59歳	212	113	99	199	104	95
60歳～64歳	485	238	247	411	208	203
65歳～69歳	857	434	423	823	420	403
70歳～74歳	1,247	595	652	1,205	575	630
合計	3,723	1,928	1,795	3,506	1,831	1,675

出典：国保データベース（KDB）システム「人口及び被保険者の状況」

3. 医療基礎情報

以下は、本町の令和4年度における、医療基礎情報を示したものである。

医療基礎情報（令和4年度）

医療項目	三種町	県	同規模	国
受診率	866.7	781.5	743.6	705.4
一件当たり医療費(円)	38,930	40,490	41,650	39,080
一般(円)	38,930	40,490	41,650	39,080
退職(円)	0	51,540	21,390	67,230
外来				
外来費用の割合	58.6%	58.5%	57.4%	60.4%
外来受診率	841.4	759.1	721.7	687.8
一件当たり医療費(円)	23,510	24,380	24,640	24,220
一人当たり医療費(円) ※	19,780	18,500	17,780	16,660
一日当たり医療費(円)	17,180	17,710	17,000	16,390
一件当たり受診回数	1.4	1.4	1.4	1.5
入院				
入院費用の割合	41.4%	41.5%	42.6%	39.6%
入院率	25.3	22.4	21.9	17.7
一件当たり医療費(円)	552,840	585,580	601,790	617,950
一人当たり医療費(円) ※	13,960	13,140	13,180	10,920
一日当たり医療費(円)	30,510	33,670	36,230	39,370
一件当たり在院日数	18.1	17.4	16.6	15.7

出典：国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」
※一人当たり医療費…1カ月分相当

4. 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況

(1) 特定健康診査

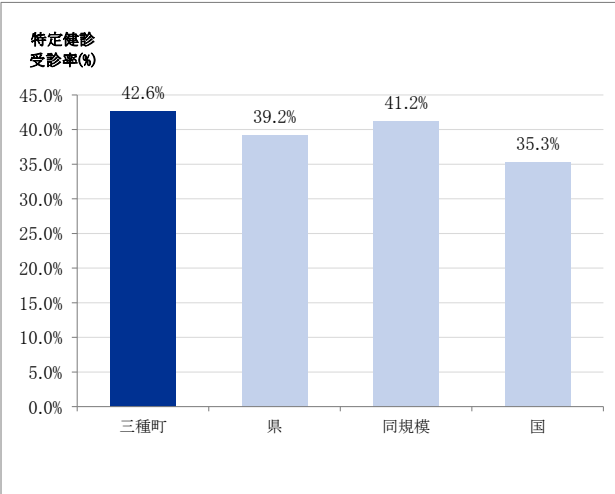
本町の令和4年度における、40歳から74歳の特定健康診査受診率は以下のとおりである。

特定健康診査受診率（令和4年度）

区分	特定健診受診率
三種町	42.6%
県	39.2%
同規模	41.2%
国	35.3%

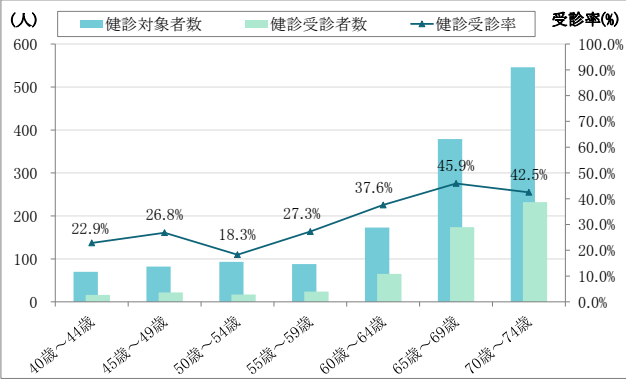
出典：国保データベース（KDB）システム「地域の全体像の把握」

特定健康診査受診率（令和4年度）



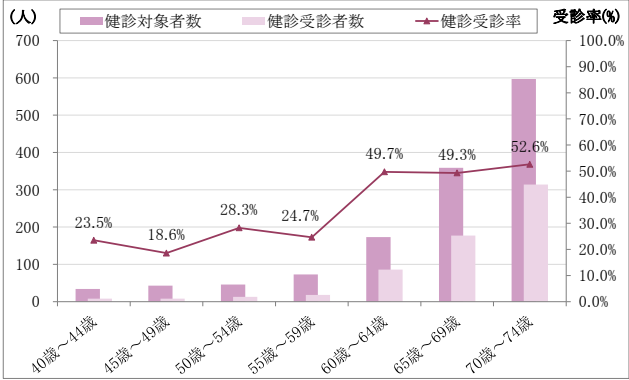
出典：国保データベース（KDB）システム「地域の全体像の把握」

（男性）年齢別特定健康診査受診率（令和4年度）



出典：国保データベース（KDB）システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

（女性）年齢別特定健康診査受診率（令和4年度）



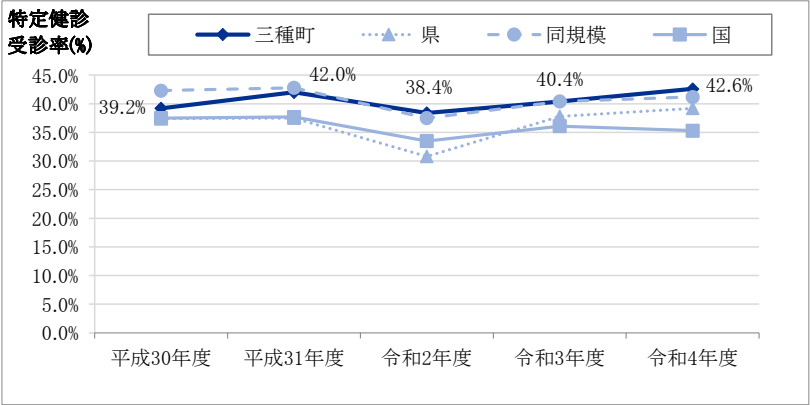
以下は、本町の平成30年度から令和4年度における、40歳から74歳の特定健康診査受診率を年度別に示したものである。令和4年度の特定健康診査受診率42.6%は平成30年度39.2%より3.4ポイント増加している。

年度別 特定健康診査受診率

区分	特定健診受診率				
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
三種町	39.2%	42.0%	38.4%	40.4%	42.6%
県	37.4%	37.5%	30.8%	37.8%	39.2%
同規模	42.3%	42.8%	37.5%	40.4%	41.2%
国	37.5%	37.7%	33.5%	36.1%	35.3%

出典：国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

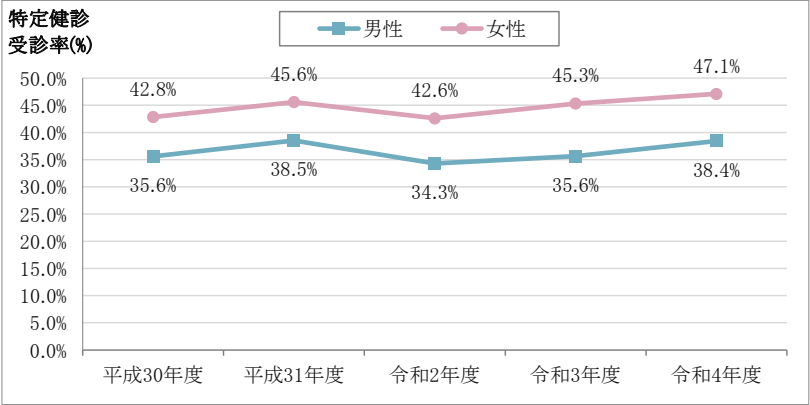
年度別 特定健康診査受診率



出典：国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

男女別の特定健康診査の受診率をみると、男性の令和4年度受診率38.4%は平成30年度35.6%より2.8ポイント増加しており、女性の令和4年度受診率47.1%は平成30年度42.8%より4.3ポイント増加している。

年度・男女別 特定健康診査受診率



出典：国保データベース (KDB) システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

(2) 特定保健指導

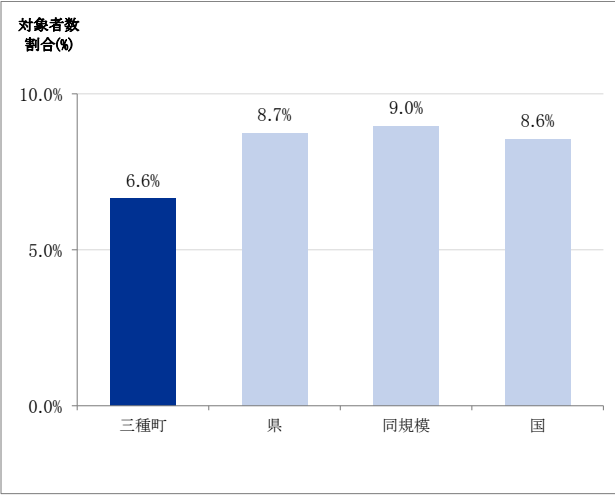
本町の令和4年度における、特定保健指導の実施状況は以下のとおりである。

特定保健指導実施状況（令和4年度）

区分	動機付け支援 対象者数割合	積極的支援 対象者数割合	支援対象者数割合	特定保健指導 実施率
三種町	6.6%	2.6%	9.3%	19.3%
県	8.7%	2.5%	11.2%	12.1%
同規模	9.0%	2.8%	11.8%	17.1%
国	8.6%	3.2%	11.8%	9.0%

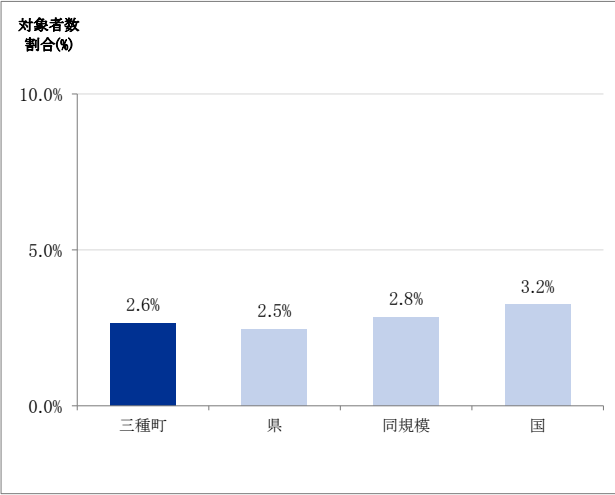
動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合
特定保健指導実施率…最新データ反映前のため、最終結果とは異なる。
出典：国保データベース（KDB）システム「地域の全体像の把握」

動機付け支援対象者数割合（令和4年度）



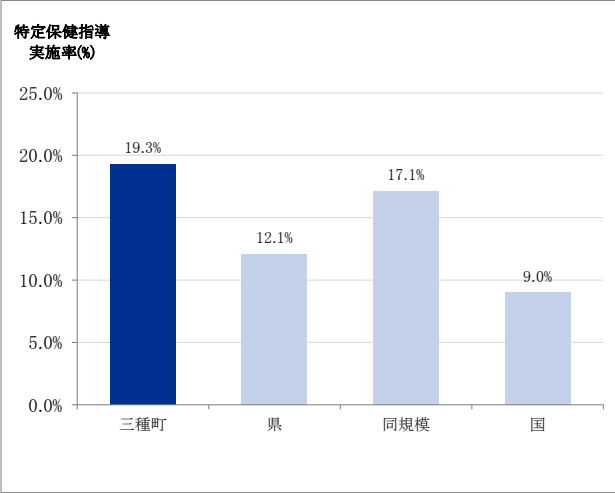
出典：国保データベース（KDB）システム「地域の全体像の把握」

積極的支援対象者数割合（令和4年度）



出典：国保データベース（KDB）システム「地域の全体像の把握」

特定保健指導実施率（令和4年度）



出典：国保データベース（KDB）システム「地域の全体像の把握」

以下は、本町の平成30年度から令和4年度における、特定保健指導の実施状況を年度別に示したものである。令和4年度の特定保健指導実施率19.3%は平成30年度11.7%より7.6ポイント増加している。

年度別 動機付け支援対象者数割合

区分	動機付け支援対象者数割合				
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
三種町	7.2%	8.0%	8.7%	8.3%	6.6%
県	9.6%	9.5%	8.8%	9.0%	8.7%
同規模	9.3%	9.2%	9.2%	9.3%	9.0%
国	9.0%	8.9%	9.0%	8.9%	8.6%

年度別 積極的支援対象者数割合

区分	積極的支援対象者数割合				
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
三種町	4.0%	3.5%	3.2%	2.9%	2.6%
県	2.8%	2.8%	2.5%	2.6%	2.5%
同規模	3.1%	3.0%	2.9%	3.0%	2.8%
国	3.2%	3.2%	3.2%	3.3%	3.2%

年度別 支援対象者数割合

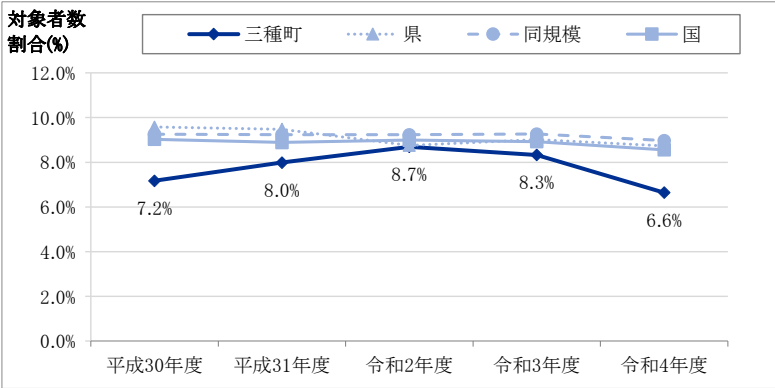
区分	支援対象者数割合				
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
三種町	11.2%	11.5%	11.9%	11.2%	9.3%
県	12.4%	12.3%	11.2%	11.7%	11.2%
同規模	12.4%	12.2%	12.1%	12.2%	11.8%
国	12.2%	12.1%	12.2%	12.2%	11.8%

年度別 特定保健指導実施率

区分	特定保健指導実施率				
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
三種町	11.7%	11.6%	8.0%	25.6%	19.3%
県	19.9%	20.2%	19.9%	18.8%	12.1%
同規模	42.2%	44.1%	44.2%	44.1%	17.1%
国	23.8%	24.2%	23.8%	24.0%	9.0%

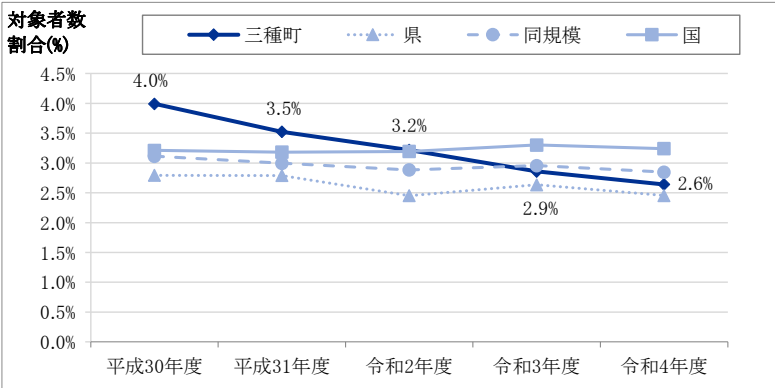
動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合
特定保健指導実施率(令和4年度)…最新データ反映前のため、最終結果とは異なる。
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 動機付け支援対象者数割合



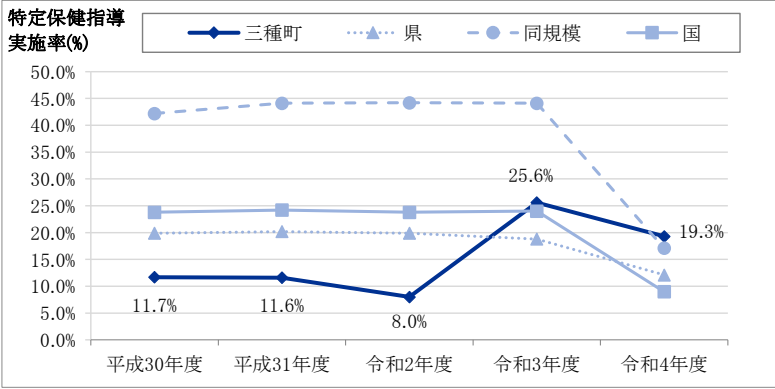
出典:国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

年度別 積極的支援対象者数割合



出典:国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

年度別 特定保健指導実施率



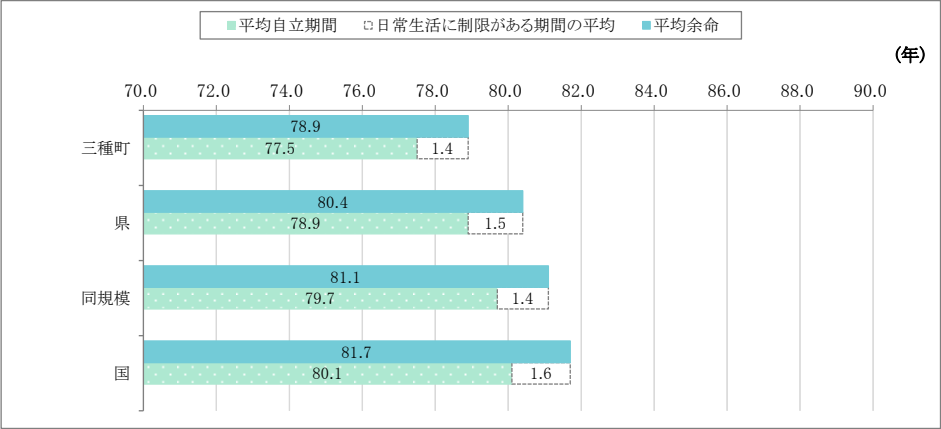
出典:国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

5. 平均余命と平均自立期間

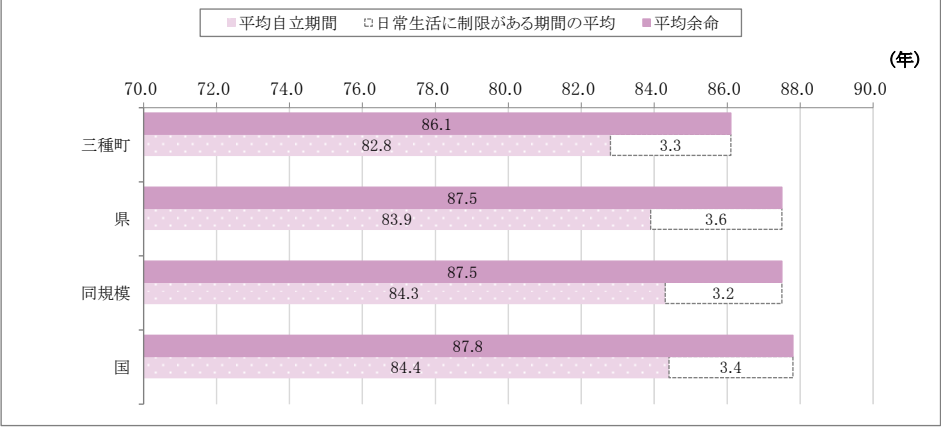
以下は、令和4年度における平均余命と平均自立期間の状況を示したものである。平均余命は、ある年齢の人々がその後何年生きられるかという期待値を指し、ここでは0歳時点の平均余命を示している。また、平均自立期間は、要介護2以上になるまでの期間を「日常生活動作が自立している期間」としてその平均を算出したもので、健康寿命の指標の一つである。平均余命と平均自立期間の差は、日常生活に制限がある期間を意味している。

本町の男性の平均余命は78.9年、平均自立期間は77.5年である。日常生活に制限がある期間の平均は1.4年で、国の1.6年よりも短い傾向にある。本町の女性の平均余命は86.1年、平均自立期間は82.8年である。日常生活に制限がある期間の平均は3.3年で、国の3.4年よりも短い傾向にある。

(男性) 平均余命と平均自立期間、日常生活に制限がある期間の平均 (令和4年度)

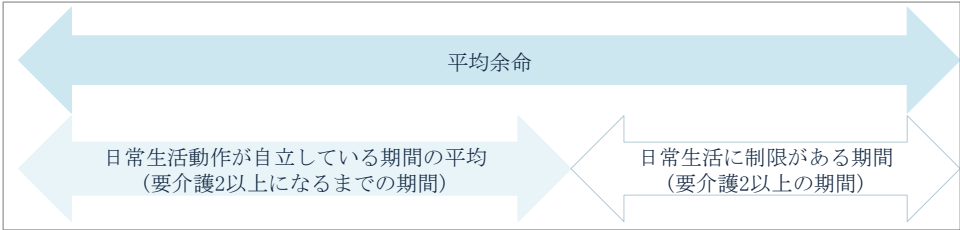


(女性) 平均余命と平均自立期間、日常生活に制限がある期間の平均 (令和4年度)



出典：国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

【参考】 平均余命と平均自立期間について



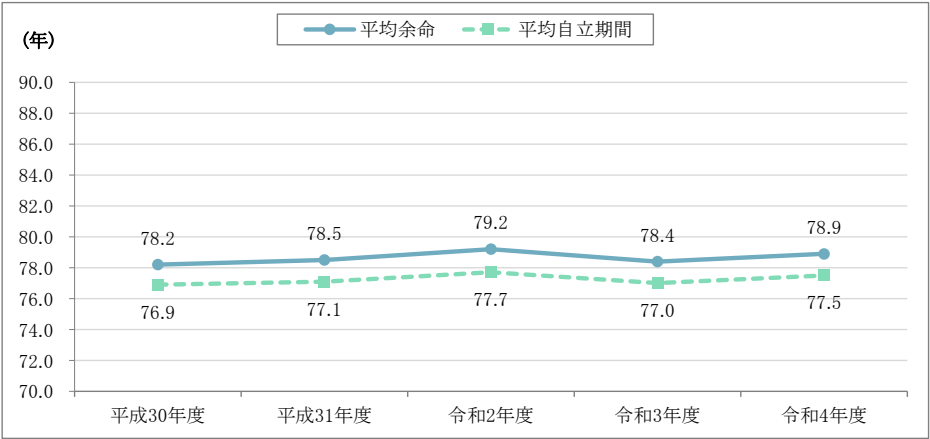
以下は、本町の平成30年度から令和4年度における平均余命と平均自立期間の状況を示したものである。男性における令和4年度の平均自立期間77.5年は平成30年度76.9年から0.6年延伸している。女性における令和4年度の平均自立期間82.8年は平成30年度83.7年から0.9年短縮している。

年度・男女別 平均余命と平均自立期間、日常生活に制限がある期間の平均

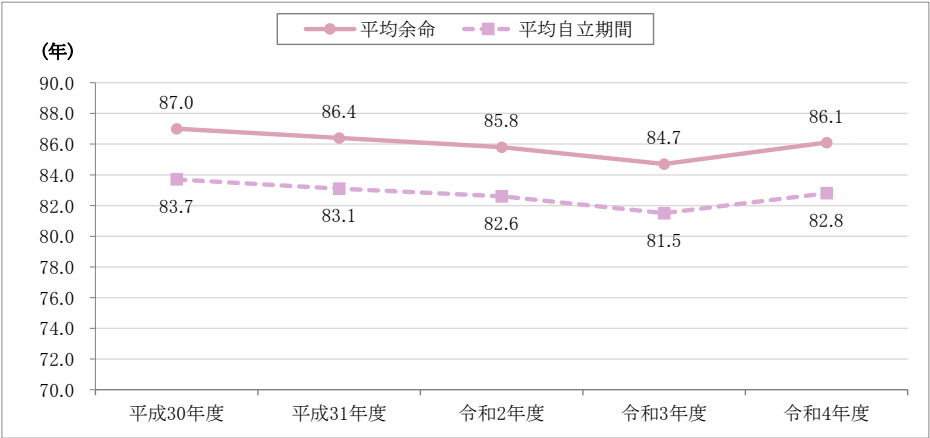
年度	男性			女性		
	平均余命(年)	平均自立期間(年)	日常生活に制限がある期間の平均(年)	平均余命(年)	平均自立期間(年)	日常生活に制限がある期間の平均(年)
平成30年度	78.2	76.9	1.3	87.0	83.7	3.3
平成31年度	78.5	77.1	1.4	86.4	83.1	3.3
令和2年度	79.2	77.7	1.5	85.8	82.6	3.2
令和3年度	78.4	77.0	1.4	84.7	81.5	3.2
令和4年度	78.9	77.5	1.4	86.1	82.8	3.3

出典：国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

(男性) 年度別 平均余命と平均自立期間



(女性) 年度別 平均余命と平均自立期間



出典：国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

6. 介護保険の状況

(1) 要介護(支援)認定状況

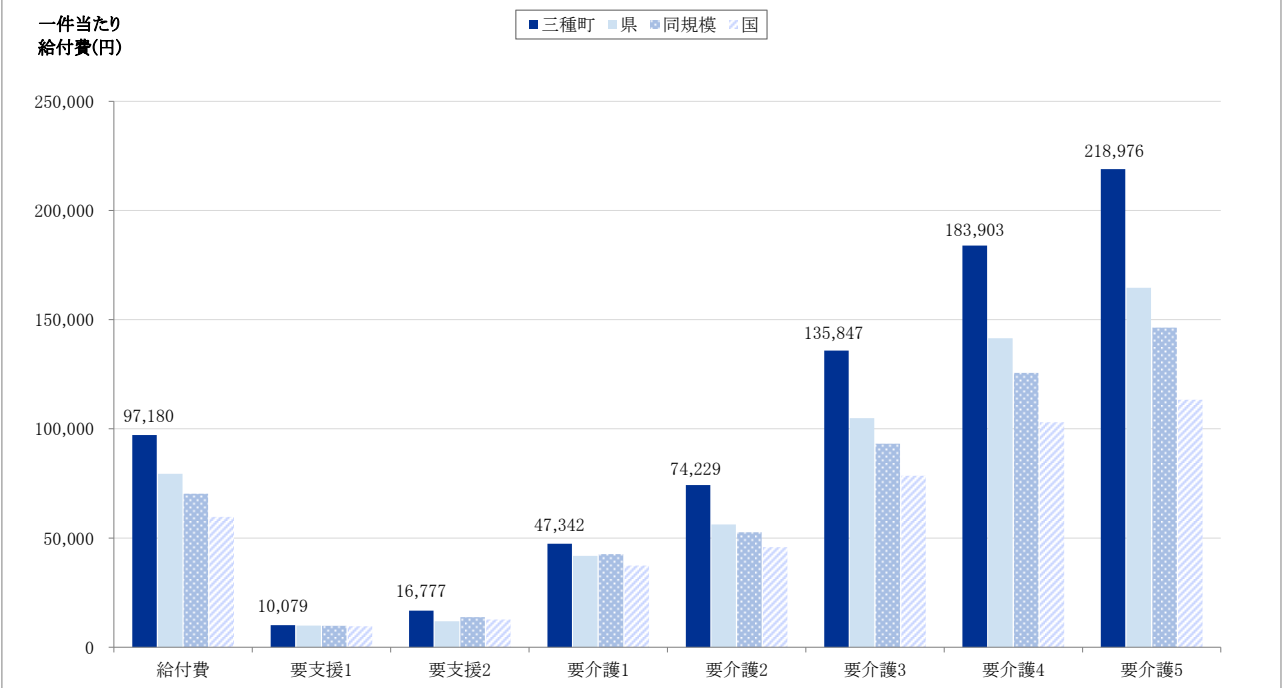
以下は、本町の令和4年度における、要介護(支援)認定率及び介護給付費等の状況を示したものである。

要介護(支援)認定率及び介護給付費等の状況(令和4年度)

区分	三種町	県	同規模	国
認定率	22.1%	20.5%	18.8%	19.4%
認定者数(人)	1,566	73,980	124,145	6,880,137
第1号(65歳以上)	1,535	72,642	121,841	6,724,030
第2号(40～64歳)	31	1,338	2,304	156,107
一件当たり給付費(円)				
給付費	97,180	79,448	70,292	59,662
要支援1	10,079	9,890	9,793	9,568
要支援2	16,777	11,925	13,796	12,723
要介護1	47,342	41,825	42,671	37,331
要介護2	74,229	56,239	52,634	45,837
要介護3	135,847	104,925	93,173	78,504
要介護4	183,903	141,522	125,621	103,025
要介護5	218,976	164,594	146,391	113,314

出典：国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

要介護度別 一件当たり介護給付費(令和4年度)



出典：国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

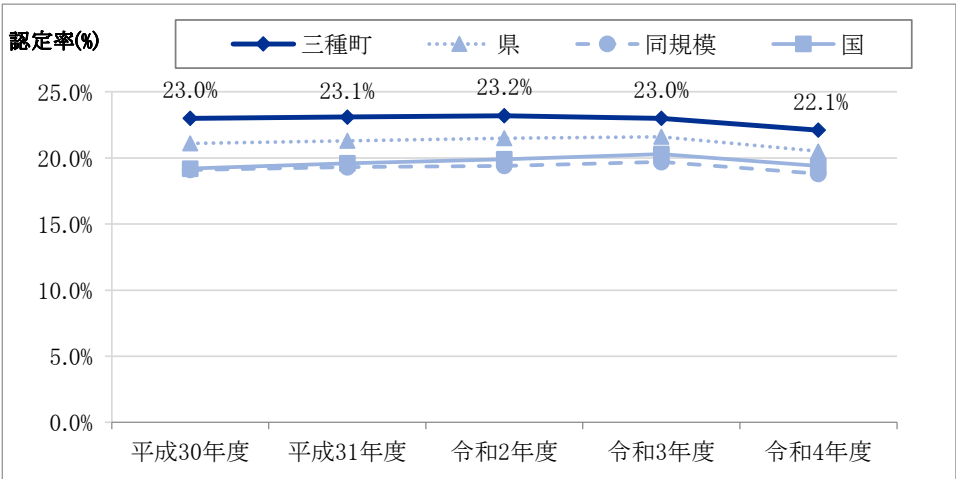
以下は、平成30年度から令和4年度における、要介護(支援)認定率及び認定者数を年度別に示したものである。令和4年度認定率22.1%は平成30年度23.0%より0.9ポイント減少しており、令和4年度の認定者数1,566人は平成30年度1,587人より21人減少している。

年度別 要介護(支援)認定率及び認定者数

区分		認定率	認定者数(人)		
				第1号 (65歳以上)	第2号 (40歳～64歳)
三種町	平成30年度	23.0%	1,587	1,549	38
	平成31年度	23.1%	1,610	1,572	38
	令和2年度	23.2%	1,613	1,574	39
	令和3年度	23.0%	1,557	1,524	33
	令和4年度	22.1%	1,566	1,535	31
県	平成30年度	21.1%	74,345	72,853	1,492
	平成31年度	21.3%	75,620	74,174	1,446
	令和2年度	21.5%	75,529	74,152	1,377
	令和3年度	21.6%	75,269	73,884	1,385
	令和4年度	20.5%	73,980	72,642	1,338
同規模	平成30年度	19.1%	126,479	123,850	2,629
	平成31年度	19.3%	129,391	126,837	2,554
	令和2年度	19.4%	133,777	131,252	2,525
	令和3年度	19.7%	130,231	127,797	2,434
	令和4年度	18.8%	124,145	121,841	2,304
国	平成30年度	19.2%	6,482,704	6,329,312	153,392
	平成31年度	19.6%	6,620,276	6,467,463	152,813
	令和2年度	19.9%	6,750,178	6,595,095	155,083
	令和3年度	20.3%	6,837,233	6,681,504	155,729
	令和4年度	19.4%	6,880,137	6,724,030	156,107

出典：国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

年度別 要介護(支援)認定率



出典：国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

(2) 要介護(支援)認定者の疾病別有病状況

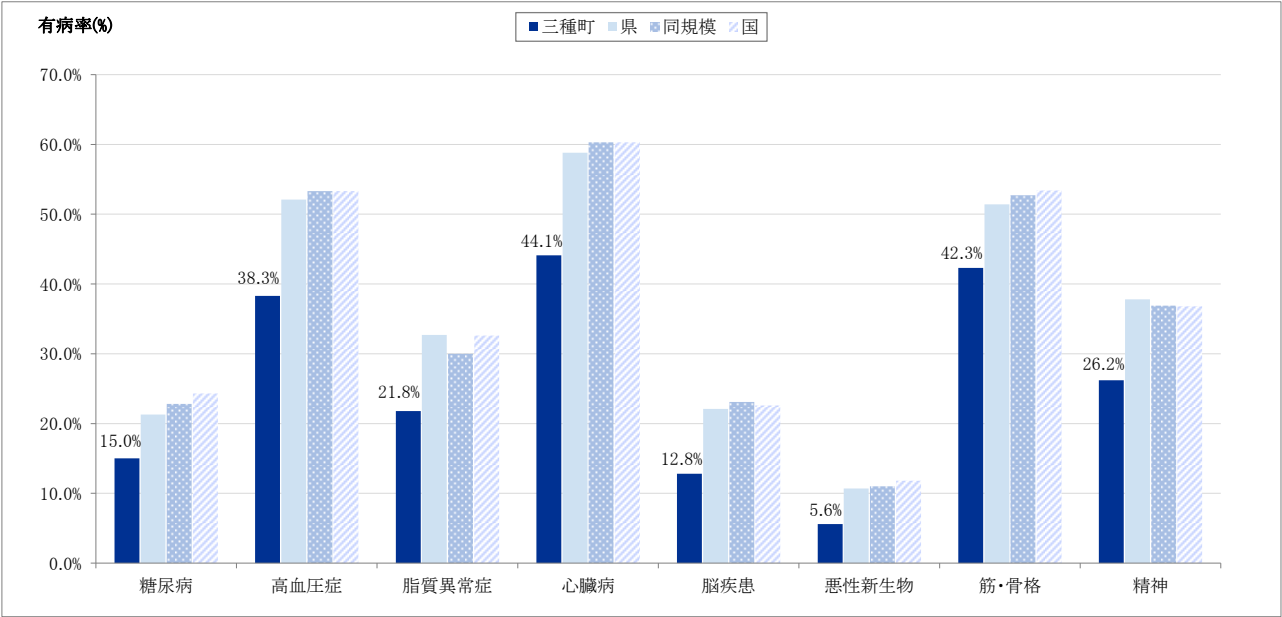
以下は、本町の令和4年度における、要介護(支援)認定者の疾病別有病率を示したものである。疾病別の有病者数を合計すると3,045人となり、これを認定者数の実数で除すと1.9となることから、認定者は平均1.9疾病を有していることがわかる。

要介護(支援)認定者の疾病別有病状況(令和4年度) ※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

区分		三種町	順位	県	順位	同規模	順位	国	順位
認定者数(人)		1,566		73,980		124,145		6,880,137	
糖尿病	実人数(人)	213	6	15,993	7	29,183	6	1,712,613	6
	有病率	15.0%		21.3%		22.8%		24.3%	
高血圧症	実人数(人)	565	3	39,186	2	67,451	2	3,744,672	3
	有病率	38.3%		52.1%		53.3%		53.3%	
脂質異常症	実人数(人)	335	5	24,749	5	38,328	5	2,308,216	5
	有病率	21.8%		32.7%		30.0%		32.6%	
心臓病	実人数(人)	652	1	44,159	1	76,143	1	4,224,628	1
	有病率	44.1%		58.8%		60.3%		60.3%	
脳疾患	実人数(人)	186	7	16,300	6	29,057	7	1,568,292	7
	有病率	12.8%		22.1%		23.1%		22.6%	
悪性新生物	実人数(人)	81	8	8,137	8	14,184	8	837,410	8
	有病率	5.6%		10.7%		11.0%		11.8%	
筋・骨格	実人数(人)	622	2	38,892	3	66,665	3	3,748,372	2
	有病率	42.3%		51.4%		52.7%		53.4%	
精神	実人数(人)	391	4	28,474	4	46,518	4	2,569,149	4
	有病率	26.2%		37.8%		36.9%		36.8%	

出典：国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

要介護(支援)認定者の疾病別有病率(令和4年度)



出典：国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

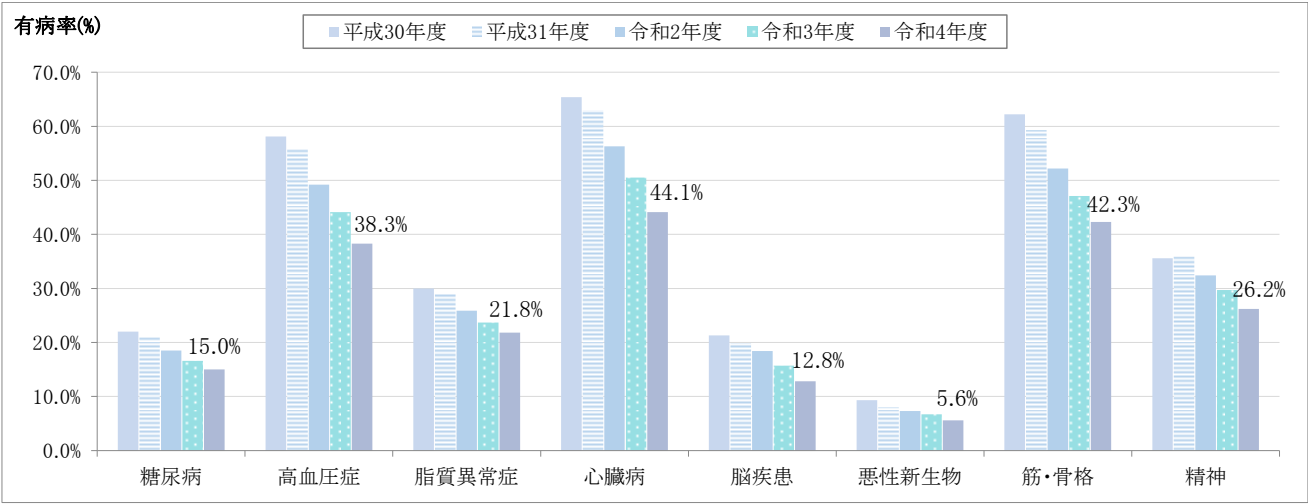
以下は、本町の平成30年度から令和4年度における、要介護（支援）認定者の疾病別有病率を年度別に示したものである。令和4年度の認定者が有している平均疾病数1.9疾病は平成30年度3疾病より減少している。

年度別 要介護（支援）認定者の疾病別有病状況 ※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

区分		三種町									
		平成30年度	順位	平成31年度	順位	令和2年度	順位	令和3年度	順位	令和4年度	順位
認定者数(人)		1,587		1,610		1,613		1,557		1,566	
糖尿病	実人数(人)	348	6	315	6	299	6	260	6	213	6
	有病率(%)	22.0%		21.0%		18.5%		16.6%		15.0%	
高血圧症	実人数(人)	926	3	831	3	764	3	663	3	565	3
	有病率(%)	58.1%		55.8%		49.2%		44.1%		38.3%	
脂質異常症	実人数(人)	476	5	420	5	415	5	359	5	335	5
	有病率(%)	30.0%		29.0%		25.9%		23.7%		21.8%	
心臓病	実人数(人)	1,040	1	937	1	877	1	762	1	652	1
	有病率(%)	65.4%		62.9%		56.3%		50.5%		44.1%	
脳疾患	実人数(人)	318	7	286	7	285	7	227	7	186	7
	有病率(%)	21.3%		19.9%		18.4%		15.7%		12.8%	
悪性新生物	実人数(人)	135	8	113	8	115	8	106	8	81	8
	有病率(%)	9.3%		8.0%		7.3%		6.7%		5.6%	
筋・骨格	実人数(人)	993	2	892	2	817	2	724	2	622	2
	有病率(%)	62.2%		59.3%		52.2%		47.1%		42.3%	
精神	実人数(人)	562	4	560	4	515	4	450	4	391	4
	有病率(%)	35.6%		35.9%		32.4%		29.7%		26.2%	

出典：国保データベース（KDB）システム「地域の全体像の把握」

年度別 要介護（支援）認定者の疾病別有病率



出典：国保データベース（KDB）システム「地域の全体像の把握」

年度別 認定者の疾病別有病状況(県)

区分		県					三種町 (再掲)				
		平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
認定者数(人)		74,345	75,620	75,529	75,269	73,980	1,587	1,610	1,613	1,557	1,566
糖尿病	実人数(人)	16,172	16,518	16,343	16,324	15,993	348	315	299	260	213
	有病率(%)	21.7%	21.6%	21.3%	21.3%	21.3%	22.0%	21.0%	18.5%	16.6%	15.0%
高血圧症	実人数(人)	39,793	40,472	40,437	40,049	39,186	926	831	764	663	565
	有病率(%)	53.4%	53.2%	52.2%	52.2%	52.1%	58.1%	55.8%	49.2%	44.1%	38.3%
脂質異常症	実人数(人)	23,475	24,217	24,688	24,877	24,749	476	420	415	359	335
	有病率(%)	31.3%	31.7%	31.6%	32.1%	32.7%	30.0%	29.0%	25.9%	23.7%	21.8%
心臓病	実人数(人)	45,203	45,940	45,813	45,270	44,159	1,040	937	877	762	652
	有病率(%)	60.8%	60.5%	59.3%	59.1%	58.8%	65.4%	62.9%	56.3%	50.5%	44.1%
脳疾患	実人数(人)	18,928	18,561	18,207	17,468	16,300	318	286	285	227	186
	有病率(%)	25.8%	24.7%	23.7%	23.1%	22.1%	21.3%	19.9%	18.4%	15.7%	12.8%
悪性新生物	実人数(人)	8,129	8,333	8,490	8,479	8,137	135	113	115	106	81
	有病率(%)	10.7%	10.9%	10.7%	10.8%	10.7%	9.3%	8.0%	7.3%	6.7%	5.6%
筋・骨格	実人数(人)	39,289	40,058	39,921	39,473	38,892	993	892	817	724	622
	有病率(%)	52.8%	52.7%	51.7%	51.4%	51.4%	62.2%	59.3%	52.2%	47.1%	42.3%
精神	実人数(人)	29,421	29,727	29,714	29,278	28,474	562	560	515	450	391
	有病率(%)	39.5%	39.3%	38.4%	38.3%	37.8%	35.6%	35.9%	32.4%	29.7%	26.2%

出典:国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

年度別 認定者の疾病別有病状況(同規模)

区分		同規模					三種町 (再掲)				
		平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
認定者数(人)		126,479	129,391	133,777	130,231	124,145	1,587	1,610	1,613	1,557	1,566
糖尿病	実人数(人)	28,146	28,771	30,350	29,996	29,183	348	315	299	260	213
	有病率(%)	22.1%	22.2%	21.9%	22.5%	22.8%	22.0%	21.0%	18.5%	16.6%	15.0%
高血圧症	実人数(人)	67,659	69,533	72,220	70,691	67,451	926	831	764	663	565
	有病率(%)	53.1%	53.4%	52.6%	53.5%	53.3%	58.1%	55.8%	49.2%	44.1%	38.3%
脂質異常症	実人数(人)	35,623	37,503	39,899	39,320	38,328	476	420	415	359	335
	有病率(%)	27.8%	28.5%	28.6%	29.5%	30.0%	30.0%	29.0%	25.9%	23.7%	21.8%
心臓病	実人数(人)	76,952	78,968	82,009	80,011	76,143	1,040	937	877	762	652
	有病率(%)	60.5%	60.8%	59.8%	60.7%	60.3%	65.4%	62.9%	56.3%	50.5%	44.1%
脳疾患	実人数(人)	32,337	32,524	33,017	31,241	29,057	318	286	285	227	186
	有病率(%)	25.9%	25.3%	24.2%	24.0%	23.1%	21.3%	19.9%	18.4%	15.7%	12.8%
悪性新生物	実人数(人)	13,242	13,689	14,921	14,654	14,184	135	113	115	106	81
	有病率(%)	10.4%	10.6%	10.6%	10.9%	11.0%	9.3%	8.0%	7.3%	6.7%	5.6%
筋・骨格	実人数(人)	66,597	68,258	71,230	69,712	66,665	993	892	817	724	622
	有病率(%)	52.3%	52.7%	51.9%	52.8%	52.7%	62.2%	59.3%	52.2%	47.1%	42.3%
精神	実人数(人)	47,441	48,831	50,648	49,199	46,518	562	560	515	450	391
	有病率(%)	37.2%	37.6%	36.9%	37.4%	36.9%	35.6%	35.9%	32.4%	29.7%	26.2%

出典:国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

年度別 認定者の疾病別有病状況(国)

区分		国					三種町 (再掲)				
		平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
認定者数(人)		6,482,704	6,620,276	6,750,178	6,837,233	6,880,137	1,587	1,610	1,613	1,557	1,566
糖尿病	実人数(人)	1,470,196	1,537,914	1,633,023	1,671,812	1,712,613	348	315	299	260	213
	有病率(%)	22.4	23.0	23.3	24.0	24.3	22.0	21.0	18.5	16.6	15.0
高血圧症	実人数(人)	3,318,793	3,472,146	3,642,081	3,690,454	3,744,672	926	831	764	663	565
	有病率(%)	50.8	51.7	52.4	53.2	53.3	58.1	55.8	49.2	44.1	38.3
脂質異常症	実人数(人)	1,915,551	2,036,238	2,170,776	2,236,475	2,308,216	476	420	415	359	335
	有病率(%)	29.2	30.1	30.9	32.0	32.6	30.0	29.0	25.9	23.7	21.8
心臓病	実人数(人)	3,770,674	3,939,115	4,126,341	4,172,696	4,224,628	1,040	937	877	762	652
	有病率(%)	57.8	58.7	59.5	60.3	60.3	65.4	62.9	56.3	50.5	44.1
脳疾患	実人数(人)	1,563,143	1,587,755	1,627,513	1,599,457	1,568,292	318	286	285	227	186
	有病率(%)	24.3	24.0	23.6	23.4	22.6	21.3	19.9	18.4	15.7	12.8
悪性新生物	実人数(人)	702,800	739,425	798,740	817,260	837,410	135	113	115	106	81
	有病率(%)	10.7	11.0	11.3	11.6	11.8	9.3	8.0	7.3	6.7	5.6
筋・骨格	実人数(人)	3,305,225	3,448,596	3,630,436	3,682,549	3,748,372	993	892	817	724	622
	有病率(%)	50.6	51.6	52.3	53.2	53.4	62.2	59.3	52.2	47.1	42.3
精神	実人数(人)	2,339,782	2,437,051	2,554,143	2,562,308	2,569,149	562	560	515	450	391
	有病率(%)	35.8	36.4	36.9	37.2	36.8	35.6	35.9	32.4	29.7	26.2

出典：国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

7. 死亡の状況

以下は、本町の令和4年度における、死亡の状況を示したものである。

男女別 標準化死亡比(令和4年度)

	三種町	県	同規模	国
男性	121.0	108.7	103.0	100.0
女性	108.8	105.5	100.8	100.0

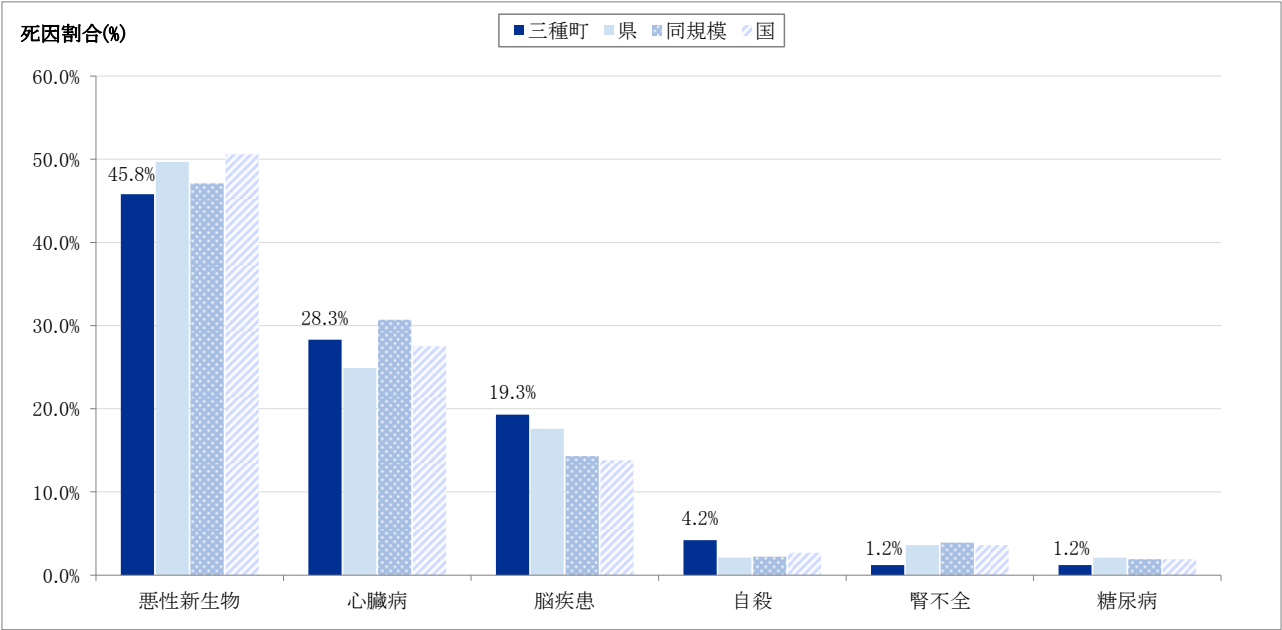
出典:国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

主たる死因の状況(令和4年度)

疾病項目	三種町		県	同規模	国
	人数(人)	割合(%)			
悪性新生物	76	45.8%	49.7%	47.1%	50.6%
心臓病	47	28.3%	24.9%	30.7%	27.5%
脳疾患	32	19.3%	17.6%	14.3%	13.8%
自殺	7	4.2%	2.1%	2.2%	2.7%
腎不全	2	1.2%	3.6%	3.9%	3.6%
糖尿病	2	1.2%	2.1%	1.9%	1.9%
合計	166				

出典:国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

主たる死因の割合(令和4年度)



出典:国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

以下は、本町の平成30年度から令和4年度における、死亡の状況を年度別に示したものである。

年度・男女別 標準化死亡比

区分	男性					女性				
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
三種町	117.0	117.0	117.0	121.0	121.0	104.9	104.9	104.9	108.8	108.8
県	109.6	109.6	109.6	108.7	108.7	104.2	104.2	104.2	105.5	105.5
同規模	104.4	104.6	104.3	103.1	103.0	102.6	102.5	102.1	101.1	100.8
国	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

出典：国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

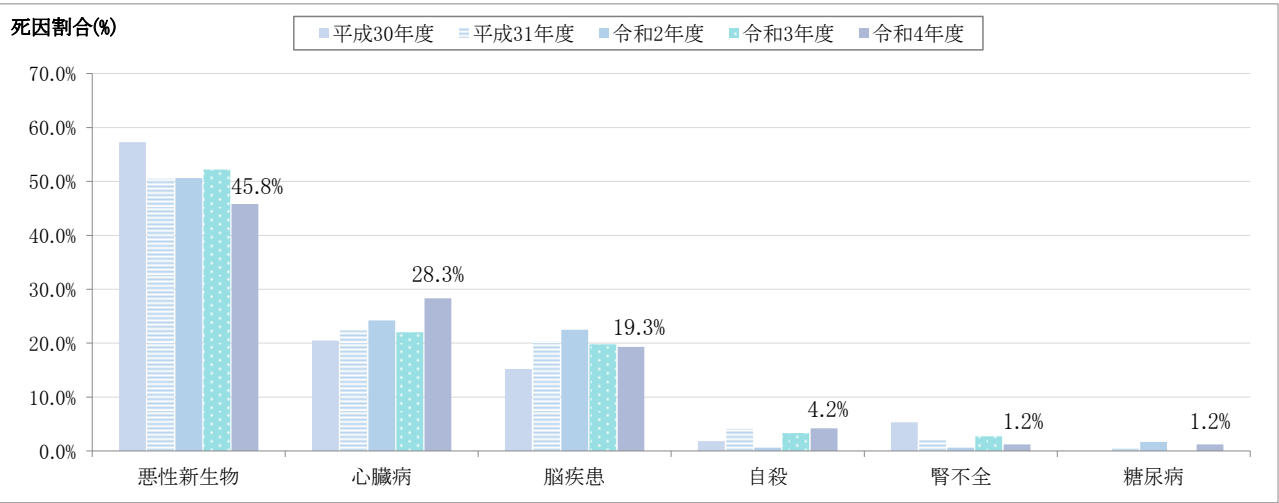
主たる死因の状況について、令和4年度を平成30年度と比較すると、悪性新生物を死因とする人数76人は平成30年度98人より22人減少しており、心臓病を死因とする人数47人は平成30年度35人より12人増加している。また、脳疾患を死因とする人数32人は平成30年度26人より6人増加している。

年度別 主たる死因の状況

疾病項目	三種町									
	人数(人)					割合(%)				
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
悪性新生物	98	99	90	95	76	57.3%	50.5%	50.6%	52.2%	45.8%
心臓病	35	44	43	40	47	20.5%	22.4%	24.2%	22.0%	28.3%
脳疾患	26	40	40	36	32	15.2%	20.4%	22.5%	19.8%	19.3%
自殺	3	8	1	6	7	1.8%	4.1%	0.6%	3.3%	4.2%
腎不全	9	4	1	5	2	5.3%	2.0%	0.6%	2.7%	1.2%
糖尿病	0	1	3	0	2	0.0%	0.5%	1.7%	0.0%	1.2%
合計	171	196	178	182	166					

出典：国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

年度別 主たる死因の割合



出典：国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

年度別 主たる死因の割合(県)

疾病項目	県					三種町 (再掲)				
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
悪性新生物	49.0%	48.3%	48.9%	48.8%	49.7%	57.3%	50.5%	50.6%	52.2%	45.8%
心臓病	24.2%	24.6%	24.7%	24.0%	24.9%	20.5%	22.4%	24.2%	22.0%	28.3%
脳疾患	18.8%	19.0%	18.2%	19.1%	17.6%	15.2%	20.4%	22.5%	19.8%	19.3%
自殺	2.8%	2.9%	2.3%	2.3%	2.1%	1.8%	4.1%	0.6%	3.3%	4.2%
腎不全	3.2%	3.2%	3.9%	4.1%	3.6%	5.3%	2.0%	0.6%	2.7%	1.2%
糖尿病	2.0%	2.0%	2.0%	1.8%	2.1%	0.0%	0.5%	1.7%	0.0%	1.2%
合計										

出典:国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

年度別 主たる死因の割合(同規模)

疾病項目	同規模					三種町 (再掲)				
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
悪性新生物	47.3%	47.2%	47.4%	47.3%	47.1%	57.3%	50.5%	50.6%	52.2%	45.8%
心臓病	28.6%	29.2%	29.5%	29.7%	30.7%	20.5%	22.4%	24.2%	22.0%	28.3%
脳疾患	15.7%	15.8%	15.1%	15.2%	14.3%	15.2%	20.4%	22.5%	19.8%	19.3%
自殺	2.6%	2.5%	2.4%	2.2%	2.2%	1.8%	4.1%	0.6%	3.3%	4.2%
腎不全	3.9%	3.4%	3.7%	3.9%	3.9%	5.3%	2.0%	0.6%	2.7%	1.2%
糖尿病	1.8%	1.9%	2.0%	1.8%	1.9%	0.0%	0.5%	1.7%	0.0%	1.2%
合計										

出典:国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

年度別 主たる死因の割合(国)

疾病項目	国					三種町 (再掲)				
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
悪性新生物	50.5%	49.9%	49.8%	50.2%	50.6%	57.3%	50.5%	50.6%	52.2%	45.8%
心臓病	26.8%	27.4%	27.8%	27.7%	27.5%	20.5%	22.4%	24.2%	22.0%	28.3%
脳疾患	14.8%	14.7%	14.4%	14.2%	13.8%	15.2%	20.4%	22.5%	19.8%	19.3%
自殺	2.8%	2.7%	2.7%	2.6%	2.7%	1.8%	4.1%	0.6%	3.3%	4.2%
腎不全	3.3%	3.4%	3.5%	3.5%	3.6%	5.3%	2.0%	0.6%	2.7%	1.2%
糖尿病	1.8%	1.9%	1.9%	1.8%	1.9%	0.0%	0.5%	1.7%	0.0%	1.2%
合計										

出典:国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

第3章 過去の取り組みの考察

1. 取り組みと評価

健康課題	取組計画	保健事業	実施概要 (ストラクチャー・プロセス)	アウトプット	H30	H31	R2	R3	R4
特定健康診査受診率	特定健康診査の受診率向上	特定健康診査を受診していない者を対象者とし特定健康診査の受診を促す。	①特定健診を受診していない者を特定 ②訴求力の高い通知書の作成及び送付 ③特定健診の受診状況を確認	対象者への通知率 100%	100%	100%	100%	100%	100%
特定保健指導実施率	生活習慣病該当者及び予備群の減少	特定健康診査の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように、専門職による支援を面接や電話、e-mail等で行う。	①動機付け支援、積極的支援対象者の特定 ②特定保健指導の実施 ③生活習慣、検査値の状況を確認	対象者の指導実施率 13%以上	8.1%	11.6%	12.4%	24.1%	20.2%
健診異常値放置者	健診異常値を放置している対象者の医療機関受診	特定健康診査の受診後、その結果に異常値があるにも関わらず医療機関受診が確認できない対象者を特定し、通知書を送付することで受診勧奨を行う。	①特定健診データ及びレセプトデータから対象者を特定 ②訴求力の高い通知書の作成及び送付 ③医療機関受診状況を確認	対象者への通知率 100%	100%	100%	100%	100%	100%
生活習慣病治療中断者	生活習慣病治療中断者の減少	かつて生活習慣病で定期受診をしていたがその後定期受診を中断した対象者を特定し、通知書を送付することで受診勧奨を行う。	①レセプトデータから対象者を特定 ②訴求力の高い通知書の作成及び送付 ③医療機関受診状況を確認	対象者への通知率 100%	100%	100%	100%	100%	100%
糖尿病性腎症	糖尿病性腎症患者の病期進行阻止	かかりつけ医の判断により保健指導が必要と認められた者を対象者に、正しい生活習慣を身に付けることができるように専門職より対象者に6カ月間の面談指導と電話指導を行う。	①かかりつけ医の判断で保険者による保健指導が必要と判断された者を対象に保健指導を実施 ②かかりつけ医との連携を取り、面談等対象者に指導開始 ③生活習慣、検査値の改善状況を確認	対象者の指導実施率 100%	0%	20%	0%	40%	60%
ジェネリック医薬品の普及率	ジェネリック医薬品の普及率向上	レセプトデータから、ジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定する。通知書を対象者に送付することで、ジェネリック医薬品への切り替えを促す。	①レセプトデータから対象者を特定 ②訴求力の高い通知書の作成及び送付 ③対象者のジェネリック医薬品普及率の確認	対象者への通知率 100%	100%	100%	100%	100%	100%

アウトカム	H30	H31	R2	R3	R4	到達度 評価 (中間)	継続の 有無 (中間)	最終 評価	継続の 有無	次期計画 県指標該当箇所
対象者の特定健康診査 受診率 10%以上	12.11%	14.95%	14.09%	14.25%	7.13%	5：目標 に達して いる	A：成果 目標値 を変え ずに事 業を継 続する	2：悪化 してい る	B：成果 目標値 を変更 し事業 を継続 する	特定健康診査
積極的支援及び動機付け 支援対象者 前年比 5%減少	前年度比 3.55%減	前年度比 8.09%増	前年度比 6.80%減	前年度比 2.92%減	前年度比 18.05%減	5：目標 に達して いる	A：成果 目標値 を変え ずに事 業を継 続する	5：目標 に達して いる	B：成果 目標値 を変更 し事業 を継続 する	特定保健指導
対象者の医療機関受診率 50%以上	16.54%	11.11%	19.69%	9.38%	7.69%	2：悪化 してい る	A：成果 目標値 を変え ずに事 業を継 続する	2：悪化 してい る	B：成果 目標値 を変更 し事業 を継続 する	特定健診結果に基 づく医療機関への 受診勧奨
対象者の医療機関受診率 60%以上	40.00%	6.25%	57.14%	0.00%	57.14%	2：悪化 してい る	A：成果 目標値 を変え ずに事 業を継 続する	4：目標 に達し ていな いが改 善傾向 にある	B：成果 目標値 を変更 し事業 を継続 する	生活習慣病予防、 特定健診結果に基 づく医療機関への 受診勧奨、 糖尿病重症化予防
新規人工透析患者数 3人以下	0人	1人	2人	0人	1人	5：目標 に達して いる	A：成果 目標値 を変え ずに事 業を継 続する	5：目標 に達して いる	B：成果 目標値 を変更 し事業 を継続 する	糖尿病重症化予防
ジェネリック医薬品普及率 (数量ベース) 75%以上	64.3%	66.8%	71.3%	74.2%	74.5%	4：目標 に達し ていな いが改 善傾向 にある	A：成果 目標値 を変え ずに事 業を継 続する	5：目標 に達して いる	B：成果 目標値 を変更 し事業 を継続 する	医療費適正化

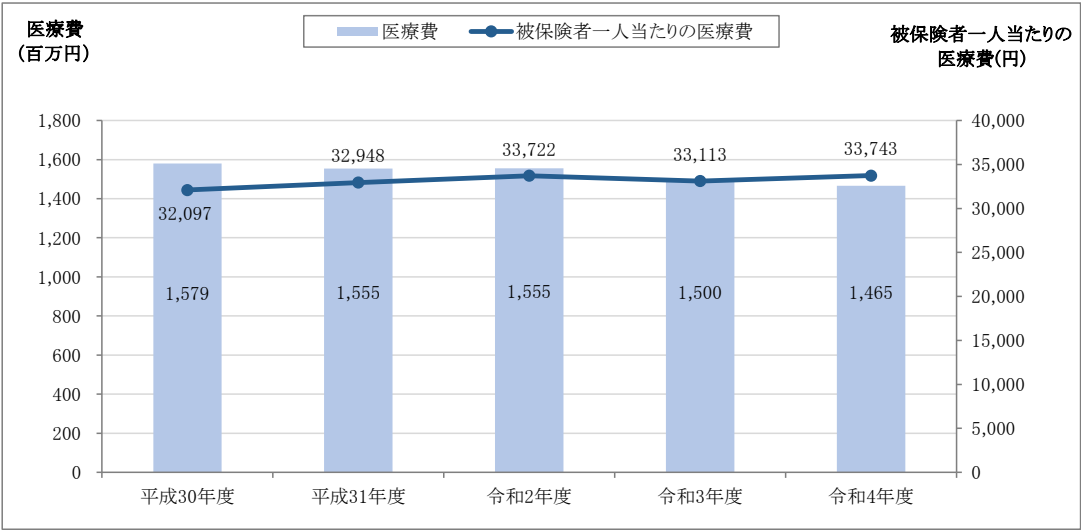
第4章 健康・医療情報等の分析

1. 医療費の基礎集計

(1) 医療費の状況

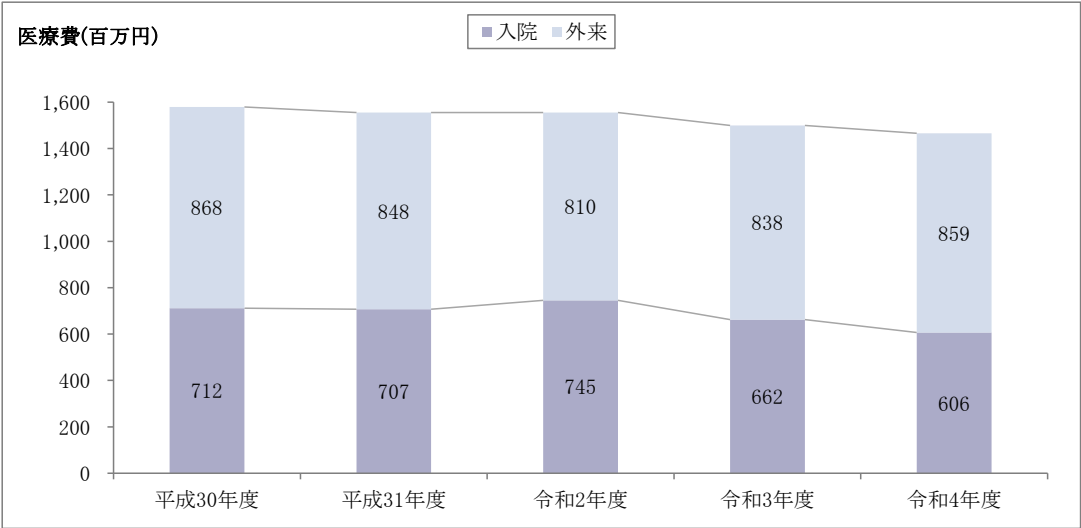
以下は、本町の医療費の状況を示したものである。

年度別 医療費の状況



出典：国保データベース (KDB) システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」
被保険者一人当たりの医療費…1カ月分相当

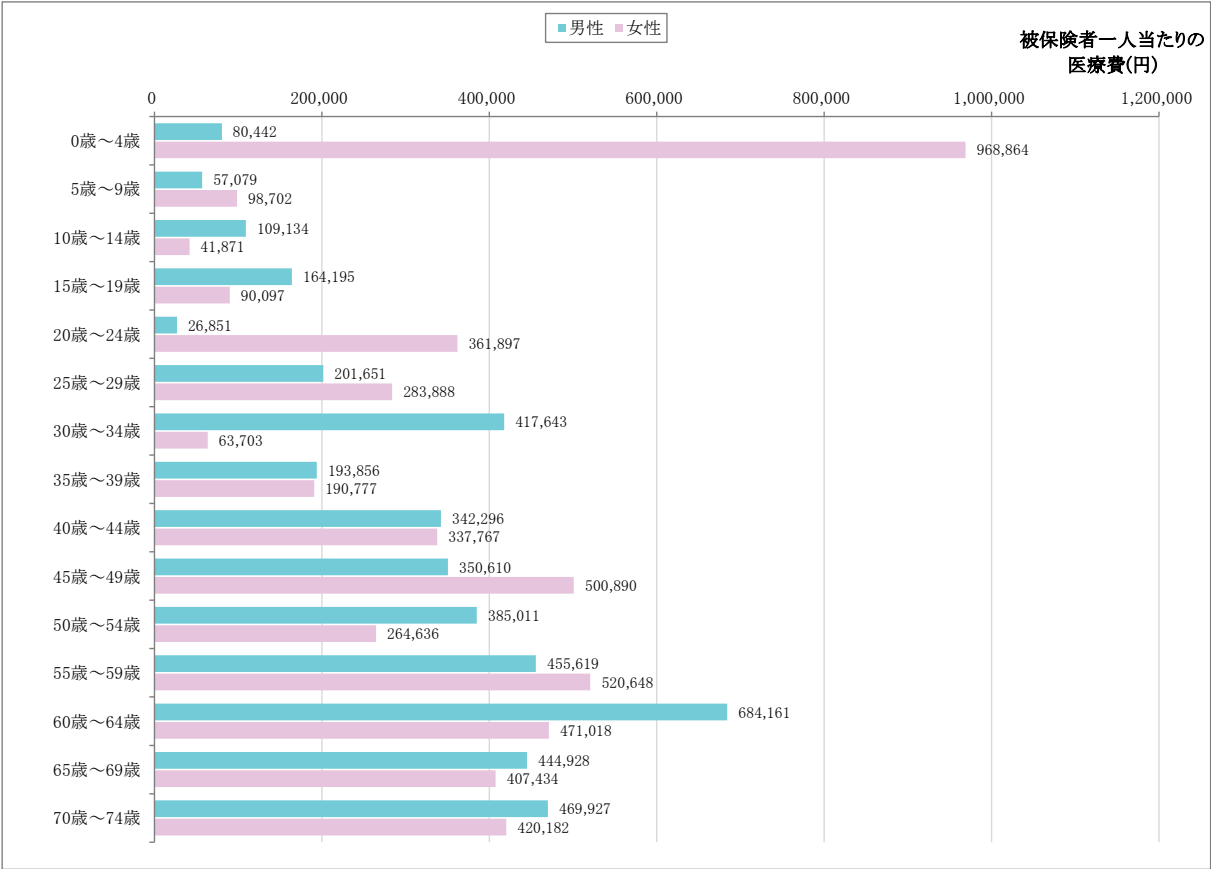
年度別 入院・外来別医療費



出典：国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

以下は、令和4年度における、本町の被保険者一人当たりの医療費を男女年齢階層別に示したものである。

男女年齢階層別 被保険者一人当たりの医療費(令和4年度)



出典：国保データベース (KDB) システム「疾病別医療費分析(大分類)」

以下は、年度別の被保険者一人当たりの医療費を示したものである。

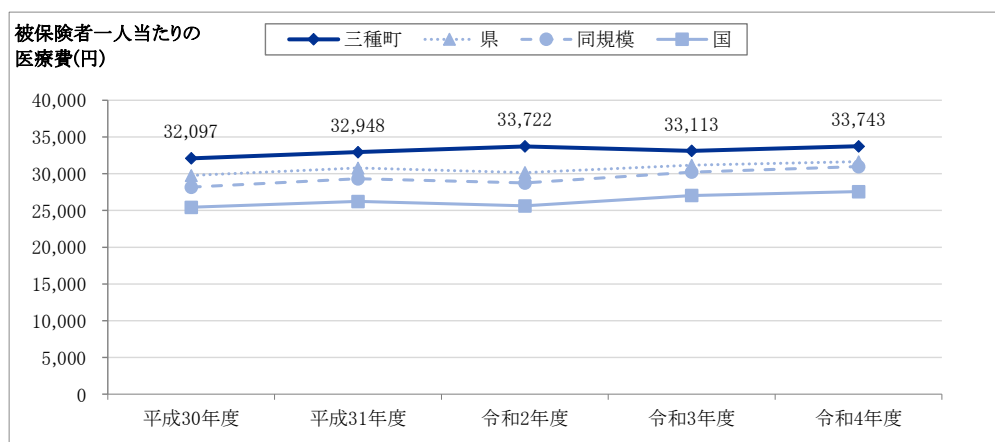
年度別 被保険者一人当たりの医療費

単位：円

年度	三種町	県	同規模	国
平成30年度	32,097	29,754	28,172	25,437
平成31年度	32,948	30,786	29,312	26,225
令和2年度	33,722	30,160	28,749	25,629
令和3年度	33,113	31,169	30,227	27,039
令和4年度	33,743	31,645	30,968	27,570

出典：国保データベース (KDB) システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」
被保険者一人当たりの医療費…1カ月分相当

年度別 被保険者一人当たりの医療費

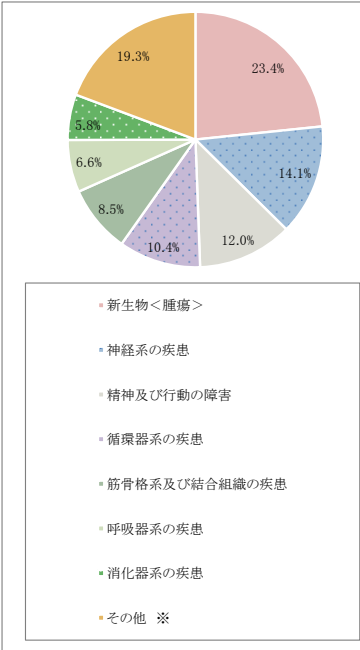


出典：国保データベース (KDB) システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」
被保険者一人当たりの医療費…1カ月分相当

(2) 疾病別医療費

令和4年度の入院医療費では、「新生物＜腫瘍＞」が最も高く、23.4%を占めている。

大分類別医療費構成比
(入院) (令和4年度)



※その他…入院医療費に占める割合が5%未満の疾病を集約

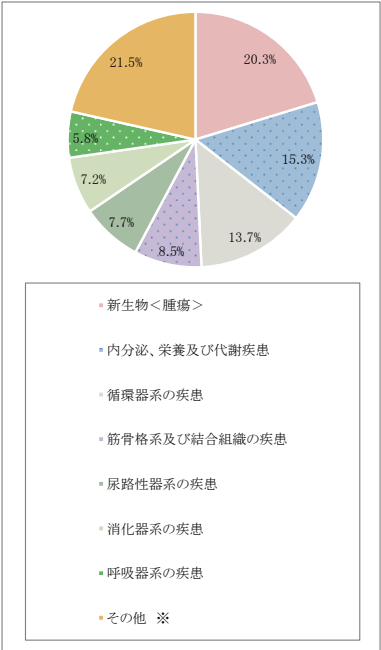
大・中・細小分類別分析
(入院) (令和4年度)

順位	大分類別分析		中分類別分析		細小分類分析	
1	新生物＜腫瘍＞	23.4%	その他の悪性新生物＜腫瘍＞	10.7%	膵臓がん	2.1%
			良性新生物＜腫瘍＞及びその他の新生物＜腫瘍＞	2.7%	前立腺がん	1.4%
					喉頭がん	0.8%
					卵巣腫瘍(良性)	0.1%
2	神経系の疾患	14.1%	胃の悪性新生物＜腫瘍＞	2.3%	胃がん	2.3%
			その他の神経系の疾患	5.2%		
			てんかん	3.9%		
			脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	2.9%		
3	精神及び行動の障害	12.0%	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	8.4%	統合失調症	8.4%
			その他の精神及び行動の障害	1.9%		
			気分(感情)障害(躁うつ病を含む)	1.2%	うつ病	1.2%
4	循環器系の疾患	10.4%	脳梗塞	3.3%	脳梗塞	3.3%
			その他の心疾患	2.6%		
					不整脈	1.0%
			その他の循環器系の疾患	1.3%	大動脈瘤	0.6%

出典：国保データベース (KDB) システム「医療費分析 (2) 大、中、細小分類」
※疾病中分類に紐づく細小分類が存在しない場合、空白としている。

令和4年度の外来医療費では、「新生物＜腫瘍＞」が最も高く、20.3%を占めている。

大分類別医療費構成比
(外来) (令和4年度)



※その他…外来医療費に占める割合が5%未満の疾病を集約。

大・中・細小分類別分析
(外来) (令和4年度)

順位	大分類別分析		中分類別分析			細小分類分析	
1	新生物＜腫瘍＞	20.3%	その他の悪性新生物＜腫瘍＞	10.1%		腎臓がん	1.2%
			胃の悪性新生物＜腫瘍＞	2.2%		前立腺がん	0.8%
						膀胱がん	0.7%
						胃がん	2.2%
						白血病	2.0%
2	内分泌、栄養及び代謝疾患	15.3%	糖尿病	10.6%		糖尿病	10.0%
			脂質異常症	3.8%		糖尿病網膜症	0.5%
						脂質異常症	3.8%
			その他の内分泌、栄養及び代謝障害	0.5%		痛風・高尿酸血症	0.1%
3	循環器系の疾患	13.7%	高血圧性疾患	6.6%		高血圧症	6.6%
			その他の心疾患	5.7%			
						不整脈	4.2%
						虚血性心疾患	0.8%
			4	筋骨格系及び結合組織の疾患		8.5%	炎症性多発性関節障害
関節症	1.4%	痛風・高尿酸血症			0.1%		
その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	1.4%						

出典：国保データベース (KDB) システム「医療費分析 (2) 大、中、細小分類」
※疾病中分類に紐づく細小分類が存在しない場合、空白としている。

令和4年度の医療費を細小分類別にみると、医療費上位第1位は「糖尿病」で、6.2%を占めている。

細小分類による医療費上位10疾病(令和4年度)

順位	細小分類別疾患	医療費(円)	割合(%) ※
1	糖尿病	89,817,140	6.2%
2	統合失調症	61,336,660	4.2%
3	高血圧症	59,149,190	4.1%
4	関節疾患	59,148,130	4.1%
5	不整脈	41,877,790	2.9%
6	慢性腎臓病(透析あり)	33,960,450	2.3%
7	大腸がん	33,005,880	2.3%
8	脂質異常症	32,915,700	2.3%
9	胃がん	32,660,460	2.2%
10	脳梗塞	21,946,850	1.5%

出典:国保データベース(KDB)システム「医療費分析(2)大、中、細小分類」
※割合…総医療費に占める割合
※細小分類のうち、「その他」及び「小児科」については上位10疾病の対象外としている。

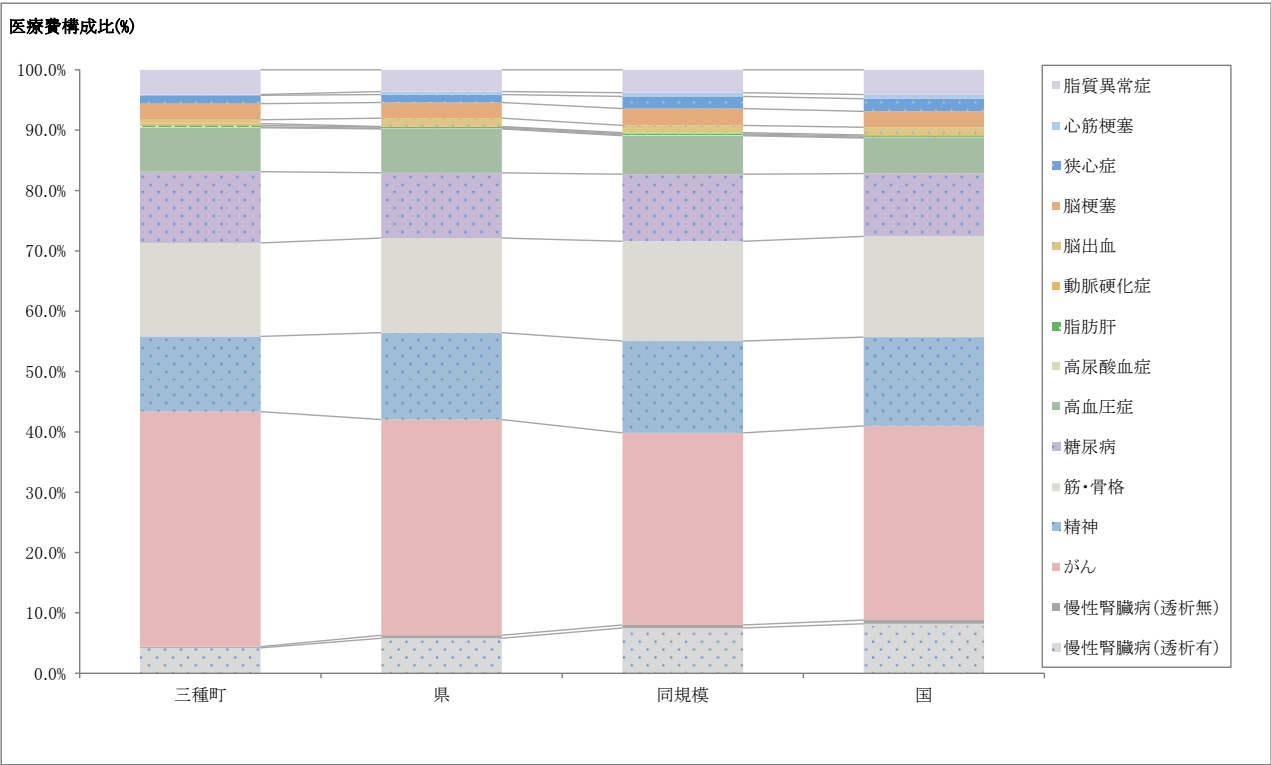
以下は、令和4年度における最大医療資源傷病名別の医療費構成比を示したものである。

最大医療資源傷病名別医療費構成比(令和4年度)

傷病名	三種町	県	同規模	国
慢性腎臓病(透析有)	4.2%	5.8%	7.5%	8.2%
慢性腎臓病(透析無)	0.2%	0.5%	0.5%	0.6%
がん	39.0%	35.8%	31.8%	32.2%
精神	12.5%	14.4%	15.2%	14.7%
筋・骨格	15.5%	15.7%	16.5%	16.7%
糖尿病	11.8%	10.8%	11.1%	10.4%
高血圧症	7.3%	7.3%	6.4%	5.9%
高尿酸血症	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%
脂肪肝	0.3%	0.2%	0.2%	0.2%
動脈硬化症	0.3%	0.1%	0.2%	0.2%
脳出血	0.6%	1.4%	1.2%	1.3%
脳梗塞	2.7%	2.6%	2.8%	2.6%
狭心症	1.4%	1.3%	2.0%	2.1%
心筋梗塞	0.1%	0.5%	0.6%	0.7%
脂質異常症	4.1%	3.6%	3.8%	4.1%

出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

最大医療資源傷病名別医療費構成比(令和4年度)



出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

以下は、令和4年度の生活習慣病医療費の状況について、入院、外来、入外合計別に示したものである。

生活習慣病等疾病別医療費統計(入院) (令和4年度)

疾病分類	医療費(円)	構成比(%)	順位	レセプト件数(件)	構成比(%)	順位	レセプト一件当たりの医療費(円)	順位
糖尿病	5,228,630	0.9%	6	13	1.2%	5	402,202	9
高血圧症	2,464,090	0.4%	9	5	0.5%	8	492,818	7
脂質異常症	576,060	0.1%	10	2	0.2%	10	288,030	10
高尿酸血症	0	0.0%	11	0	0.0%	11	0	11
脂肪肝	0	0.0%	11	0	0.0%	11	0	11
動脈硬化症	2,600,830	0.4%	8	4	0.4%	9	650,208	5
脳出血	4,893,690	0.8%	7	6	0.5%	7	815,615	1
脳梗塞	20,084,760	3.3%	4	31	2.8%	4	647,895	6
狭心症	6,735,600	1.1%	5	9	0.8%	6	748,400	2
心筋梗塞	0	0.0%	11	0	0.0%	11	0	11
がん	141,618,540	23.4%	1	193	17.6%	1	733,775	3
筋・骨格	51,731,970	8.5%	3	71	6.5%	3	728,619	4
精神	72,853,770	12.0%	2	160	14.6%	2	455,336	8
その他(上記以外のもの)	297,679,850	49.1%		603	55.0%		493,665	
合計	606,467,790			1,097			552,842	

出典：国保データベース (KDB) システム「疾病別医療費分析(生活習慣病)」

生活習慣病等疾病別医療費統計(外来) (令和4年度)

疾病分類	医療費(円)	構成比(%)	順位	レセプト件数(件)	構成比(%)	順位	レセプト一件当たりの医療費(円)	順位
糖尿病	90,014,720	10.5%	2	3,231	8.8%	3	27,860	4
高血圧症	56,676,790	6.6%	4	5,610	15.4%	1	10,103	12
脂質異常症	32,339,640	3.8%	5	3,182	8.7%	4	10,163	11
高尿酸血症	632,890	0.1%	10	73	0.2%	10	8,670	13
脂肪肝	2,023,450	0.2%	8	94	0.3%	9	21,526	6
動脈硬化症	218,450	0.0%	12	9	0.0%	12	24,272	5
脳出血	58,000	0.0%	13	2	0.0%	13	29,000	3
脳梗塞	1,862,090	0.2%	9	120	0.3%	8	15,517	10
狭心症	4,221,140	0.5%	7	223	0.6%	7	18,929	8
心筋梗塞	436,280	0.1%	11	11	0.0%	11	39,662	2
がん	173,098,660	20.3%	1	1,383	3.8%	5	125,162	1
筋・骨格	72,992,550	8.5%	3	3,990	10.9%	2	18,294	9
精神	27,622,540	3.2%	6	1,316	3.6%	6	20,990	7
その他(上記以外のもの)	391,559,290	45.9%		17,296	47.3%		22,639	
合計	853,756,490			36,540			23,365	

出典：国保データベース (KDB) システム「疾病別医療費分析(生活習慣病)」

生活習慣病等疾病別医療費統計(入外合計)(令和4年度)

疾病分類	医療費(円)	構成比(%)	順位	レセプト件数(件)	構成比(%)	順位	レセプト一件当たりの医療費(円)	順位
糖尿病	95,243,350	6.5%	4	3,244	8.6%	3	29,360	9
高血圧症	59,140,880	4.1%	5	5,615	14.9%	1	10,533	11
脂質異常症	32,915,700	2.3%	6	3,184	8.5%	4	10,338	12
高尿酸血症	632,890	0.0%	12	73	0.2%	10	8,670	13
脂肪肝	2,023,450	0.1%	11	94	0.2%	9	21,526	10
動脈硬化症	2,819,280	0.2%	10	13	0.0%	11	216,868	2
脳出血	4,951,690	0.3%	9	8	0.0%	13	618,961	1
脳梗塞	21,946,850	1.5%	7	151	0.4%	8	145,343	4
狭心症	10,956,740	0.8%	8	232	0.6%	7	47,227	6
心筋梗塞	436,280	0.0%	13	11	0.0%	12	39,662	7
がん	314,717,200	21.6%	1	1,576	4.2%	5	199,694	3
筋・骨格	124,724,520	8.5%	2	4,061	10.8%	2	30,713	8
精神	100,476,310	6.9%	3	1,476	3.9%	6	68,073	5
その他(上記以外のもの)	689,239,140	47.2%		17,899	47.6%		38,507	
合計	1,460,224,280			37,637			38,798	

出典：国保データベース (KDB) システム「疾病別医療費分析(生活習慣病)」

2. 生活習慣病に関する分析

(1) 生活習慣病患者の状況

以下は、生活習慣病患者のレセプトデータから、併存している疾患の状況を示したものである。

生活習慣病全体のレセプト分析

年齢階層		被保険者数 (人)	レセプト件数 (件)	生活習慣病対象者		脳血管疾患		虚血性心疾患		人工透析		糖尿病		インスリン療法	
				人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
A		B	C	C/A	D	D/C	E	E/C	F	F/C	G	G/C	H	H/C	
20歳代以下		259	118	18	6.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	5.6%	0	0.0%
30歳代		177	64	41	23.2%	2	4.9%	1	2.4%	0	0.0%	8	19.5%	1	2.4%
40歳代		295	139	81	27.5%	6	7.4%	1	1.2%	0	0.0%	21	25.9%	2	2.5%
50歳代		397	256	168	42.3%	15	8.9%	12	7.1%	3	1.8%	46	27.4%	5	3.0%
60歳～64歳		469	377	254	54.2%	20	7.9%	31	12.2%	4	1.6%	87	34.3%	12	4.7%
65歳～69歳		855	781	511	59.8%	45	8.8%	48	9.4%	0	0.0%	171	33.5%	7	1.4%
70歳～74歳		1,248	1,311	835	66.9%	95	11.4%	127	15.2%	1	0.1%	335	40.1%	14	1.7%
全体		3,700	3,046	1,908	51.6%	183	9.6%	220	11.5%	8	0.4%	669	35.1%	41	2.1%
再掲	40歳～74歳	3,264	2,864	1,849	56.6%	181	9.8%	219	11.8%	8	0.4%	660	35.7%	40	2.2%
	65歳～74歳	2,103	2,092	1,346	64.0%	140	10.4%	175	13.0%	1	0.1%	506	37.6%	21	1.6%

年齢階層	糖尿病性腎症		糖尿病性網膜症		糖尿病性神経障害		高血圧症		高尿酸血症		脂質異常症		
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	
	I	I/C	J	J/C	K	K/C	L	L/C	M	M/C	N	N/C	
20歳代以下	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	5.6%	
30歳代	1	2.4%	0	0.0%	0	0.0%	7	17.1%	5	12.2%	12	29.3%	
40歳代	0	0.0%	1	1.2%	0	0.0%	30	37.0%	12	14.8%	24	29.6%	
50歳代	5	3.0%	1	0.6%	3	1.8%	80	47.6%	23	13.7%	84	50.0%	
60歳～64歳	8	3.1%	6	2.4%	2	0.8%	140	55.1%	24	9.4%	147	57.9%	
65歳～69歳	8	1.6%	4	0.8%	3	0.6%	319	62.4%	71	13.9%	276	54.0%	
70歳～74歳	13	1.6%	8	1.0%	5	0.6%	590	70.7%	99	11.9%	468	56.0%	
全体	35	1.8%	20	1.0%	13	0.7%	1,166	61.1%	234	12.3%	1,012	53.0%	
再掲	40歳～74歳	34	1.8%	20	1.1%	13	0.7%	1,159	62.7%	229	12.4%	999	54.0%
	65歳～74歳	21	1.6%	12	0.9%	8	0.6%	909	67.5%	170	12.6%	744	55.3%

出典：国保データベース (KDB) システム「生活習慣病全体のレセプト分析」(令和4年5月診療分)

糖尿病のレセプト分析

年齢階層		被保険者数 (人)	レセプト件数 (件)	糖尿病		インスリン療法		糖尿病性腎症		糖尿病性網膜症		糖尿病性神経障害	
				人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
		A	B	C	C/A	D	D/C	E	E/C	F	F/C	G	G/C
20歳代以下		259	118	1	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
30歳代		177	64	8	4.5%	1	12.5%	1	12.5%	0	0.0%	0	0.0%
40歳代		295	139	21	7.1%	2	9.5%	0	0.0%	1	4.8%	0	0.0%
50歳代		397	256	46	11.6%	5	10.9%	5	10.9%	1	2.2%	3	6.5%
60歳～64歳		469	377	87	18.6%	12	13.8%	8	9.2%	6	6.9%	2	2.3%
65歳～69歳		855	781	171	20.0%	7	4.1%	8	4.7%	4	2.3%	3	1.8%
70歳～74歳		1,248	1,311	335	26.8%	14	4.2%	13	3.9%	8	2.4%	5	1.5%
全体		3,700	3,046	669	18.1%	41	6.1%	35	5.2%	20	3.0%	13	1.9%
再掲	40歳～74歳	3,264	2,864	660	20.2%	40	6.1%	34	5.2%	20	3.0%	13	2.0%
	65歳～74歳	2,103	2,092	506	24.1%	21	4.2%	21	4.2%	12	2.4%	8	1.6%

年齢階層	脳血管疾患		虚血性心疾患		人工透析		高血圧症		高尿酸血症		脂質異常症		
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	
	H	H/C	I	I/C	J	J/C	K	K/C	L	L/C	M	M/C	
20歳代以下	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	
30歳代	0	0.0%	1	12.5%	0	0.0%	3	37.5%	2	25.0%	6	75.0%	
40歳代	5	23.8%	0	0.0%	0	0.0%	14	66.7%	6	28.6%	12	57.1%	
50歳代	4	8.7%	6	13.0%	3	6.5%	30	65.2%	7	15.2%	35	76.1%	
60歳～64歳	14	16.1%	18	20.7%	2	2.3%	59	67.8%	14	16.1%	63	72.4%	
65歳～69歳	20	11.7%	27	15.8%	0	0.0%	131	76.6%	30	17.5%	130	76.0%	
70歳～74歳	45	13.4%	75	22.4%	1	0.3%	266	79.4%	55	16.4%	246	73.4%	
全体	88	13.2%	127	19.0%	6	0.9%	503	75.2%	114	17.0%	493	73.7%	
再掲	40歳～74歳	88	13.3%	126	19.1%	6	0.9%	500	75.8%	112	17.0%	486	73.6%
	65歳～74歳	65	12.8%	102	20.2%	1	0.2%	397	78.5%	85	16.8%	376	74.3%

出典：国保データベース (KDB) システム「糖尿病のレセプト分析」(令和4年5月診療分)

脂質異常症のレセプト分析

年齢階層		被保険者数 (人)	レセプト件数 (件)	脂質異常症		脳血管疾患		虚血性心疾患		人工透析		糖尿病	
				人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
		A	B	C	C/A	D	D/C	E	E/C	F	F/C	G	G/C
20歳代以下		259	118	1	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%
30歳代		177	64	12	6.8%	1	8.3%	0	0.0%	0	0.0%	6	50.0%
40歳代		295	139	24	8.1%	3	12.5%	0	0.0%	0	0.0%	12	50.0%
50歳代		397	256	84	21.2%	12	14.3%	10	11.9%	1	1.2%	35	41.7%
60歳～64歳		469	377	147	31.3%	17	11.6%	26	17.7%	2	1.4%	63	42.9%
65歳～69歳		855	781	276	32.3%	34	12.3%	38	13.8%	0	0.0%	130	47.1%
70歳～74歳		1,248	1,311	468	37.5%	64	13.7%	94	20.1%	0	0.0%	246	52.6%
全体		3,700	3,046	1,012	27.4%	131	12.9%	168	16.6%	3	0.3%	493	48.7%
再掲	40歳～74歳	3,264	2,864	999	30.6%	130	13.0%	168	16.8%	3	0.3%	486	48.6%
	65歳～74歳	2,103	2,092	744	35.4%	98	13.2%	132	17.7%	0	0.0%	376	50.5%

年齢階層	インスリン療法		糖尿病性腎症		糖尿病性網膜症		糖尿病性神経障害		高血圧症		高尿酸血症		
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	
	H	H/C	I	I/C	J	J/C	K	K/C	L	L/C	M	M/C	
20歳代以下	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
30歳代	1	8.3%	1	8.3%	0	0.0%	0	0.0%	5	41.7%	4	33.3%	
40歳代	2	8.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	14	58.3%	4	16.7%	
50歳代	5	6.0%	4	4.8%	1	1.2%	2	2.4%	46	54.8%	15	17.9%	
60歳～64歳	10	6.8%	4	2.7%	4	2.7%	1	0.7%	85	57.8%	16	10.9%	
65歳～69歳	7	2.5%	7	2.5%	4	1.4%	2	0.7%	196	71.0%	40	14.5%	
70歳～74歳	10	2.1%	10	2.1%	3	0.6%	4	0.9%	360	76.9%	69	14.7%	
全体	35	3.5%	26	2.6%	12	1.2%	9	0.9%	706	69.8%	148	14.6%	
再掲	40歳～74歳	34	3.4%	25	2.5%	12	1.2%	9	0.9%	701	70.2%	144	14.4%
	65歳～74歳	17	2.3%	17	2.3%	7	0.9%	6	0.8%	556	74.7%	109	14.7%

出典：国保データベース (KDB) システム「脂質異常症のレセプト分析」(令和4年5月診療分)

高血圧症のレセプト分析

年齢階層	被保険者数 (人)	レセプト件数 (件)	高血圧症		脳血管疾患		虚血性心疾患		人工透析		糖尿病		
			人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	
	A	B	C	C/A	D	D/C	E	E/C	F	F/C	G	G/C	
20歳代以下	259	118	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
30歳代	177	64	7	4.0%	1	14.3%	1	14.3%	0	0.0%	3	42.9%	
40歳代	295	139	30	10.2%	5	16.7%	0	0.0%	0	0.0%	14	46.7%	
50歳代	397	256	80	20.2%	12	15.0%	7	8.8%	2	2.5%	30	37.5%	
60歳～64歳	469	377	140	29.9%	14	10.0%	18	12.9%	4	2.9%	59	42.1%	
65歳～69歳	855	781	319	37.3%	37	11.6%	36	11.3%	0	0.0%	131	41.1%	
70歳～74歳	1,248	1,311	590	47.3%	81	13.7%	103	17.5%	1	0.2%	266	45.1%	
全体	3,700	3,046	1,166	31.5%	150	12.9%	165	14.2%	7	0.6%	503	43.1%	
再掲	40歳～74歳	3,264	2,864	1,159	35.5%	149	12.9%	164	14.2%	7	0.6%	500	43.1%
	65歳～74歳	2,103	2,092	909	43.2%	118	13.0%	139	15.3%	1	0.1%	397	43.7%

年齢階層	インスリン療法		糖尿病性腎症		糖尿病性網膜症		糖尿病性神経障害		高尿酸血症		脂質異常症		
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	
	H	H/C	I	I/C	J	J/C	K	K/C	L	L/C	M	M/C	
20歳代以下	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
30歳代	0	0.0%	1	14.3%	0	0.0%	0	0.0%	3	42.9%	5	71.4%	
40歳代	1	3.3%	0	0.0%	1	3.3%	0	0.0%	6	20.0%	14	46.7%	
50歳代	4	5.0%	4	5.0%	1	1.3%	3	3.8%	14	17.5%	46	57.5%	
60歳～64歳	9	6.4%	7	5.0%	3	2.1%	2	1.4%	19	13.6%	85	60.7%	
65歳～69歳	5	1.6%	4	1.3%	3	0.9%	2	0.6%	56	17.6%	196	61.4%	
70歳～74歳	10	1.7%	9	1.5%	5	0.8%	3	0.5%	90	15.3%	360	61.0%	
全体	29	2.5%	25	2.1%	13	1.1%	10	0.9%	188	16.1%	706	60.5%	
再掲	40歳～74歳	29	2.5%	24	2.1%	13	1.1%	10	0.9%	185	16.0%	701	60.5%
	65歳～74歳	15	1.7%	13	1.4%	8	0.9%	5	0.6%	146	16.1%	556	61.2%

出典：国保データベース (KDB) システム「高血圧症のレセプト分析」(令和4年5月診療分)

虚血性心疾患のレセプト分析

年齢階層	被保険者数 (人)	レセプト件数 (件)	虚血性心疾患		脳血管疾患		人工透析		糖尿病		インスリン療法	
			人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
	A	B	C	C/A	D	D/C	E	E/C	F	F/C	G	G/C
20歳代以下	259	118	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
30歳代	177	64	1	0.6%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%
40歳代	295	139	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
50歳代	397	256	12	3.0%	2	16.7%	0	0.0%	6	50.0%	2	16.7%
60歳～64歳	469	377	31	6.6%	8	25.8%	1	3.2%	18	58.1%	3	9.7%
65歳～69歳	855	781	48	5.6%	9	18.8%	0	0.0%	27	56.3%	0	0.0%
70歳～74歳	1,248	1,311	127	10.2%	24	18.9%	0	0.0%	75	59.1%	1	0.8%
全体	3,700	3,046	220	5.9%	43	19.5%	1	0.5%	127	57.7%	6	2.7%
再掲 40歳～74歳	3,264	2,864	219	6.7%	43	19.6%	1	0.5%	126	57.5%	6	2.7%
65歳～74歳	2,103	2,092	175	8.3%	33	18.9%	0	0.0%	102	58.3%	1	0.6%

年齢階層	糖尿病性腎症		糖尿病性網膜症		糖尿病性神経障害		高血圧症		高尿酸血症		脂質異常症	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
	H	H/C	I	I/C	J	J/C	K	K/C	L	L/C	M	M/C
20歳代以下	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
30歳代	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%
40歳代	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
50歳代	1	8.3%	1	8.3%	0	0.0%	7	58.3%	1	8.3%	10	83.3%
60歳～64歳	1	3.2%	0	0.0%	1	3.2%	18	58.1%	4	12.9%	26	83.9%
65歳～69歳	1	2.1%	1	2.1%	1	2.1%	36	75.0%	8	16.7%	38	79.2%
70歳～74歳	3	2.4%	1	0.8%	2	1.6%	103	81.1%	23	18.1%	94	74.0%
全体	6	2.7%	3	1.4%	4	1.8%	165	75.0%	36	16.4%	168	76.4%
再掲 40歳～74歳	6	2.7%	3	1.4%	4	1.8%	164	74.9%	36	16.4%	168	76.7%
65歳～74歳	4	2.3%	2	1.1%	3	1.7%	139	79.4%	31	17.7%	132	75.4%

出典：国保データベース (KDB) システム「虚血性心疾患のレセプト分析」(令和4年5月診療分)

脳血管疾患のレセプト分析

年齢階層	被保険者数 (人)	レセプト件数 (件)	脳血管疾患		虚血性心疾患		人工透析		糖尿病		インスリン療法	
			人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
	A	B	C	C/A	D	D/C	E	E/C	F	F/C	G	G/C
20歳代以下	259	118	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
30歳代	177	64	2	1.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
40歳代	295	139	6	2.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	83.3%	1	16.7%
50歳代	397	256	15	3.8%	2	13.3%	0	0.0%	4	26.7%	1	6.7%
60歳～64歳	469	377	20	4.3%	8	40.0%	0	0.0%	14	70.0%	0	0.0%
65歳～69歳	855	781	45	5.3%	9	20.0%	0	0.0%	20	44.4%	1	2.2%
70歳～74歳	1,248	1,311	95	7.6%	24	25.3%	0	0.0%	45	47.4%	3	3.2%
全体	3,700	3,046	183	4.9%	43	23.5%	0	0.0%	88	48.1%	6	3.3%
再掲 40歳～74歳	3,264	2,864	181	5.5%	43	23.8%	0	0.0%	88	48.6%	6	3.3%
65歳～74歳	2,103	2,092	140	6.7%	33	23.6%	0	0.0%	65	46.4%	4	2.9%

年齢階層	糖尿病性腎症		糖尿病性網膜症		糖尿病性神経障害		高血圧症		高尿酸血症		脂質異常症	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
	H	H/C	I	I/C	J	J/C	K	K/C	L	L/C	M	M/C
20歳代以下	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
30歳代	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	50.0%	1	50.0%	1	50.0%
40歳代	0	0.0%	1	16.7%	0	0.0%	5	83.3%	2	33.3%	3	50.0%
50歳代	1	6.7%	0	0.0%	0	0.0%	12	80.0%	2	13.3%	12	80.0%
60歳～64歳	0	0.0%	0	0.0%	1	5.0%	14	70.0%	5	25.0%	17	85.0%
65歳～69歳	1	2.2%	0	0.0%	0	0.0%	37	82.2%	12	26.7%	34	75.6%
70歳～74歳	5	5.3%	1	1.1%	3	3.2%	81	85.3%	17	17.9%	64	67.4%
全体	7	3.8%	2	1.1%	4	2.2%	150	82.0%	39	21.3%	131	71.6%
再掲 40歳～74歳	7	3.9%	2	1.1%	4	2.2%	149	82.3%	38	21.0%	130	71.8%
65歳～74歳	6	4.3%	1	0.7%	3	2.1%	118	84.3%	29	20.7%	98	70.0%

出典：国保データベース (KDB) システム「脳血管疾患のレセプト分析」(令和4年5月診療分)

(2) 透析患者の状況

透析患者の状況について分析を行う。以下は、令和4年度における、透析患者数及び被保険者に占める透析患者の割合を示したものである。

透析患者数及び被保険者に占める透析患者の割合（令和4年度）

区分	被保険者数(人)	透析患者数(人)	被保険者に占める透析患者の割合(%)
三種町	3,506	9	0.26%
県	193,728	628	0.32%
同規模	419,832	1,558	0.37%
国	27,488,882	89,397	0.33%

出典：国保データベース（KDB）システム「医療費分析（1）細小分類」

以下は、本町の年度別の透析患者数及び医療費の状況等について示したものである。

年度別 透析患者数及び医療費

年度	透析患者数(人)	透析医療費(円)※	患者一人当たりの透析医療費(円)
平成30年度	7	43,359,370	6,194,196
平成31年度	9	48,523,890	5,391,543
令和2年度	12	52,284,360	4,357,030
令和3年度	6	47,848,090	7,974,682
令和4年度	9	49,203,880	5,467,098

出典：国保データベース（KDB）システム「医療費分析（1）細小分類」
※透析医療費…人工透析を行っているレセプトの総点数を医療費換算したもの。

以下は、透析患者数及び被保険者に占める割合を男女年齢階層別に示したものである。

男女年齢階層別 透析患者数及び被保険者に占める割合

年齢階層	男女合計			男性			女性		
	被保険者数(人)	透析患者数(人)	被保険者に占める透析患者割合(%)	被保険者数(人)	透析患者数(人)	被保険者に占める透析患者割合(%)	被保険者数(人)	透析患者数(人)	被保険者に占める透析患者割合(%)
0歳～4歳	29	0	0.00%	17	0	0.00%	12	0	0.00%
5歳～9歳	40	0	0.00%	14	0	0.00%	26	0	0.00%
10歳～14歳	58	0	0.00%	29	0	0.00%	29	0	0.00%
15歳～19歳	64	0	0.00%	30	0	0.00%	34	0	0.00%
20歳～24歳	31	0	0.00%	15	0	0.00%	16	0	0.00%
25歳～29歳	37	0	0.00%	27	0	0.00%	10	0	0.00%
30歳～34歳	67	0	0.00%	41	0	0.00%	26	0	0.00%
35歳～39歳	110	0	0.00%	68	0	0.00%	42	0	0.00%
40歳～44歳	141	0	0.00%	91	0	0.00%	50	0	0.00%
45歳～49歳	154	0	0.00%	93	0	0.00%	61	0	0.00%
50歳～54歳	177	0	0.00%	113	0	0.00%	64	0	0.00%
55歳～59歳	220	3	1.36%	122	3	2.46%	98	0	0.00%
60歳～64歳	469	4	0.85%	236	3	1.27%	233	1	0.43%
65歳～69歳	855	0	0.00%	438	0	0.00%	417	0	0.00%
70歳～74歳	1,248	1	0.08%	588	1	0.17%	660	0	0.00%
全体	3,700	8	0.22%	1,922	7	0.36%	1,778	1	0.06%

出典：国保データベース (KDB) システム「人工透析のレセプト分析」(令和4年5月診療分)

以下は、透析患者のレセプトデータから、併存している疾患の状況を示したものである。

透析のレセプト分析

年齢階層		被保険者数 (人)		レセプト件数 (件)		人工透析		糖尿病		インスリン療法		糖尿病性腎症		糖尿病性網膜症	
						人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
		A	B	C	C/A	D	D/C	E	E/C	F	F/C	G	G/C		
20歳代以下		259	118	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
30歳代		177	64	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
40歳代		295	139	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
50歳代		397	256	3	0.8%	3	100.0%	0	0.0%	1	33.3%	0	0.0%	0	0.0%
60歳～64歳		469	377	4	0.9%	2	50.0%	1	25.0%	1	25.0%	0	0.0%	0	0.0%
65歳～69歳		855	781	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
70歳～74歳		1,248	1,311	1	0.1%	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
全体		3,700	3,046	8	0.2%	6	75.0%	1	12.5%	2	25.0%	0	0.0%	0	0.0%
再掲	40歳～74歳	3,264	2,864	8	0.2%	6	75.0%	1	12.5%	2	25.0%	0	0.0%	0	0.0%
	65歳～74歳	2,103	2,092	1	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

年齢階層		糖尿病性神経障害		高血圧症		高尿酸血症		脂質異常症		脳血管疾患		虚血性心疾患	
		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
		H	H/C	I	I/C	J	J/C	K	K/C	L	L/C	M	M/C
20歳代以下		0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
30歳代		0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
40歳代		0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
50歳代		1	33.3%	2	66.7%	1	33.3%	1	33.3%	0	0.0%	0	0.0%
60歳～64歳		0	0.0%	4	100.0%	2	50.0%	2	50.0%	0	0.0%	1	25.0%
65歳～69歳		0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
70歳～74歳		0	0.0%	1	100.0%	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
全体		1	12.5%	7	87.5%	4	50.0%	3	37.5%	0	0.0%	1	12.5%
再掲	40歳～74歳	1	12.5%	7	87.5%	4	50.0%	3	37.5%	0	0.0%	1	12.5%
	65歳～74歳	0	0.0%	1	100.0%	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

出典：国保データベース (KDB) システム「人工透析のレセプト分析」(令和4年5月診療分)

3. 健康診査データによる分析

以下は、令和4年度健康診査データによる、検査項目別の有所見者の状況を示したものである。健診受診者全体では、眼底検査の有所見者割合が最も高く、健診受診者の61.8%を占めている。年齢階層別にみると、40歳～64歳、65歳～74歳とともに眼底検査の有所見者割合が最も高くなっている。

検査項目別有所見者の状況（令和4年度）

区分			BMI	腹囲	中性脂肪	ALT	HDL	血糖	HbA1c	尿酸
			25以上	男性85以上 女性90以上	150以上	31以上	40未満	100以上	5.6以上	7.0以上
三種町	40歳～64歳	人数(人)	91	117	66	61	11	67	126	33
		割合(%)	32.9%	42.2%	23.8%	22.0%	4.0%	24.2%	45.5%	11.9%
	65歳～74歳	人数(人)	282	353	203	131	26	240	493	50
		割合(%)	31.4%	39.4%	22.6%	14.6%	2.9%	26.8%	55.0%	5.6%
	全体 (40歳～74歳)	人数(人)	373	470	269	192	37	307	619	83
		割合(%)	31.8%	40.0%	22.9%	16.4%	3.2%	26.1%	52.7%	7.1%
県		割合(%)	30.1%	35.1%	24.3%	15.1%	3.5%	22.9%	49.9%	6.3%
国		割合(%)	27.0%	35.0%	21.2%	14.5%	3.9%	24.6%	57.2%	6.5%

区分			収縮期血圧	拡張期血圧	LDL	クレアチニン	心電図	眼底検査	non-HDL	eGFR
			130以上	85以上	120以上	1.3以上	所見あり	検査あり	150以上	60未満
三種町	40歳～64歳	人数(人)	107	56	128	1	74	196	28	30
		割合(%)	38.6%	20.2%	46.2%	0.4%	26.7%	70.8%	10.1%	10.8%
	65歳～74歳	人数(人)	498	145	388	12	270	529	65	209
		割合(%)	55.5%	16.2%	43.3%	1.3%	30.1%	59.0%	7.2%	23.3%
	全体 (40歳～74歳)	人数(人)	605	201	516	13	344	725	93	239
		割合(%)	51.5%	17.1%	44.0%	1.1%	29.3%	61.8%	7.9%	20.4%
県		割合(%)	52.0%	20.3%	46.7%	1.0%	12.5%	20.5%	4.2%	17.5%
国		割合(%)	47.5%	21.1%	50.1%	1.3%	21.3%	18.4%	5.6%	20.7%

出典：国保データベース (KDB) システム「健診有所見者状況 (男女別・年代別)」

以下は、令和4年度健康診査データによるメタボリックシンドローム該当状況を示したものである。健診受診者全体では、予備群は11.1%、該当者は24.6%である。また、血糖、血圧、脂質の3項目全ての追加リスクを持っている該当者は7.6%である。

メタボリックシンドローム該当状況(令和4年度)

年齢階層	健診受診者		腹囲のみ		予備群		血糖		血圧		脂質	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
40歳～64歳	277	31.7%	26	9.4%	35	12.6%	2	0.7%	19	6.9%	14	5.1%
65歳～74歳	897	47.7%	25	2.8%	95	10.6%	6	0.7%	70	7.8%	19	2.1%
全体(40歳～74歳)	1,174	42.6%	51	4.3%	130	11.1%	8	0.7%	89	7.6%	33	2.8%

年齢階層	該当者		血糖＋血圧		血糖＋脂質		血圧＋脂質		3項目全て	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
40歳～64歳	56	20.2%	2	0.7%	5	1.8%	33	11.9%	16	5.8%
65歳～74歳	233	26.0%	24	2.7%	10	1.1%	126	14.0%	73	8.1%
全体(40歳～74歳)	289	24.6%	26	2.2%	15	1.3%	159	13.5%	89	7.6%

出典：国保データベース (KDB) システム「メタボリックシンドローム該当者・予備群」

※メタボリックシンドローム判定基準

腹囲	追加リスク (①血糖 ②血圧 ③脂質)	該当状況
≥85cm (男性)	2つ以上該当	メタボリックシンドローム基準該当者
≥90cm (女性)	1つ該当	メタボリックシンドローム予備群該当者

※追加リスクの基準値は以下のとおりである。

- ①血糖：空腹時血糖が110mg/dl以上
- ②血圧：収縮期血圧130mmHg以上 または 拡張期血圧85mmHg以上
- ③脂質：中性脂肪150mg/dl以上 または HDLコレステロール40mg/dl未満

※糖尿病、高血圧症または脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者も対象となる。

以下は、令和4年度健康診査データにおける質問票調査の状況について、年齢階層別に示したものである。

質問票調査の状況(令和4年度)

分類	質問項目	40歳～64歳				65歳～74歳			
		三種町	県	同規模	国	三種町	県	同規模	国
服薬	服薬_高血圧症	27.6%	23.9%	21.8%	19.3%	52.8%	46.2%	44.7%	43.7%
	服薬_糖尿病	7.6%	5.5%	6.2%	5.0%	11.6%	10.1%	11.5%	10.4%
	服薬_脂質異常症	32.4%	18.7%	16.9%	15.4%	42.7%	35.0%	32.8%	34.0%
既往歴	既往歴_脳卒中	2.9%	2.4%	2.0%	1.8%	3.8%	4.1%	3.8%	3.8%
	既往歴_心臓病	2.6%	3.4%	3.2%	2.9%	9.2%	7.3%	7.3%	6.8%
	既往歴_慢性腎臓病・腎不全	0.4%	0.3%	0.6%	0.6%	0.8%	0.5%	1.0%	0.9%
	既往歴_貧血	9.5%	14.8%	12.6%	13.5%	8.2%	9.7%	8.4%	9.3%
喫煙	喫煙	25.3%	20.2%	21.1%	20.9%	12.3%	10.5%	10.8%	10.4%
体重増加	20歳時体重から10kg以上増加	41.8%	38.0%	40.0%	38.2%	31.4%	30.5%	33.2%	33.3%
運動	1回30分以上の運動習慣なし	72.3%	70.2%	71.0%	69.7%	66.8%	59.9%	58.3%	55.7%
	1日1時間以上運動なし	48.2%	43.2%	48.6%	49.9%	45.5%	42.3%	46.7%	47.0%
	歩行速度遅い	58.2%	55.0%	55.5%	53.7%	54.9%	52.7%	52.0%	49.7%
食事	食べる速度が速い	27.0%	29.3%	30.6%	31.3%	23.9%	22.8%	24.3%	24.6%
	食べる速度が普通	66.1%	63.8%	62.0%	60.9%	69.8%	70.1%	67.6%	67.6%
	食べる速度が遅い	6.9%	7.0%	7.5%	7.8%	6.4%	7.1%	8.1%	7.8%
	週3回以上就寝前夕食	13.9%	19.2%	19.8%	22.5%	16.5%	15.5%	13.5%	12.3%
	週3回以上朝食を抜く	10.0%	14.0%	16.1%	19.2%	4.0%	4.5%	5.0%	5.9%
飲酒	毎日飲酒	36.4%	29.1%	25.2%	26.3%	30.5%	29.6%	25.2%	25.1%
	時々飲酒	21.5%	24.0%	23.3%	25.3%	14.4%	20.4%	19.5%	21.0%
	飲まない	42.2%	46.9%	51.5%	48.4%	55.0%	49.9%	55.2%	53.9%
	1日飲酒量(1合未満)	31.4%	45.6%	54.8%	58.4%	40.3%	49.1%	62.4%	67.2%
	1日飲酒量(1～2合)	43.4%	34.4%	27.1%	24.4%	41.3%	34.8%	26.6%	23.4%
	1日飲酒量(2～3合)	22.0%	14.3%	13.0%	12.1%	16.0%	13.5%	9.3%	7.9%
	1日飲酒量(3合以上)	3.1%	5.6%	5.1%	5.1%	2.4%	2.6%	1.8%	1.5%
睡眠	睡眠不足	15.3%	23.2%	28.8%	29.5%	19.3%	18.9%	23.7%	23.6%
生活習慣 改善意欲	改善意欲なし	29.7%	23.8%	26.9%	23.9%	34.1%	30.3%	31.8%	29.6%
	改善意欲あり	40.3%	37.9%	31.9%	33.5%	35.5%	30.9%	25.9%	26.1%
	改善意欲ありかつ始めている	12.5%	13.8%	14.9%	15.9%	12.0%	12.7%	12.1%	12.9%
	取り組み済み6ヶ月未満	8.1%	9.2%	9.7%	9.8%	6.3%	7.7%	8.2%	8.5%
	取り組み済み6ヶ月以上	9.5%	15.4%	16.6%	16.8%	12.2%	18.3%	22.0%	22.9%
	保健指導利用しない	71.1%	64.4%	66.6%	64.1%	60.2%	60.6%	62.9%	63.2%
咀嚼	咀嚼_何でも	73.1%	81.0%	82.3%	83.9%	69.2%	73.7%	75.1%	76.9%
	咀嚼_かみにくい	26.5%	18.4%	16.9%	15.4%	30.1%	25.5%	24.0%	22.2%
	咀嚼_ほとんどかめない	0.4%	0.6%	0.9%	0.7%	0.7%	0.8%	1.0%	0.8%
間食	3食以外間食_毎日	24.4%	23.1%	24.1%	23.3%	19.4%	22.2%	20.8%	20.6%
	3食以外間食_時々	53.8%	55.9%	56.2%	55.3%	62.1%	58.4%	59.1%	58.4%
	3食以外間食_ほとんど摂取しない	21.8%	20.9%	19.6%	21.4%	18.4%	19.4%	20.1%	20.9%

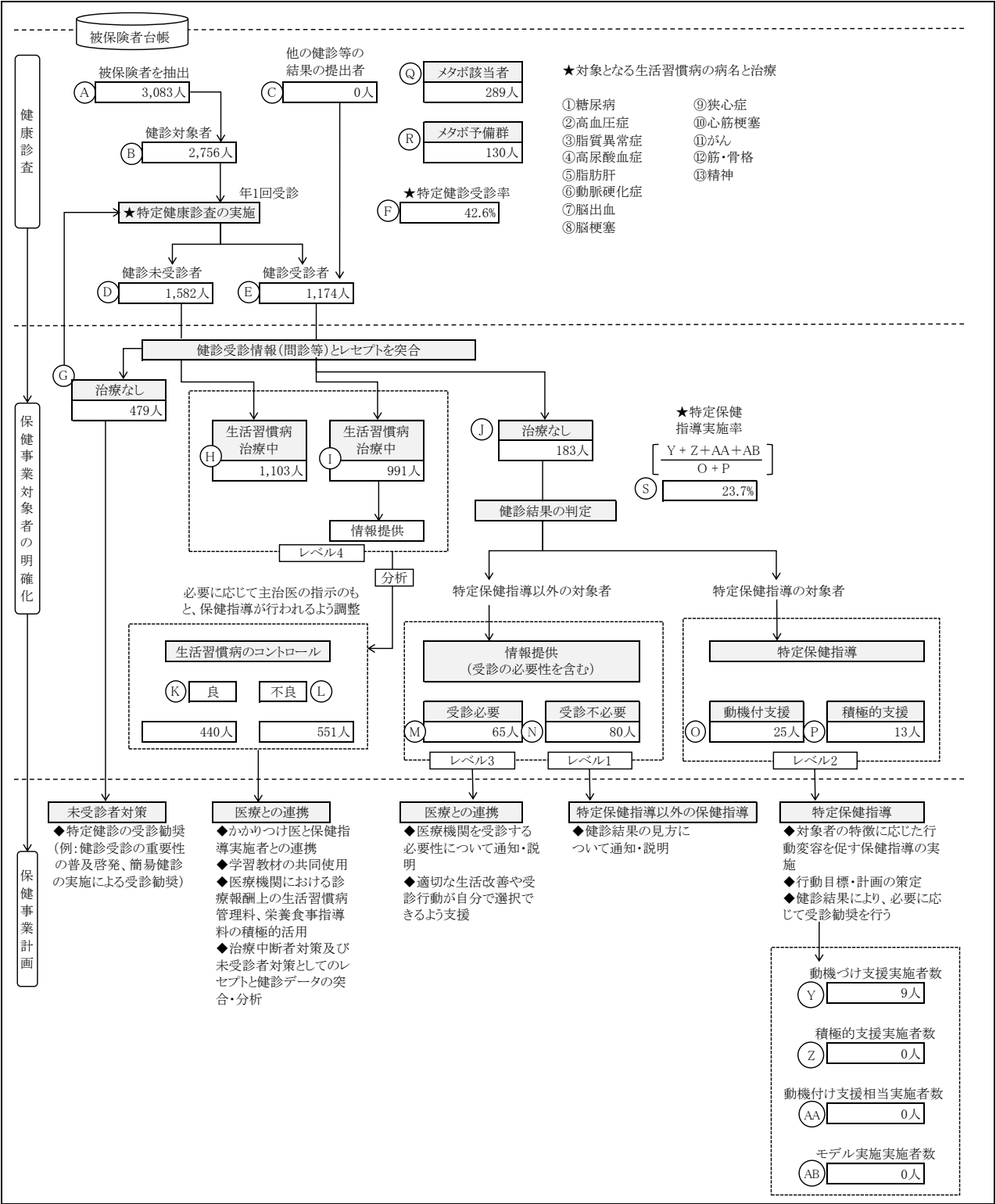
分類	質問項目	全体(40歳～74歳)			
		三種町	県	同規模	国
服薬	服薬_高血圧症	46.9%	40.8%	38.5%	35.8%
	服薬_糖尿病	10.7%	8.9%	10.1%	8.7%
	服薬_脂質異常症	40.3%	31.0%	28.4%	28.0%
既往歴	既往歴_脳卒中	3.6%	3.7%	3.3%	3.1%
	既往歴_心臓病	7.6%	6.3%	6.2%	5.5%
	既往歴_慢性腎臓病・腎不全	0.7%	0.4%	0.8%	0.8%
	既往歴_貧血	8.5%	11.0%	9.6%	10.6%
喫煙	喫煙	15.3%	12.9%	13.6%	13.8%
体重増加	20歳時体重から10kg以上増加	33.8%	32.3%	35.1%	34.9%
運動	1回30分以上の運動習慣なし	68.1%	62.4%	61.8%	60.3%
	1日1時間以上運動なし	46.2%	42.5%	47.2%	48.0%
	歩行速度遅い	55.7%	53.3%	53.0%	51.0%
食事	食べる速度が速い	24.6%	24.4%	26.0%	26.8%
	食べる速度が普通	68.9%	68.5%	66.0%	65.4%
	食べる速度が遅い	6.5%	7.1%	7.9%	7.8%
	週3回以上就寝前夕食	15.9%	16.4%	15.2%	15.7%
	週3回以上朝食を抜く	5.4%	6.9%	8.1%	10.3%
飲酒	毎日飲酒	31.9%	29.5%	25.2%	25.5%
	時々飲酒	16.1%	21.3%	20.6%	22.4%
	飲まない	52.0%	49.2%	54.2%	52.1%
	1日飲酒量(1合未満)	37.9%	48.2%	60.3%	64.2%
	1日飲酒量(1～2合)	41.9%	34.7%	26.7%	23.7%
	1日飲酒量(2～3合)	17.6%	13.7%	10.3%	9.3%
	1日飲酒量(3合以上)	2.6%	3.4%	2.7%	2.7%
睡眠	睡眠不足	18.4%	19.9%	25.1%	25.6%
生活習慣 改善意欲	改善意欲なし	33.1%	28.7%	30.5%	27.8%
	改善意欲あり	36.6%	32.6%	27.5%	28.5%
	改善意欲ありかつ始めている	12.1%	13.0%	12.9%	13.9%
	取り組み済み6ヶ月未満	6.7%	8.1%	8.6%	8.9%
	取り組み済み6ヶ月以上	11.6%	17.6%	20.5%	20.9%
	保健指導利用しない	62.7%	61.5%	63.9%	63.5%
咀嚼	咀嚼_何でも	70.1%	75.5%	77.0%	79.2%
	咀嚼_かみにくい	29.3%	23.7%	22.0%	20.0%
	咀嚼_ほとんどかめない	0.6%	0.7%	0.9%	0.8%
間食	3食以外間食_毎日	20.6%	22.4%	21.7%	21.5%
	3食以外間食_時々	60.2%	57.8%	58.3%	57.4%
	3食以外間食_ほとんど摂取しない	19.2%	19.8%	19.9%	21.1%

出典：国保データベース (KDB) システム「質問票調査の状況」

4. 被保険者の階層化

以下は、令和4年度における健康診査データ及びレセプトデータから被保険者を階層化した結果を示したものである。

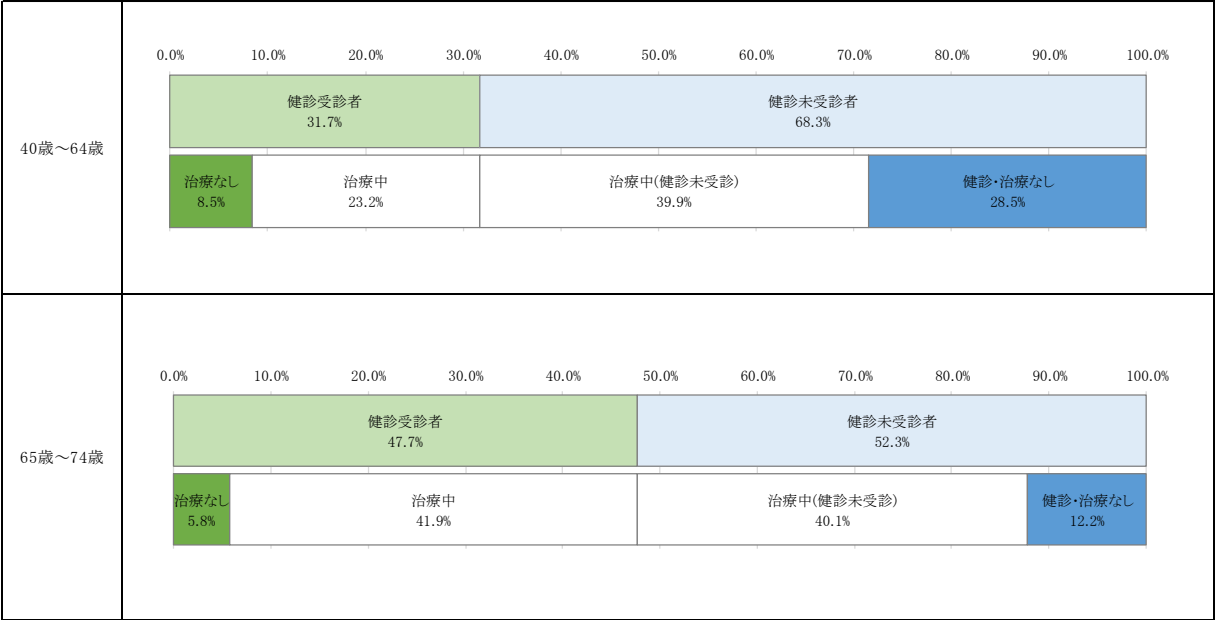
被保険者の階層化（令和4年度）



出典：国保データベース (KDB) システム「糖尿病等生活習慣病予防のための健診・保健指導」

以下は、令和4年度における40歳以上の特定健診対象者について、健診受診状況別に生活習慣病の治療状況を示したものである。

特定健診対象者の生活習慣病治療状況（令和4年度）



出典：国保データベース（KDB）システム「糖尿病等生活習慣病予防のための健診・保健指導」
※「治療中」…特定健診対象者のうち、生活習慣病のレセプトを持つ患者を対象として集計。

5. 受診行動適正化に関する分析

多受診（重複受診・頻回受診・重複服薬）は、不適切な受診行動も含まれているため、これらの患者を正しい受診行動に導く指導が必要である。ここでは「多受診患者数とその傾向」を把握し、「指導対象者集団の特定」「適切な指導実施方法の確立」「成果の確認方法」について明確にする。

(1) 多受診（重複受診・頻回受診・重複服薬）患者数とその傾向

ひと月に同系の疾病を理由に複数の医療機関に受診している「重複受診者」や、ひと月に同一の医療機関に一定回数以上受診している「頻回受診者」、ひと月に同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、処方日数が一定以上の「重複服薬者」について令和4年4月～令和5年3月診療分（12カ月分）のレセプトデータを用いて分析した。

以下のとおり重複受診者数を集計した。ひと月平均2人程度の重複受診者が確認できる。12カ月間の延べ人数は27人、実人数は14人である。

重複受診者数

	令和4年4月	令和4年5月	令和4年6月	令和4年7月	令和4年8月	令和4年9月	令和4年10月	令和4年11月	令和4年12月	令和5年1月	令和5年2月	令和5年3月
重複受診者数(人) ※	2	1	3	4	1	2	2	3	2	2	2	3
										12カ月間の延べ人数		27人
										12カ月間の実人数		14人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)
資格確認日…令和5年3月31日時点
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出
※重複受診者数…1カ月間で同系の疾病を理由に3医療機関以上受診している患者を対象とする。透析中、治療行為を行っていないレセプトは対象外とする。

重複受診の要因となる主な上位疾病は以下のとおりである。

順位	病名	分類	割合(%)
1	変形性膝関節症	筋骨格系及び結合組織の疾患	21.0%
2	不眠症	神経系の疾患	20.0%
3	うつ病	精神及び行動の障害	12.0%
4	慢性胃炎	消化器系の疾患	12.0%
5	糖尿病	内分泌、栄養及び代謝疾患	6.0%
6	胃癌	新生物<腫瘍>	3.0%
7	不安神経症	精神及び行動の障害	3.0%
8	心不全	循環器系の疾患	3.0%
9	アレルギー性鼻炎	呼吸器系の疾患	3.0%
10	過敏性腸症候群	消化器系の疾患	3.0%

以下のとおり頻回受診者数を集計した。ひと月平均4人程度の頻回受診者が確認できる。
12カ月間の延べ人数は53人、実人数は16人である。

頻回受診者数

	令和4年4月	令和4年5月	令和4年6月	令和4年7月	令和4年8月	令和4年9月	令和4年10月	令和4年11月	令和4年12月	令和5年1月	令和5年2月	令和5年3月
頻回受診者数(人) ※	3	6	9	7	6	3	4	4	2	2	4	3
										12カ月間の延べ人数		53人
										12カ月間の実人数		16人

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)
資格確認日…令和5年3月31日時点
※頻回受診者数…1カ月間で同一医療機関に12回以上受診している患者を対象とする。透析患者は対象外とする。

頻回受診の要因となる主な上位疾病は以下のとおりである。

順位	病名	分類	割合(%)
1	躁うつ病	精神及び行動の障害	20.4%
2	適応障害	精神及び行動の障害	16.7%
3	脂質異常症	内分泌, 栄養及び代謝疾患	11.1%
4	脳出血後遺症	循環器系の疾患	9.3%
5	変形性膝関節症	筋骨格系及び結合組織の疾患	5.6%
6	変形性腰椎症	筋骨格系及び結合組織の疾患	5.6%
7	肩関節周囲炎	筋骨格系及び結合組織の疾患	5.6%
8	関節周囲炎	筋骨格系及び結合組織の疾患	5.6%
9	高血圧症	循環器系の疾患	5.6%
10	前立腺癌	新生物<腫瘍>	3.7%

以下のとおり重複服薬者数を集計した。ひと月平均14人程度の重複服薬者が確認できる。
12カ月間の延べ人数は166人、実人数は83人である。

重複服薬者数

	令和4年4月	令和4年5月	令和4年6月	令和4年7月	令和4年8月	令和4年9月	令和4年10月	令和4年11月	令和4年12月	令和5年1月	令和5年2月	令和5年3月
重複服薬者数(人) ※	11	14	13	16	9	12	15	11	13	26	14	12
										12カ月間の延べ人数		166人
										12カ月間の実人数		83人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)
資格確認日…令和5年3月31日時点
※重複服薬者数…1カ月間で同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者を対象とする。

重複服薬の要因となる主な上位薬品は以下のとおりである。

順位	薬品名 ※	効能	割合(%)
1	ハルシオン0. 25mg錠	催眠鎮静剤, 抗不安剤	7.4%
2	リフレックス錠15mg	精神神経用剤	6.3%
3	ロゼレム錠8mg	その他の中枢神経系用薬	6.3%
4	デパス錠0. 5mg	精神神経用剤	5.9%
5	ロフラゼプ酸エチル錠1mg「SN」	催眠鎮静剤, 抗不安剤	5.0%
6	マイスリー錠10mg	催眠鎮静剤, 抗不安剤	4.6%
7	リーゼ錠5mg	精神神経用剤	4.2%
8	ロキソプロフェンNa錠60mg「OHA」	解熱鎮痛消炎剤	3.1%
9	アムロジピンOD錠5mg「NP」	血管拡張剤	2.9%
10	フェブキシostat錠20mg「DSEP」	痛風治療剤	2.9%

※薬品名…重複服薬と判定された同系の医薬品の中で、最も多く処方された薬品名

(2) 指導対象者集団の特定

分析結果より、12カ月間で重複受診者は14人、頻回受診者は16人、重複服薬者は83人存在する。機械的に多受診患者を特定した場合、問題になるのは、その患者の多くに「必要な医療」の可能性がある患者も含まれることである。機械的に多受診患者を特定するのではなく、十分な分析の上、指導対象者を特定する必要がある。ここでは、令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)のレセプトを対象に、「条件設定による指導対象者の特定」「除外設定」「優先順位」の3段階を経て分析した。

はじめに、「条件設定による指導対象者の特定」を行う。重複受診・頻回受診・重複服薬を併せ持つ患者がいるため前項の分析結果より患者数は減少する。

条件設定による指導対象者の特定(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

I.条件設定による指導対象者の特定	
・重複受診患者 …1カ月間で同系の疾病を理由に3医療機関以上受診している患者 ・頻回受診患者 …1カ月間で同一医療機関に12回以上受診している患者 ・重複服薬者 …1カ月間で同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者	
条件設定により候補者となった患者数	105人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)
資格確認日…令和5年3月31日時点

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。「がん患者」「精神疾患患者」「難病患者」「認知症患者」「人工透析患者」に関しては、必要な医療による受診の可能性がある。また、指導が困難な可能性も考えられる。以上の理由から、該当する患者について指導対象者から除外する。

除外設定(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

II.除外設定	
	除外理由別人数
除外	がん、精神疾患、難病、認知症 ※人工透析
	76人
除外患者を除き、候補者となった患者数	29人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)
資格確認日…令和5年3月31日時点
※がん、精神疾患、難病、認知症…疑い病名を含む。

第5章 健康課題の抽出と保健事業の実施内容

1. 分析結果に基づく健康課題の抽出と解決のための対策

以下は、分析結果から明らかとなった健康課題と、健康課題に対して本計画で目指す姿(目的)、その目的を達成するための目標を示したものである。

健康課題	優先する健康課題	対応する保健事業番号	データヘルス計画全体における目的
生活習慣 ・ 健診データにおける質問票調査において、国や県よりも喫煙率が高く、運動習慣がない人の割合が高く、口腔状況の悪い割合が高い。	1	①、⑦	被保険者の健康意識の向上 被保険者一人一人が自らの健康状態を把握し、より良い生活習慣の継続につながるような機会・情報の提供、健康づくりサポートを行う。
特定健診・特定保健指導 ・ 特定健康診査受診率が国が掲げている目標に達していない。 ・ 特定保健指導の積極的支援対象者の割合が県平均より高い。	2	②、③	特定健康診査の周知・啓発と特定保健指導の実施率向上 レセプトデータを活用し、効率的な勧奨業務の実施と町内医療機関への協力要請の検討を行う。保健指導対象者には健診結果を面談で手渡しする方法を継続し、実施率の向上を図る。
生活習慣病 ・ 医療費構成を見ると、基礎疾患（糖尿病 高血圧症、脂質異常症）の割合が高い。 ・ 検査項目別有所見者状況から収縮期血圧の割合が国よりも高い。 ・ がんが主たる死因の45.8%ではあり、医療費も高額になっているが、がん検診受診率が国の目標値に達していない。	3	①、④ ⑤、⑥	生活習慣病の早期発見・早期治療による重症化予防 レセプトデータ、健康診査データ等から生活習慣病の重症化リスクを有する被保険者を特定し、適切な受療や生活習慣の改善等の行動変容を促すことで、重症化を予防する。
介護について ・ すべての区分において、一件当たりの介護給付費が国、県よりも高い。 ・ 被保険者数は平成30年から減少しているが、要介護認定者数はほぼ横ばいとなっている。	4	⑧	健康寿命延伸と高齢者支援の充実 医療・介護データの連携を進め、フレイル予防、介護予防を行う。地域で一体となって高齢者の医療・介護・暮らしを支援する体制づくりに努める。
医療費適正化全般について ・ 後発医薬品の使用割合は74.5%である。国が掲げている目標には達していない。 ・ 受診行動の適正化が必要な、重複・頻回受診、重複服薬のいずれかに該当する被保険者が存在する。	5	⑨	医療費適正化と適正受診・適正服薬 後発医薬品（ジェネリック）の普及啓発やお薬手帳の利用促進、服薬情報通知等により、医療費の適正化、医療資源の有効活用と薬物有害事象発生防止を図る。

個別の保健事業については「2. 健康課題を解決するための個別の保健事業」に記載

2. 健康課題を解決するための個別の保健事業

(1) 保健事業一覧

以下は、分析結果に基づく健康課題に対する対策の検討結果を踏まえ、第3期データヘルス計画にて実施する事業一覧を示したものである。

事業番号	事業名称	事業概要	区分	重点・優先度
①	生活習慣病予防	- 生活習慣病予防健康教育（高血圧、禁煙、運動等） - 健康相談（健診結果説明会等） - 要治療者への受診勧奨	継続	1
②	特定健康診査	- 特定健康診査受診勧奨通知 - 特定健康診査の周知・啓発 - 特定健康診査の受診環境整備	継続	3
③	特定保健指導	- 特定保健指導の参加勧奨 - 特定保健指導の実施 - 特定保健指導に係る健康教室の実施	継続	6
④	特定健診結果に基づく医療機関への受診勧奨	- 健診異常値放置者への受診勧奨 - 生活習慣病治療中断者への受診勧奨 - 受診確認	継続	8
⑤	糖尿病重症化予防	- 受診勧奨 - 訪問指導 - 保健指導	継続	4
⑥	がん検診	- 集団検診申込方法の拡大 - がん検診の重要性の普及啓発 - 受診勧奨	新規	5
⑦	歯と口腔の健康づくり	- 歯科検診受診勧奨 - 健康教室 - 保護者への歯科保健指導	新規	2
⑧	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施	- フレイル健診（ポピュレーションアプローチ） - 保健指導（ハイリスクアプローチ） - フレイル予防の普及啓発	新規	7
⑨	医療費適正化	- 後発医薬品の利用促進 - 重複・頻回受診の抑制 - 第三者行為求償	継続	9

(2) 各事業の実施内容と評価方法

各事業における実施内容及び評価方法の詳細は以下のとおりである。

第3期データヘルス計画における秋田県共通評価シート（地域特性）

作成年月日	令和6年2月29日
市町村名	三種町

<人口・被保険者に関すること>

項目		計画策定時の値		第3期計画期間					
		年度	実績値	R6	R7	R8	R9	R10	R11
人口（人）	総数	R4	14,438人						
	うち男性	R4	6,644人						
	うち女性	R4	7,794人						
人口の年齢構成割合（%）	15歳未満	R4	7.1%						
	15～64歳	R4	45.1%						
	65歳以上	R4	47.8%						
	うち75歳以上	R4	26.0%						
国保被保険者数（人）	総数	R4	3,506人						
国保被保険者の年齢構成割合（%）	～39歳	R4	12.1%						
	40～64歳	R4	30.1%						
	65～74歳	R4	57.8%						

<寿命・死亡比に関すること>

項目		計画策定時の値		第3期計画期間					
		年度	実績値	R6	R7	R8	R9	R10	R11
平均寿命（年）	男性	R4	78.8年						
	女性	R4	86.5年						
平均自立期間（要介護2以上）（年）	男性	R4	77.5年						
	女性	R4	82.8年						
標準化死亡比（人口10万対）	男性	R4	121.0						
	女性	R4	108.8						
死因（%）	がん	R4	45.8%						
	心臓病	R4	28.3%						
	脳疾患	R4	19.3%						
	糖尿病	R4	1.2%						
	腎不全	R4	1.2%						
	自殺	R4	4.2%						

<医療費に関すること>

項目		計画策定時の値		第3期計画期間					
		年度	実績値	R6	R7	R8	R9	R10	R11
男性の医科受診率 (人口千対)	0～14歳	R4	551.105						
	15～39歳	R4	291.010						
	40～44歳	R4	383.613						
	45～49歳	R4	442.907						
	50～54歳	R4	530.120						
	55～59歳	R4	676.834						
	60～64歳	R4	747.037						
	65～69歳	R4	842.321						
	70～74歳	R4	978.361						
女性の医科受診率 (人口千対)	0～14歳	R4	528.736						
	15～39歳	R4	472.520						
	40～44歳	R4	619.643						
	45～49歳	R4	658.171						
	50～54歳	R4	625.164						
	55～59歳	R4	835.605						
	60～64歳	R4	962.754						
	65～69歳	R4	1,105.487						
	70～74歳	R4	1,222.751						
医科の一人当たり 医療費（円）	外来	R4	19,779						
	入院	R4	13,965						

<医療費が高額な疾病の推移>

項目		計画策定時の値		第3期計画期間					
		年度	実績値	R6	R7	R8	R9	R10	R11
医療費の高い疾病の点数 【外来】 ※計画策定時における 上位10選の推移	糖尿病	R4	8,579,864						
	高血圧症	R4	5,667,679						
	不整脈	R4	3,588,613						
	関節疾患	R4	3,349,964						
	脂質異常症	R4	3,233,964						
	慢性腎臓病 (透析あり)	R4	3,214,833						
	大腸がん	R4	1,894,778						
	胃がん	R4	1,857,529						
	白血病	R4	1,718,771						
	間質性肺炎	R4	1,568,584						
医療費の高い疾病の点数 【入院】 ※計画策定時における 上位10選の推移	統合失調症	R4	5,107,690						
	関節疾患	R4	2,564,849						
	脳梗塞	R4	2,008,476						
	胃がん	R4	1,408,517						
	大腸がん	R4	1,405,810						
	肺がん	R4	1,324,402						
	膵臓がん	R4	1,283,358						
	骨折	R4	1,255,969						
	慢性閉塞性肺疾患 (COPD)	R4	1,197,688						
	胆石症	R4	894,765						

第3期データヘルス計画における秋田県共通評価シート①（生活習慣病予防）

作成年月日	令和6年2月29日
市町村名	三種町

評価指標		計画策定時の値 (R4年度)	第3期計画期間					
			R6	R7	R8	R9	R10	R11
＜アウトカム指標＞ 喫煙者の割合	目標値	－	14.9%	14.7%	14.5%	14.3%	14.1%	13.9%
	男性実績	29.3%						
	女性実績	2.9%						
＜アウトカム指標＞ 運動習慣のない者の割合	目標値	－	64.5%	62.7%	60.9%	59.1%	57.3%	55.5%
	男性実績	64.8%						
	女性実績	71.0%						
＜アウトカム指標＞ 適量飲酒者の割合	目標値	－	81.0%	81.7%	82.4%	83.1%	83.8%	84.5%
	男性実績	73.8%						
	女性実績	74.1%						
＜アウトカム指標＞ 血圧が保健指導判定値を 超える者の割合	目標値	－	50.5%	49.3%	48.1%	46.9%	45.7%	44.5%
	実績	52.9%						
関連施策の実施状況								
事業名①	生活習慣病予防健康教育（高血圧、禁煙、運動等）							
事業の具体的内容	【対象者】 ・ 特定健康診査を受診した被保険者 【方法】 ・ 健診結果を分析し、必要な対象者に健康教育を行う。 【実施者】 ・ 三種町健康推進課医療年金係、保健係							
事業名②	健康相談（健診結果説明会等）							
事業の具体的内容	【対象者】 ・ 特定健康診査を受診した被保険者 【方法】 ・ 健診結果より、必要な対象者に事業の説明会を行い、事業を開始する。 【実施者】 ・ 三種町健康推進課保健係							
事業名③	要治療者への受診勧奨							
事業の具体的内容	【対象者】 ・ 特定健康診査を受診した被保険者 【方法】 ・ 健診結果送付時、血圧、血糖値の要治療者の方へ連絡票を同封し、医療機関に受診される際に持参してもらう。未受診の方には、受診勧奨をする。 【実施者】 ・ 三種町健康推進課保健係							
評価								
課題	・ 健康教育等の参加者が固定化している。							
次年度以降の対応方針								

第3期データヘルス計画における秋田県共通評価シート②（特定健康診査）

作成年月日	令和6年2月29日
市町村名	三種町

評価指標		計画策定時の値 (R4年度)	第3期計画期間					
			R6	R7	R8	R9	R10	R11
＜アウトカム指標＞ 特定健康診査の受診率	目標値	－	44.0%	45.0%	46.0%	47.0%	48.0%	49.0%
	実績	42.8%						
	うち男性	38.7%						
	うち女性	47.2%						
関連施策の実施状況								
事業名①	特定健康診査受診勧奨通知							
事業の具体的内容	【対象者】 ・ 特定健康診査を受診していない被保険者 【方法】 ・ 業務委託により、過年度における受診情報等を分析し、AI技術を活用して未受診者の特性に合わせた通知内容により受診勧奨を行う。 【実施者】 ・ 三種町健康推進課医療年金係							
事業名②	特定健康診査の周知・啓発							
事業の具体的内容	【対象者】 ・ 全町民 【方法】 ・ 町の広報やホームページによる啓発を行う他、新規国保加入者へ加入手続き時に特定健康診査制度についてパンフレット等を配布し周知を図る。 【実施者】 ・ 三種町健康推進課医療年金係							
事業名③	特定健康診査の受診環境整備							
事業の具体的内容	【対象者】 ・ 特定健康診査対象者 【方法】 ・ 町が実施する集団健診において特定健康診査とがん検診等を同時に受診できる環境をつくることで、利用しやすい検診体制を整備する。 【実施者】 ・ 三種町健康推進課医療年金係、保健係							
評価								
課題	・ 疾病大分類や疾病中分類において生活習慣病患者が多数存在し、医療費も多額である。 ・ 特定健康診査でメタボリックシンドローム該当者等の早期発見ができるため、適切に特定保健指導や重症化予防事業をつなぐことを目的に、特定健診の受診率の向上が必要である。							
次年度以降の対応方針	・ 前期計画で実施していた事業を継続しつつ、町内医療機関への事業説明や協力要請等の追加施策を検討していく。 ・ 過去の受診状況を把握するためにレセプトデータも活用し、効果的かつ効率的な勧奨業務を実施する。							

第3期データヘルス計画における秋田県共通評価シート③（特定保健指導）

作成年月日	令和6年2月29日
市町村名	三種町

評価指標		計画策定時の値 (R4年度)	第3期計画期間					
			R6	R7	R8	R9	R10	R11
＜アウトカム指標＞ 特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率	目標値	－	34.0%	34.5%	35.0%	35.5%	36.0%	36.5%
	実績	34.4%						
	うち男性	30.4%						
	うち女性	44.4%						
＜アウトプット指標＞ 特定保健指導実施率	目標値	－	22.5%	23.0%	23.5%	24.0%	24.5%	25.0%
	実績	22.0%						
	うち男性	22.1%						
	うち女性	21.9%						
関連施策の実施状況								
事業名①	特定保健指導の参加勧奨							
事業の具体的内容	【対象者】 ・ 特定健康診査の結果、特定保健指導判定値に該当する被保険者 【方法】 ・ 特定健康診査結果の返却日を通知し、面談等で特定保健指導の参加勧奨をする。 【実施者】 ・ 三種町健康推進課保健係、医療年金係							
事業名②	特定保健指導の実施							
事業の具体的内容	【対象者】 ・ 特定健康診査の結果、特定保健指導判定値に該当する被保険者 【方法】 ・ 保健師または管理栄養士が初回面談をし、対象者自らが生活習慣改善に向けた行動をとれるような支援計画を立てる。 【実施者】 ・ 三種町健康推進課保健係、一部業務委託							
事業名③	特定保健指導に係る健康教室の実施							
事業の具体的内容	【対象者】 ・ 特定健康診査の結果、特定保健指導判定値に該当する被保険者 【方法】 ・ 生活習慣病予防の運動教室を開催 【実施者】 ・ 三種町健康推進課保健係							
評価								
課題	・ 集団健診で特定健診を受診する被保険者、指導対象となる被保険者が固定化されている。 ・ 毎年該当になる被保険者から面談拒否がみられる。							
次年度以降の対応方針	・ 健診結果を郵送ではなく面談で手渡しする方法を継続する。対象者自らが生活習慣改善行動をとれるよう支援していく。							

第3期データヘルス計画における秋田県共通評価シート④
(特定健診結果に基づく医療機関への受診勧奨)

作成年月日	令和6年2月29日
市町村名	三種町

評価指標		計画策定時の値 (R4年度)	第3期計画期間					
			R6	R7	R8	R9	R10	R11
＜アウトカム指標＞ 特定健診で受診勧奨を受けた者の医療機関受診率	目標値	－	50.8%	50.9%	51.0%	51.1%	51.2%	51.3%
	実績	50.7%						
関連施策の実施状況								
事業名①	健診異常値放置者への受診勧奨							
事業の具体的内容	【対象者】 ・ 特定健康診査受診後、その結果に異常値があるにも関わらず医療機関受診が確認できない被保険者 【方法】 ・ 業務委託により健診データとレセプトデータから対象者を抽出する。 ・ 医療機関受診を促す通知を発送する。 【実施者】 ・ 三種町健康推進課医療年金係							
事業名②	生活習慣病治療中断者への受診勧奨							
事業の具体的内容	【対象者】 ・ かつて生活習慣病で定期受診をしていたがその後定期受診を中断した被保険者 【方法】 ・ 業務委託によりレセプトデータから対象者を抽出する。 ・ 医療機関受診を促す通知を発送する。 【実施者】 ・ 三種町健康推進課医療年金係							
事業名③	受診確認							
事業の具体的内容	【対象者】 ・ 受診勧奨通知者 【方法】 ・ 通知後のレセプトデータを確認し、医療受診があるかを確認する。 ・ 受診がない対象者に再通知や訪問等のフォローを行う。 【実施者】 ・ 三種町健康推進課医療年金係 ・ 町保健師							
評価								
課題	・ 健診異常値を放置している被保険者、生活習慣病の治療を中断している被保険者が存在する。医療機関への受診勧奨を行うことで適切な医療につながり重症化を予防する。							
次年度以降の対応方針	・ 受診勧奨後のレセプトデータを確認し、効果を検証する。 ・ 2年以上連続で対象者になった被保険者には、町保健師が直接、受診勧奨する等、より強力なアプローチを検討する。							

第3期データヘルス計画における秋田県共通評価シート⑤（糖尿病重症化予防）

作成年月日	令和6年2月29日
市町村名	三種町

評価指標		計画策定時の値 (R4年度)	第3期計画期間					
			R6	R7	R8	R9	R10	R11
＜アウトカム指標＞ 被保険者に占める糖尿病患者 の割合	目標値	－	18.0%	18.1%	18.2%	18.3%	18.4%	18.5%
	実績	19.6%						
＜アウトカム指標＞ HbA1c8.0%以上の者の割合	目標値	－	1.2%	1.1%	1.0%	0.9%	0.8%	0.7%
	実績	1.4%						
＜アウトカム指標＞ 新規人工透析患者数	目標値	－	2人	2人	2人	2人	2人	2人
	実績	1人						
関連施策の実施状況								
事業名①	受診勧奨							
事業の具体的内容	【対象者】 ・糖尿病未治療者、治療中断者として事業実施プログラムの抽出基準に該当する者 【方法】 ・治療の必要性を説明し早期の受診を勧める。受診結果を確認できるよう連絡票交付 【実施者】 ・三種町健康推進課保健係							
事業名②	訪問指導							
事業の具体的内容	【対象者】 ・糖尿病未治療者として事業実施プログラムの抽出基準に該当する者 【方法】 ・保健師が訪問し、生活習慣改善の必要性を説明する。 【実施者】 ・三種町健康推進課保健係							
事業名③	保健指導							
事業の具体的内容	【対象者】 ・現在かかりつけ医療機関での疾病治療中で、Ⅱ型糖尿病の腎症2期、3期に該当する者 【方法】 ・対象者リスト作成を業務委託し、保健指導参加勧奨を実施 ・参加勧奨で申し込みのあった対象者に対し、かかりつけ医に確認の上、保健指導を実施 【実施者】 ・参加勧奨：三種町健康推進課医療年金係 ・保健指導：業務委託							
評価								
課題	・多忙な方や糖尿病に対するリスクを感じていない方が未治療の対象となった場合、受診につなげることが難しいと感じる。							
次年度以降の対応方針								

第3期データヘルス計画における秋田県共通評価シート⑥（がん検診）

作成年月日	令和6年2月29日
市町村名	三種町

評価指標		計画策定時の値 (R4年度)	第3期計画期間					
			R6	R7	R8	R9	R10	R11
＜アウトカム指標＞ 胃がん検診の受診率	目標値	－	10.9%	11.0%	11.1%	11.2%	11.3%	11.4%
	実績	10.3%						
＜アウトカム指標＞ 大腸がん検診の受診率	目標値	－	15.4%	15.5%	15.6%	15.7%	15.8%	15.9%
	実績	15.1%						
＜アウトカム指標＞ 肺がん検診の受診率	目標値	－	14.5%	14.6%	14.7%	14.8%	14.9%	15.0%
	実績	14.6%						
＜アウトカム指標＞ 子宮頸がん検診の受診率	目標値	－	14.5%	14.6%	14.7%	14.8%	14.9%	15.0%
	実績	14.3%						
＜アウトカム指標＞ 乳がん検診の受診率	目標値	－	25.8%	25.9%	26.0%	26.1%	26.2%	26.3%
	実績	25.6%						
関連施策の実施状況								
事業名①	集団検診申込方法の拡大							
事業の具体的内容	【対象者】 ・がん検診が受けられる年齢の町民 【方法】 ・受診予定票による紙面での申込のほか、令和5年度は胃・子宮・乳がん検診に限定して取り入れていたWEB予約を肺・大腸がん検診にも取り入れ、受診希望者が申込みやすい環境にする。 【実施者】 ・三種町健康推進課保健係							
事業名②	がん検診の重要性の普及啓発							
事業の具体的内容	【対象者】 ・全町民 【方法】 ・町の広報やホームページで啓発する。併せて検診実施日の周知を行う。 【実施者】 ・三種町健康推進課保健係							
事業名③	受診勧奨							
事業の具体的内容	【対象者】 ・無料クーポン券・無料受診券対象者と町の集団健診を申し込んでいて、当日受診に来られなかった者 ・要精検となった方で、精密検査の受診が確認出来ない者 【方法】 ・年度内に受けられる検診日程について個人通知する。要精検未受診の方には受診状況を通知や電話で確認する。 【実施者】 ・三種町健康推進課保健係							
評価								
課題	・いずれのがん検診においても、国の第4期がん対策推進基本計画で示されている、がん検診受診率60%という目標値には程遠い受診率である。 ・新規受診者が増えるように、がん検診の重要性を啓発していくことが必要と考える。							
次年度以降の対応方針								

第3期データヘルス計画における秋田県共通評価シート⑦（歯と口腔の健康づくり）

作成年月日	令和6年2月29日
市町村名	三種町

評価指標		計画策定時の値 (R4年度)	第3期計画期間					
			R6	R7	R8	R9	R10	R11
<アウトカム指標> 歯科の一人当たり医療費	目標値	-	-	-	-	-	-	-
	実績	1,994						
関連施策の実施状況								
事業名①	歯科検診受診勧奨							
事業の具体的内容	【対象者】 ・ 歯科検診未受診者 【方法】 ・ ハガキによる受診勧奨通知 ・ 40歳無料受診券の中に歯科検診を含める 【実施者】 ・ 三種町健康推進課保健係							
事業名②	健康教室							
事業の具体的内容	【対象者】 ・ 健康教室参加者 【方法】 ・ 生活習慣病予防の健康教室に歯科保健関係の内容を取り入れる 【実施者】 ・ 三種町健康推進課保健係							
事業名③	保護者への歯科保健指導							
事業の具体的内容	【対象者】 ・ 年長児の保護者 【方法】 ・ フッ化物洗口保護者説明会、親子へ6歳臼歯を守る教室を実施する 【実施者】 ・ 三種町健康推進課保健係							
評価								
課題	・ 歯科検診受診者は少ない状況にある。受診勧奨や保健指導を通して歯の健康を守ることの大切さを普及啓発していく必要がある。							
次年度以降の対応方針								

第3期データヘルス計画における秋田県共通評価シート⑧（介護予防）

作成年月日	令和6年2月29日
市町村名	三種町

評価指標		計画策定時の値 (R4年度)	第3期計画期間					
			R6	R7	R8	R9	R10	R11
＜アウトカム指標＞ 一件当たり介護給付費	目標値	－	94,676	93,424	93,841	93,424	93,007	92,590
	実績	97,180						
＜アウトカム指標＞ 介護認定率	目標値	－	21.4%	21.1%	20.8%	20.5%	20.2%	20.0%
	実績	22.1%						
関連施策の実施状況								
事業名①	フレイル健診（ポピュレーションアプローチ）							
事業の具体的内容	【対象者】 ・前期・後期高齢者のうち介護認定がされていない者 【方法】 ・運動、栄養、口腔機能を測定し、結果をもとに保健指導を実施する 【実施者】 ・三種町健康推進課医療年金係、保健係 ・業務委託							
事業名②	保健指導（ハイリスクアプローチ）							
事業の具体的内容	【対象者】 ・一体的実施、KDB活用支援ツールを活用し抽出された者（低栄養・口腔・服薬・身体的フレイル・重症化予防(糖尿病・循環器・腎)・健康状態不明者) 【方法】 ・一体的実施、KDB活用支援ツールを活用し対象者を抽出し、抽出された対象者に保健指導を実施する。 【実施者】 ・三種町健康推進課保健係 ・業務委託							
事業名③	フレイル予防の普及啓発							
事業の具体的内容	【対象者】 ・前期・後期高齢者のうち介護認定がされていない者 【方法】 ・フレイル健診後の健康教育（運動・栄養・口腔機能）や通いの場におけるフレイル予防教室を実施する 【実施者】 ・三種町健康推進課保健係							
評価								
課題	・令和4年度から本事業に取り組みはじめた。 ・事業の継続化と他課や関係機関との連携を強化していく必要がある。							
次年度以降の対応方針								

第3期データヘルス計画における秋田県共通評価シート⑨（医療費適正化）

作成年月日	令和6年2月29日
市町村名	三種町

評価指標		計画策定時の値 (R4年度)	第3期計画期間					
			R6	R7	R8	R9	R10	R11
＜アウトカム指標＞ 重複・頻回受診の状況	目標値	－	1	1	1	0	0	0
	実績	2						
＜アウトカム指標＞ 重複処方の状況	目標値	－	0	0	0	0	0	0
	実績	0						
＜アウトカム指標＞ 多剤投与の状況	目標値	－	610	605	600	595	590	585
	実績	615						
＜アウトカム指標＞ 後発医薬品使用率	目標値	－	74.6%	74.7%	74.8%	74.9%	75.0%	75.1%
	実績	74.5%						
現年度の関連施策								
事業名①	後発医薬品の利用促進							
事業の具体的内容	【対象者】 ・後発医薬品に切り替えることにより300円以上の差額が発生する可能性のある被保険者 【方法】 ・レセプトデータから対象者を抽出し、切り替えによる差額の通知を年2回発送する。 【実施者】 ・三種町健康推進課医療年金係							
事業名②	重複・頻回受診の抑制							
事業の具体的内容	【対象者】 ・重複受診者、頻回受診者 【方法】 ・町保健師による訪問 【実施者】 ・町保健師							
事業名③	第三者行為求償							
事業の具体的内容	【対象者】 ・交通事故等による第三者からの被害者 【方法】 ・対象者に対し傷病届の提出を勧奨 【実施者】 ・三種町健康推進課医療年金係							
評価								
課題	・国保財政の安定化には、支出の中心となる保険給付費の適正化が欠かせないことから、国保財政の安定化に向けた医療費適正化の取組が必要である。 ・特定健康診査の情報の分析等を活用し、地域の実情を踏まえたきめ細やかな保健事業を行う必要がある。 ・後発医薬品の普及率が、国が定める目標(80%以上)と比較して低いため、切り替え勧奨を行う必要がある。							
次年度以降の対応方針	・医療機関への重複受診、頻回受診を抑制するため、町保健師による訪問指導を行う。 ・被保険者の健康に対する認識や医療費に対するコスト意識を高めるため医療費総額等を被保険者に通知するほか、医療費の適正化に向けた被保険者の意識啓発を図るため、医療費の実態やその分析結果等を広報等で広く周知する。 ・交通事故等による第三者からの被害を、発見手段の拡大や周知広報の強化により、早期に発見し、世帯主に対し損害賠償請求に係る傷病届の速やかな提出を勧奨し、継続的に求償事務の取組を強化する。							

1. 計画の評価及び見直し

(1) 個別の保健事業の評価・見直し

個別の保健事業の評価は年度毎に行うことを基本として、計画策定時に設定した保健事業毎の評価指標に基づき、事業の効果や目標の達成状況を確認する。

目標の達成状況が想定に達していない場合は、ストラクチャーやプロセスが適切であったか等を確認の上、目標を達成できなかった原因や事業の必要性等を検討して、次年度の保健事業の実施やデータヘルス計画の見直しに反映させる。

(2) データヘルス計画全体の評価・見直し

① 評価の時期

最終評価のみならず、設定した評価指標に基づき、進捗確認のため令和8年度に中間評価を行い、次期計画の円滑な策定に向けて、計画の最終年度である令和11年度上半期に仮評価を行う。

② 評価方法・体制

計画は、中長期的な計画運営を行うものであることを踏まえ、短期では評価が難しいアウトカム(成果)指標を中心とした評価指標による評価を行う。また、評価に当たっては、後期高齢者医療広域連合と連携して行うなど、他保険者との連携・協力体制の整備に努める。

2. 計画の公表・周知

本計画は、広報、ホームページ等で公表するとともに、あらゆる機会を通じて周知・啓発を図る。また、目標の達成状況等の公表に努め、本計画の円滑な実施等について広く意見を求めるものとする。

3. 個人情報の取扱い

個人情報の取扱いに当たっては、個人情報の保護に関する各種法令、ガイドラインに基づき適切に管理する。また、業務を外部に委託する際も同様に取り扱われるよう委託契約書に定めるとともに、委託先に対して必要かつ適切な管理・監督を行い、個人情報の取扱いについて万全の対策を講じるものとする。

4. 地域包括ケアに係る取り組み及びその他の留意事項

令和2年4月から「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」が本格施行となり、被保険者一人一人の暮らしを地域全体で支える地域共生社会の体制の構築・実現を目指す、地域包括ケアシステムの充実・強化が推進されている。地域包括ケアとは、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、介護が必要な状態になっても可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるように支援する仕組み（システム）のことである。地域包括ケアシステムの充実に向けて、下記の取り組みを実施する。

① 地域で被保険者を支える連携の促進

- ・医療・介護・保健・福祉・住まい・生活支援などについての議論の場に国保保険者として参加し、地域の課題を共有し、対応策を検討するとともに、地域支援事業に国保部局として参画

② 課題を抱える被保険者層の分析と、地域で被保険者を支える事業の実施

- ・レセプトデータ、介護データ等を活用して前期高齢者等のハイリスク群・予備群等を抽出し、当該ターゲット層に対する支援や介護予防を目的とした健康教室等のプログラムの実施

③ 国民健康保険診療施設の施設・人材の活用

- ・医療提供における役割だけではなく、地域で必要とされている保健事業、訪問診療、介護サービス、生活支援等の一体的・総合的な提供の場として活用

庁内各部門及び地域における多様な専門機関、事業者、団体等の関係機関との連携により、関係者間で包括的に地域の実態把握・課題分析を共有し、地域が一体となって取り組みを推進する。

第2部
第4期特定健康診査等実施計画

第1章 特定健康診査等実施計画について

1. 計画策定の趣旨

近年、急速な少子高齢化、経済の低成長への移行、国民生活や意識の変化など、大きな環境変化に直面し、医療制度を今後も持続していくための構造改革が急務となっている。

このような状況に対応するため、健康と長寿を確保しつつ、医療費の伸びの抑制にもつながることから、生活習慣病を中心とした疾病予防を重視することとし、高齢者の医療の確保に関する法律(昭和57年法律第80号。以下「法」という。)により、医療保険者は被保険者に対し生活習慣病に関する健康診査及び保健指導を実施することとされた。

三種町国民健康保険においても、法第19条に基づき特定健康診査等実施計画(第1期～第3期)を策定し、特定健康診査及び特定保健指導の適切かつ有効な実施に努めてきた。このたび、令和5年度に前期計画が最終年度を迎えることから、令和6年度を初年度とする第4期特定健康診査等実施計画を策定する。

2. 特定健康診査等実施計画の位置づけ

法第19条を踏まえるとともに、「健康増進計画」及び「データヘルス計画」等で用いた評価指標を用いるなど、それぞれの計画との整合性を図るものとする。

3. 計画期間

計画期間は令和6年度から令和11年度までの6年間とする。

4. データ分析期間

■入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト

単年分析

令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)

■健康診査データ

単年分析

令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)

年度分析

令和2年度…令和2年4月～令和3年3月健診分(12カ月分)

令和3年度…令和3年4月～令和4年3月健診分(12カ月分)

令和4年度…令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)

■国保データベース(KDB) システムデータ

平成30年度～令和4年度(5年分)

第2章 特定健康診査及び特定保健指導の現状と評価

1. 取り組みの実施内容

以下は、特定健康診査及び特定保健指導に係る、これまでの主な取り組みを示したものである。

【特定健康診査】

事業分類	取り組み	実施内容
特定健康診査の 受診率向上	未受診理由の分析、特性に合わせた内容による受診勧奨通知	過年度における特定健康診査の受診情報等を分析し、AI技術を活用して未受診者の特性に合わせた通知内容により受診勧奨を行い、受診に関する関心を高め受診行動につなげる。
	受診勧奨通知内容の見直し	毎年度同じ内容の通知文書を送付すると、対象者が通知内容に慣れてしまい、受診勧奨が形骸化してしまうため、適宜通知内容の見直しを行い、勧奨効果を維持する。

【特定保健指導】

事業分類	取り組み	実施内容
生活習慣病該当者及び予備群の 減少	特定保健指導の参加勧奨	健診結果を面談で手渡し、特定保健指導の参加勧奨をする。
	特定保健指導の実施	対象者へ保健師または栄養士による初回面談の実施。対象者自らが生活習慣改善に向けた行動をとれるよう支援計画を立てる。

2. 特定健康診査の受診状況

以下は、平成20年度から令和5年度（見込み値）における、特定健康診査の受診状況を示したものである。

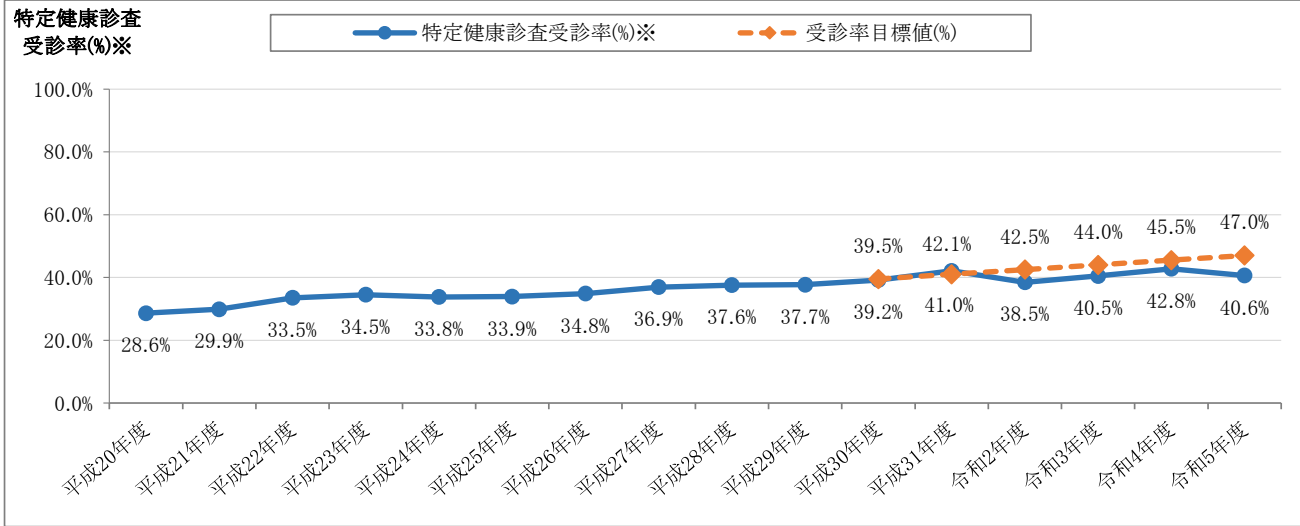
特定健康診査受診率及び目標値

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
特定健康診査対象者数(人)	4, 225	4, 181	4, 071	4, 090	4, 012	3, 910	3, 751	3, 611
特定健康診査受診者数(人)	1, 210	1, 250	1, 365	1, 411	1, 355	1, 327	1, 307	1, 333
特定健康診査受診率(%)※	28. 6%	29. 9%	33. 5%	34. 5%	33. 8%	33. 9%	34. 8%	36. 9%
受診率目標値(%)								

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込み値)
特定健康診査対象者数(人)	3, 461	3, 262	3, 123	3, 034	2, 990	2, 936	2, 746	2, 761
特定健康診査受診者数(人)	1, 300	1, 230	1, 224	1, 277	1, 150	1, 188	1, 175	1, 120
特定健康診査受診率(%)※	37. 6%	37. 7%	39. 2%	42. 1%	38. 5%	40. 5%	42. 8%	40. 6%
受診率目標値(%)			39. 5%	41. 0%	42. 5%	44. 0%	45. 5%	47. 0%

特定健康診査対象者数、特定健康診査受診者数、特定健康診査受診率は法定報告値
※特定健康診査受診率…特定健康診査対象者に対する特定健康診査受診者数の割合

特定健康診査受診率及び目標値



特定健康診査対象者数、特定健康診査受診者数、特定健康診査受診率は法定報告値
※特定健康診査受診率…特定健康診査対象者に対する特定健康診査受診者数の割合

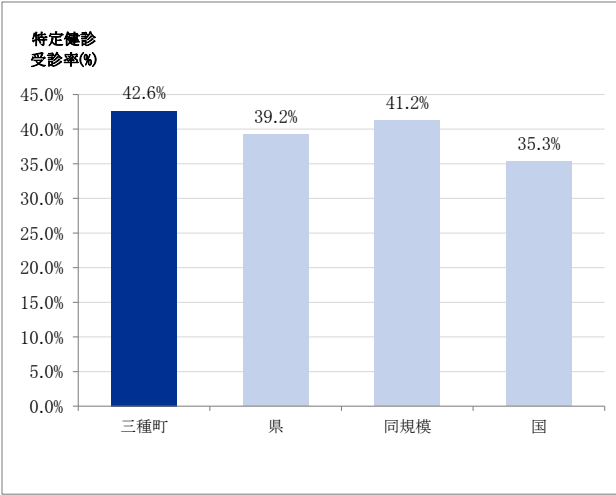
国保データベース (KDB) システムより集計した、令和4年度における、特定健康診査受診率は以下のとおりである。

特定健康診査受診率 (令和4年度)

区分	特定健診受診率
三種町	42.6%
県	39.2%
同規模	41.2%
国	35.3%

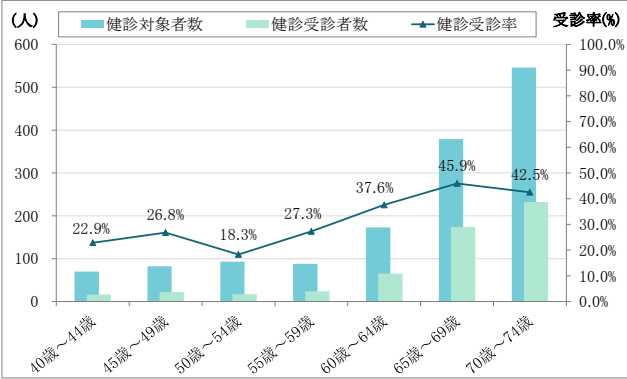
出典：国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

特定健康診査受診率 (令和4年度)



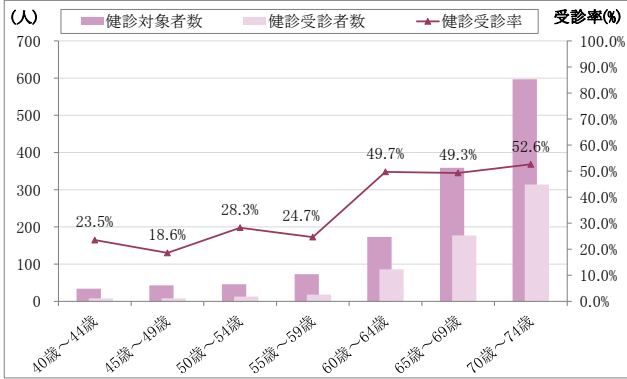
出典：国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

(男性) 年齢別特定健康診査受診率 (令和4年度)



出典：国保データベース (KDB) システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

(女性) 年齢別特定健康診査受診率 (令和4年度)



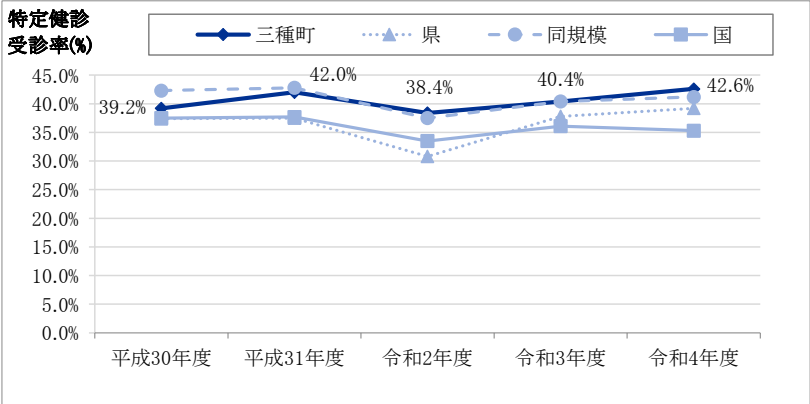
以下は、本町の平成30年度から令和4年度における、40歳から74歳の特定健康診査受診率を年度別に示したものである。令和4年度の特定健康診査受診率42.6%は平成30年度39.2%より3.4ポイント増加している。

年度別 特定健康診査受診率

区分	特定健診受診率				
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
三種町	39.2%	42.0%	38.4%	40.4%	42.6%
県	37.4%	37.5%	30.8%	37.8%	39.2%
同規模	42.3%	42.8%	37.5%	40.4%	41.2%
国	37.5%	37.7%	33.5%	36.1%	35.3%

出典：国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

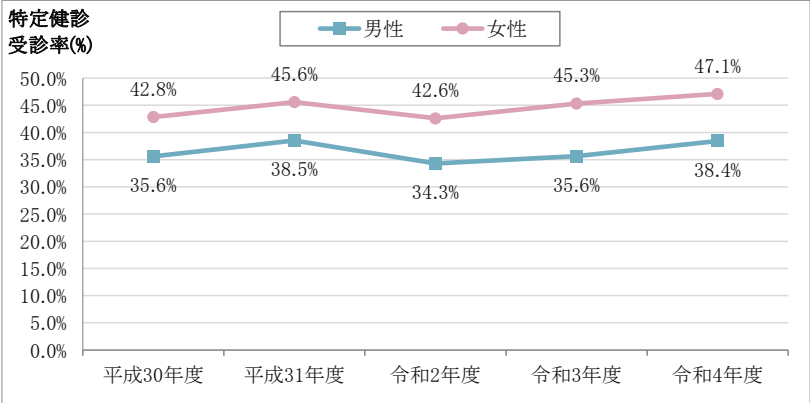
年度別 特定健康診査受診率



出典：国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

男女別の特定健康診査の受診率をみると、男性の令和4年度受診率38.4%は平成30年度35.6%より2.8ポイント増加しており、女性の令和4年度受診率47.1%は平成30年度42.8%より4.3ポイント増加している。

年度・男女別 特定健康診査受診率



出典：国保データベース (KDB) システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

3. 特定保健指導の実施状況

以下は、平成20年度から令和5年度（見込み値）における、特定保健指導の実施状況を示したものである。

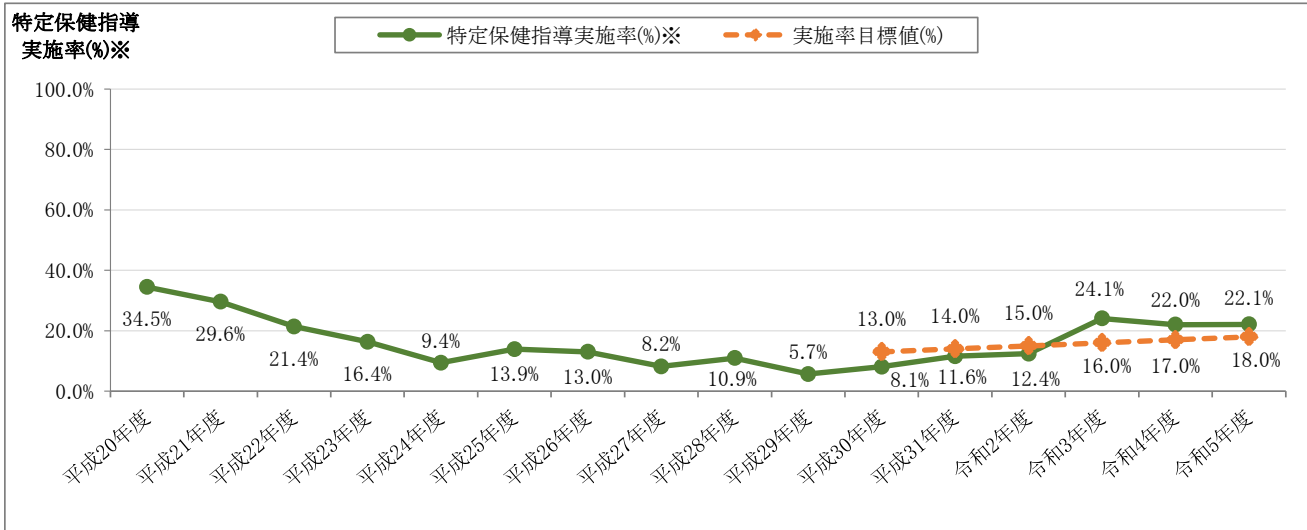
特定保健指導実施率及び目標値

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
特定保健指導対象者数(人)	148	152	168	165	170	158	146	183
特定保健指導利用者数(人)	84	42	48	28	28	27	15	18
特定保健指導実施者数(人)※	51	45	36	27	16	22	19	15
特定保健指導実施率(%)※	34.5%	29.6%	21.4%	16.4%	9.4%	13.9%	13.0%	8.2%
実施率目標値(%)								

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込み値)
特定保健指導対象者数(人)	128	141	136	147	137	133	109	113
特定保健指導利用者数(人)	16	10	18	16	13	34	21	31
特定保健指導実施者数(人)※	14	8	11	17	17	32	24	25
特定保健指導実施率(%)※	10.9%	5.7%	8.1%	11.6%	12.4%	24.1%	22.0%	22.1%
実施率目標値(%)			13.0%	14.0%	15.0%	16.0%	17.0%	18.0%

特定保健指導対象者数、特定保健指導利用者数、特定保健指導実施者数、特定保健指導実施率は法定報告値
※特定保健指導実施者数…特定保健指導を終了した人数
※特定保健指導実施率…特定保健指導対象者に対する特定保健指導実施者の割合

特定保健指導実施率及び目標値



特定保健指導実施率は法定報告値
※特定保健指導実施率…特定保健指導対象者に対する特定保健指導終了者の割合

以下は、支援レベル別の特定保健指導の実施状況を示したものである。

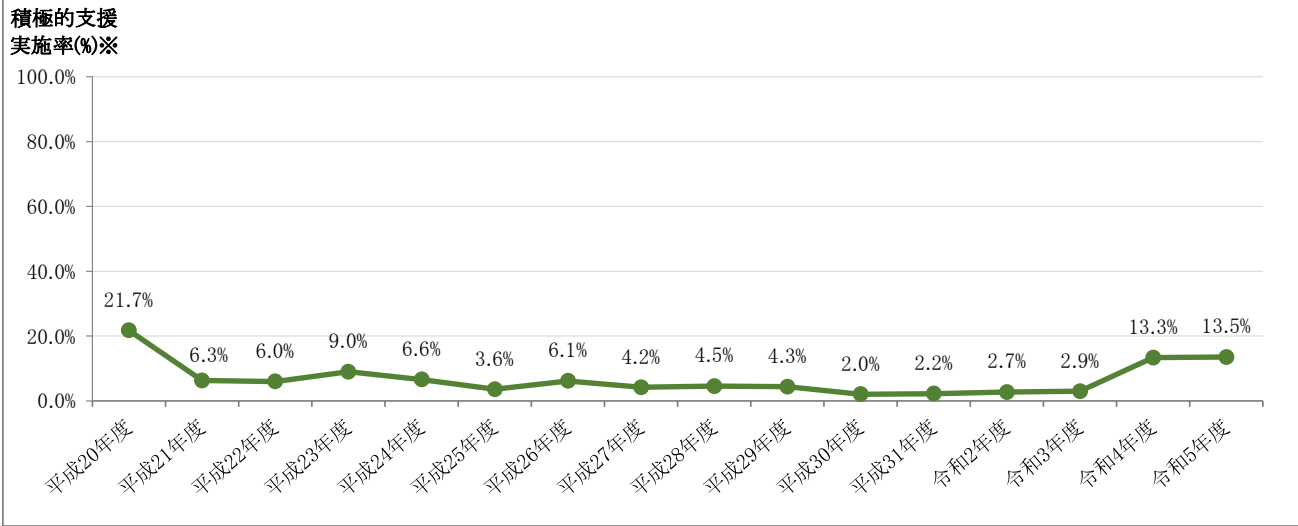
積極的支援実施状況

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
積極的支援対象者数(人)	46	48	67	67	61	56	49	72
積極的支援利用者数(人)	19	7	9	8	5	4	1	4
積極的支援実施者数(人)※	10	3	4	6	4	2	3	3
積極的支援実施率(%)※	21.7%	6.3%	6.0%	9.0%	6.6%	3.6%	6.1%	4.2%

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込み値)
積極的支援対象者数(人)	44	46	49	45	37	34	30	37
積極的支援利用者数(人)	5	0	5	0	1	3	2	8
積極的支援実施者数(人)※	2	2	1	1	1	1	4	5
積極的支援実施率(%)※	4.5%	4.3%	2.0%	2.2%	2.7%	2.9%	13.3%	13.5%

積極的支援対象者数、積極的支援利用者数、積極的支援実施者数、積極的支援実施率は法定報告値
※積極的支援実施者数…積極的支援を終了した人数
※積極的支援実施率…積極的支援対象者に対する積極的支援実施者の割合

積極的支援実施状況



積極的支援実施率は法定報告値
※積極的支援実施率…積極的支援対象者に対する積極的支援実施者の割合

動機付け支援実施状況

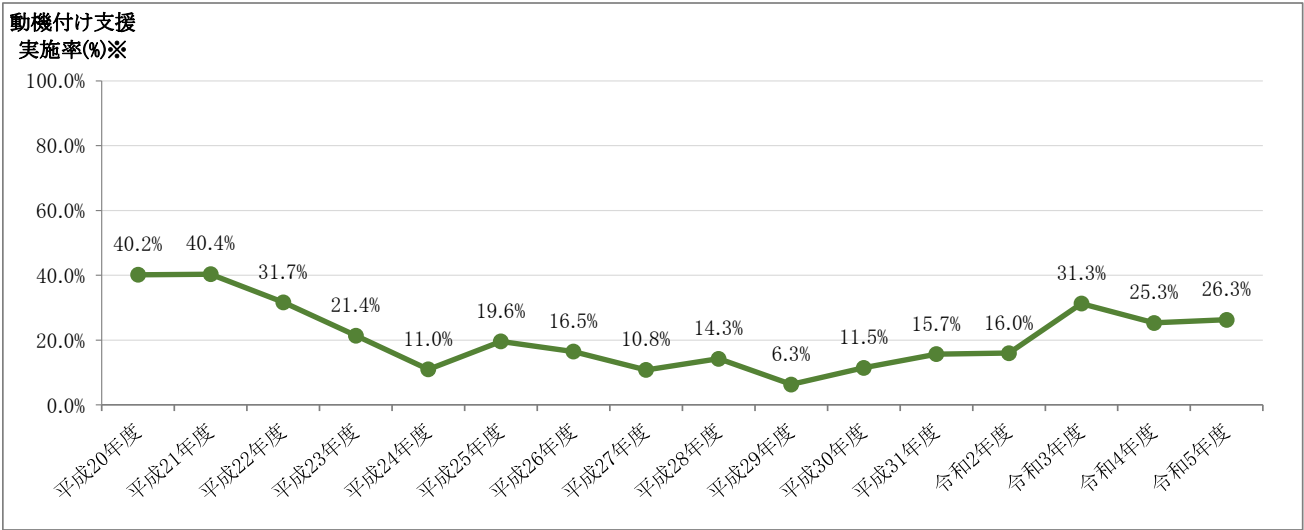
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
動機付け支援対象者数(人)	102	104	101	98	109	102	97	111
動機付け支援利用者数(人)	65	35	39	20	23	23	14	14
動機付け支援実施者数(人)※	41	42	32	21	12	20	16	12
動機付け支援実施率(%)※	40.2%	40.4%	31.7%	21.4%	11.0%	19.6%	16.5%	10.8%
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(見込み値)
動機付け支援対象者数(人)	84	95	87	102	100	99	79	76
動機付け支援利用者数(人)	11	10	13	16	12	31	19	23
動機付け支援実施者数(人)※	12	6	10	16	16	31	20	20
動機付け支援実施率(%)※	14.3%	6.3%	11.5%	15.7%	16.0%	31.3%	25.3%	26.3%

動機付け支援対象者数、動機付け支援利用者数、動機付け支援実施者数、動機付け支援実施率は法定報告値

※動機付け支援実施者数…動機付け支援を終了した人数

※動機付け支援実施率…動機付け支援対象者に対する動機付け支援実施者の割合

動機付け支援実施状況



動機付け支援実施率は法定報告値

※動機付け支援実施率…動機付け支援対象者に対する動機付け支援実施者の割合

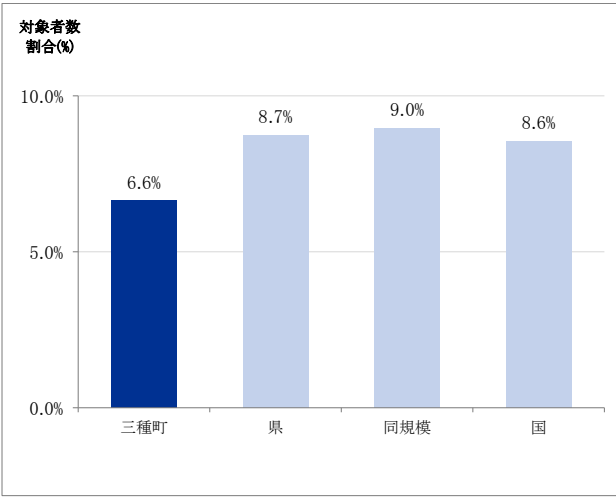
国保データベース (KDB) システムより集計した、令和4年度における、特定保健指導の実施状況は以下のとおりである。

特定保健指導実施状況 (令和4年度)

区分	動機付け支援 対象者数割合	積極的支援 対象者数割合	支援対象者数割合	特定保健指導 実施率
三種町	6.6%	2.6%	9.3%	19.3%
県	8.7%	2.5%	11.2%	12.1%
同規模	9.0%	2.8%	11.8%	17.1%
国	8.6%	3.2%	11.8%	9.0%

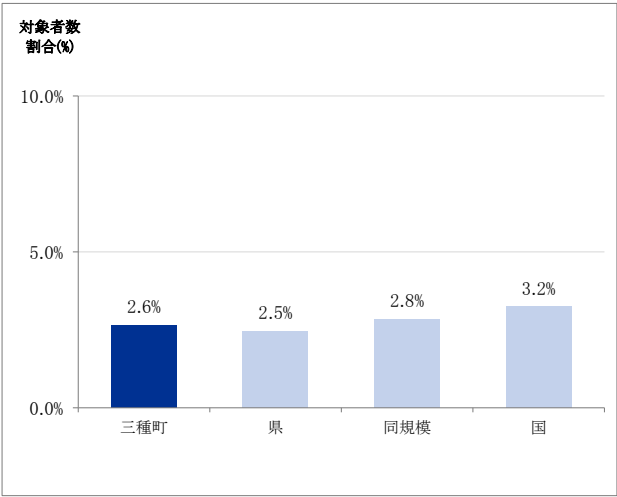
動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合
特定保健指導実施率…最新データ反映前のため、最終結果とは異なる。
出典:国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

動機付け支援対象者数割合 (令和4年度)



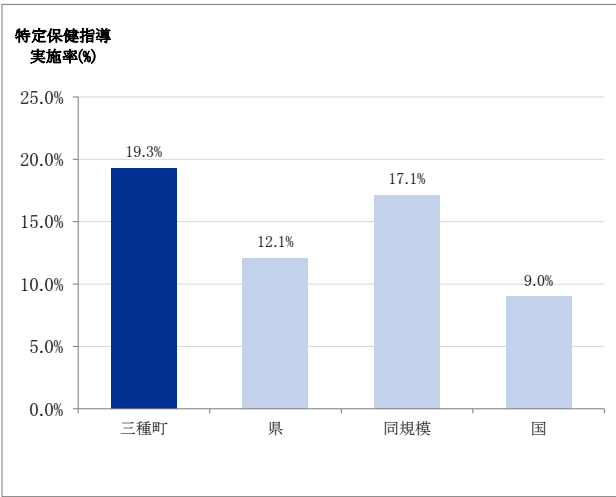
出典:国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

積極的支援対象者数割合 (令和4年度)



出典:国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

特定保健指導実施率 (令和4年度)



出典:国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

以下は、本町の平成30年度から令和4年度における、特定保健指導の実施状況を年度別に示したものである。令和4年度の特定保健指導実施率19.3%は平成30年度11.7%より7.6ポイント増加している。

年度別 動機付け支援対象者数割合

区分	動機付け支援対象者数割合				
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
三種町	7.2%	8.0%	8.7%	8.3%	6.6%
県	9.6%	9.5%	8.8%	9.0%	8.7%
同規模	9.3%	9.2%	9.2%	9.3%	9.0%
国	9.0%	8.9%	9.0%	8.9%	8.6%

年度別 積極的支援対象者数割合

区分	積極的支援対象者数割合				
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
三種町	4.0%	3.5%	3.2%	2.9%	2.6%
県	2.8%	2.8%	2.5%	2.6%	2.5%
同規模	3.1%	3.0%	2.9%	3.0%	2.8%
国	3.2%	3.2%	3.2%	3.3%	3.2%

年度別 支援対象者数割合

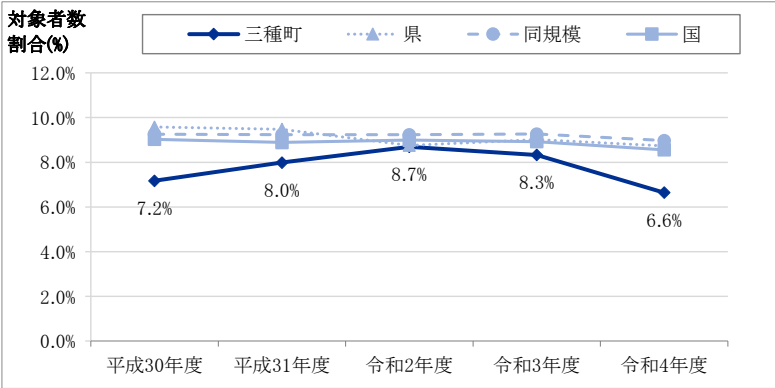
区分	支援対象者数割合				
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
三種町	11.2%	11.5%	11.9%	11.2%	9.3%
県	12.4%	12.3%	11.2%	11.7%	11.2%
同規模	12.4%	12.2%	12.1%	12.2%	11.8%
国	12.2%	12.1%	12.2%	12.2%	11.8%

年度別 特定保健指導実施率

区分	特定保健指導実施率				
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
三種町	11.7%	11.6%	8.0%	25.6%	19.3%
県	19.9%	20.2%	19.9%	18.8%	12.1%
同規模	42.2%	44.1%	44.2%	44.1%	17.1%
国	23.8%	24.2%	23.8%	24.0%	9.0%

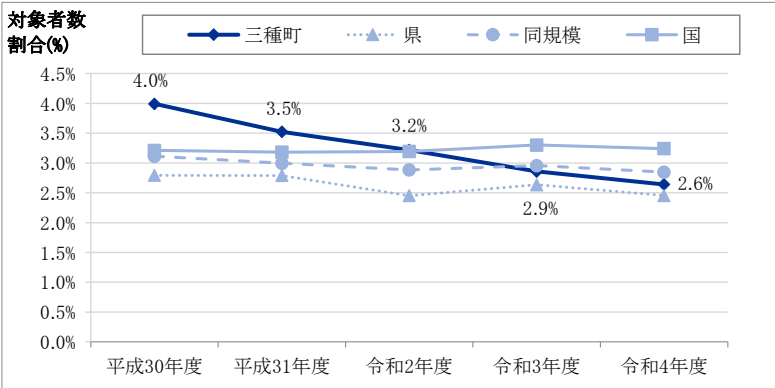
動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合
特定保健指導実施率(令和4年度)…最新データ反映前のため、最終結果とは異なる。
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 動機付け支援対象者数割合



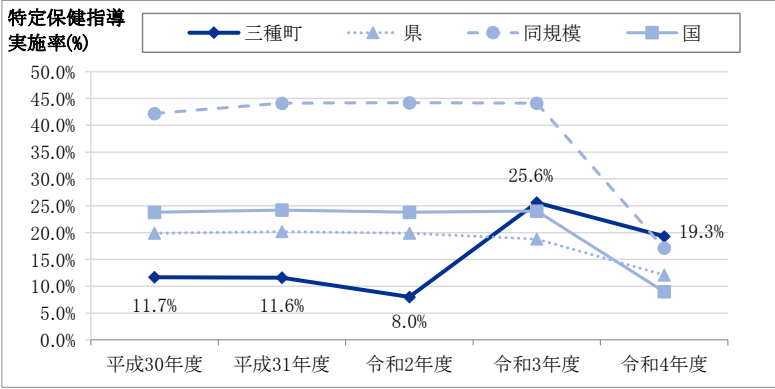
出典:国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

年度別 積極的支援対象者数割合



出典:国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

年度別 特定保健指導実施率



出典:国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

4. メタボリックシンドローム該当状況

以下は、令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)における、特定健康診査受診者のメタボリックシンドローム該当状況を示したものである。基準該当は24.5%、予備群該当は11.0%である。

メタボリックシンドローム該当状況

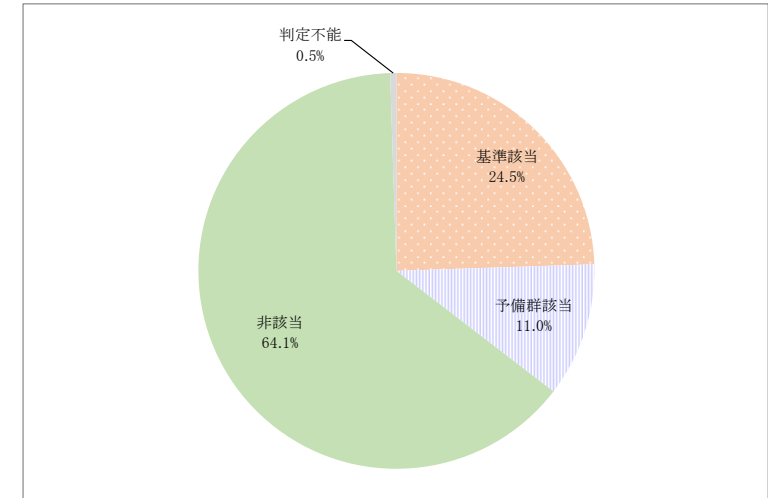
	健診受診者数	基準該当	予備群該当	非該当	判定不能
該当者数(人)	1,177	288	129	754	6
割合(%) ※	－	24.5%	11.0%	64.1%	0.5%

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)

資格確認日…令和5年3月31日時点

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合

メタボリックシンドローム該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)

資格確認日…令和5年3月31日時点

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合

※メタボリックシンドローム判定基準

腹囲	追加リスク (①血糖 ②脂質 ③血圧)	該当状況
≥85cm (男性)	2つ以上該当	メタボリックシンドローム基準該当者
≥90cm (女性)	1つ該当	メタボリックシンドローム予備群該当者

※追加リスクの基準値は以下のとおりである。

- ①血糖:空腹時血糖が110mg/dl以上
- ②脂質:中性脂肪150mg/dl以上 または HDLコレステロール40mg/dl未満
- ③血圧:収縮期血圧130mmHg以上 または 拡張期血圧85mmHg以上

※糖尿病、高血圧症または脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者も対象となる。

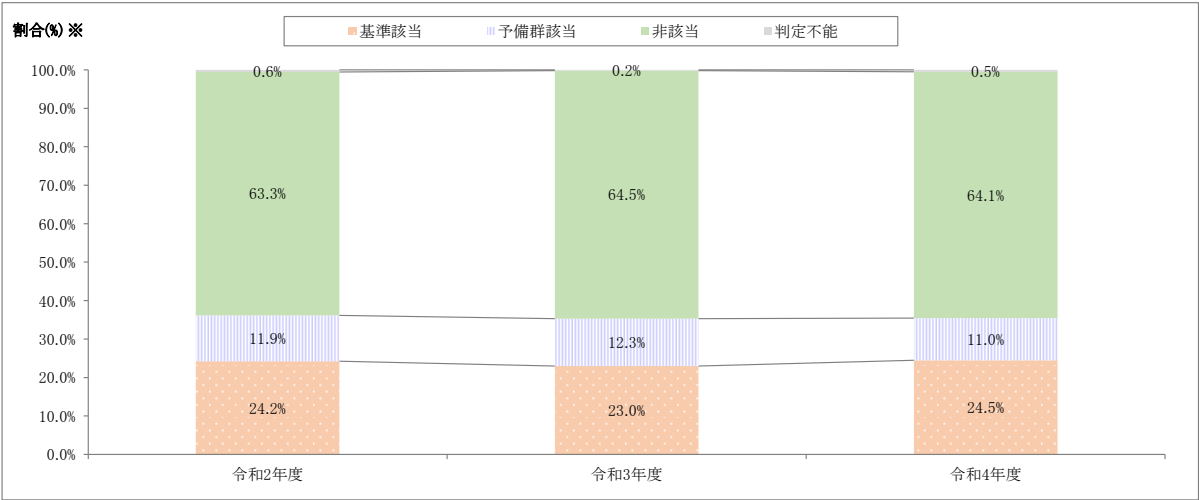
以下は、令和2年度から令和4年度における、特定健康診査受診者のメタボリックシンドローム該当状況を年度別に示したものである。令和4年度を令和2年度と比較すると、基準該当24.5%は令和2年度24.2%より0.3ポイント増加しており、予備群該当11.0%は令和2年度11.9%より0.9ポイント減少している。

年度別 メタボリックシンドローム該当状況

年度	健診受診者数(人)	
令和2年度	1,090	
令和3年度	1,096	
令和4年度	1,177	

年度	基準該当		予備群該当		非該当		判定不能	
	人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※
令和2年度	264	24.2%	130	11.9%	690	63.3%	6	0.6%
令和3年度	252	23.0%	135	12.3%	707	64.5%	2	0.2%
令和4年度	288	24.5%	129	11.0%	754	64.1%	6	0.5%

年度別 メタボリックシンドローム該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)
資格確認日…各年度末時点
※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合

5. 第3期計画の評価と考察

(1) 現状のまとめと目標に対する達成状況

分類	指標	状況
特定健康診査の 受診率向上	未受診理由の分析、特性に合わせた内容による受診勧奨通知	AI技術を活用して未受診者の特性に合わせた通知内容により受診勧奨を行い、受診に関する関心を高め受診行動につなげることができた。
	受診勧奨通知内容の見直し	毎年度同じ内容の通知文書を送付すると、対象者が通知内容に慣れてしまい、受診勧奨が形骸化してしまう。
生活習慣病該当者及び予備群の 減少	特定保健指導参加勧奨	令和3年度から、郵送ではなく、面談をして、健診結果の返却と特定保健指導の参加勧奨をしたことにより、3カ月継続した保健指導実施者の増加がみられた。
	特定保健指導の実施	毎年該当となる対象者への対応をどのように実施するかが課題。前期高齢者においては腹囲・BMIを基準値に減らすことは容易なことではなく、対象者の固定化が課題。

(2) 事業実施体制の評価

分類	状況
特定健康診査の 受診率向上	未受診理由の分析、特性に合わせた内容による受診勧奨通知 ・ 主管部門は健康推進課医療年金係、連携部門は健康推進課保健係 ・ 健康推進課医療年金係は予算編成・関係機関との連絡調整・事業計画書作成を担当 ・ 健康推進課保健係は実務支援を担当
	受診勧奨通知内容の見直し ・ 主管部門は健康推進課医療年金係、連携部門は健康推進課保健係 ・ 健康推進課医療年金係は予算編成・関係機関との連絡調整・事業計画書作成を担当 ・ 健康推進課保健係は実務支援を担当
生活習慣病該当者及び予備群の 減少	面談による特定保健指導参加勧奨 ・ 主管部門は健康推進課保健係、連携部門は健康推進課医療年金係 ・ 健康推進課保健係は関係機関との連絡調整・事業計画書作成・案内文書作成・結果説明会開催等の事業実務を担当 ・ 健康推進課医療年金係は予算編成を担当
	特定保健指導の実施 ・ 主管部門は健康推進課保健係、連携部門は健康推進課医療年金係 ・ 健康推進課保健係は関係機関との連絡調整・事業計画書作成・案内文書作成・結果説明会開催等の事業実務を担当 ・ 健康推進課医療年金係は予算編成を担当

第3章 特定健康診査に係る詳細分析

1. 特定健診の受診者と未受診者の生活習慣病治療状況

以下は、特定健康診査受診状況別に、生活習慣病の医療機関受診状況を分析した結果を示したものである。特定健康診査受診者のうち生活習慣病のレセプトがあるのは特定健康診査受診者全体の68.2%である。特定健康診査未受診者のうち生活習慣病のレセプトがあるのは特定健康診査未受診者全体の51.2%である。

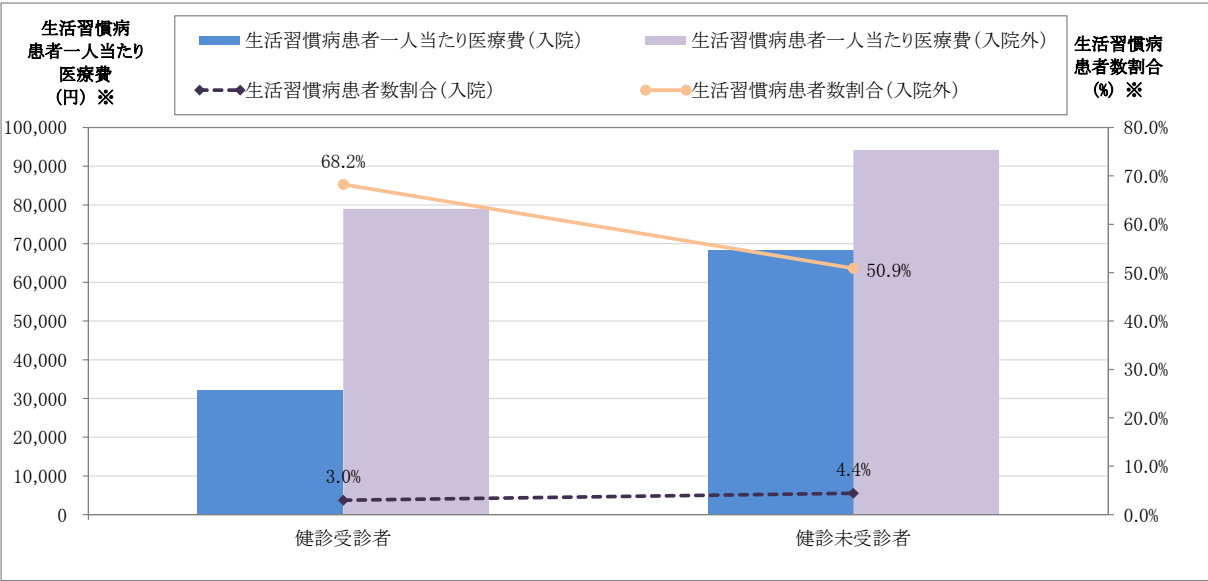
特定健診受診状況別 生活習慣病の医療機関受診状況

	人数(人)	構成比(%)	生活習慣病医療費(円) ※		
			入院	入院外	合計
健診受診者	1,177	38.8%	1,121,687	63,423,068	64,544,755
健診未受診者	1,857	61.2%	5,611,437	89,032,251	94,643,688
合計	3,034		6,733,124	152,455,319	159,188,443

	生活習慣病患者数 ※						生活習慣病患者一人当たり医療費(円) ※		
	入院		入院外		合計 ※		入院	入院外	合計
	患者数(人)	割合(%)	患者数(人)	割合(%)	患者数(人)	割合(%)			
健診受診者	35	3.0%	803	68.2%	803	68.2%	32,048	78,983	80,380
健診未受診者	82	4.4%	945	50.9%	950	51.2%	68,432	94,214	99,625
合計	117	3.9%	1,748	57.6%	1,753	57.8%	57,548	87,217	90,809

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)
資格確認日…令和5年3月31日時点。
※生活習慣病医療費…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で投薬のあった患者の生活習慣病医療費
※生活習慣病患者数…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で投薬のあった患者数。合計人数は、入院、入院外の区分けなく集計した実人数
※生活習慣病患者一人当たり医療費…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で投薬のあった患者一人当たりの生活習慣病医療費

特定健診受診状況別 生活習慣病の医療機関受診状況



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)
資格確認日…令和5年3月31日時点
※生活習慣病患者一人当たり医療費…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で投薬のあった患者一人当たりの生活習慣病医療費
※生活習慣病患者数割合…健診受診者、健診未受診者それぞれに占める、生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で投薬のあった患者数の割合

2. 特定保健指導対象者に係る分析

(1) 保健指導レベル該当状況

以下は、令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)における、保健指導レベル該当状況を示したものである。積極的支援対象者割合は2.7%、動機付け支援対象者割合は6.6%である。

保健指導レベル該当状況

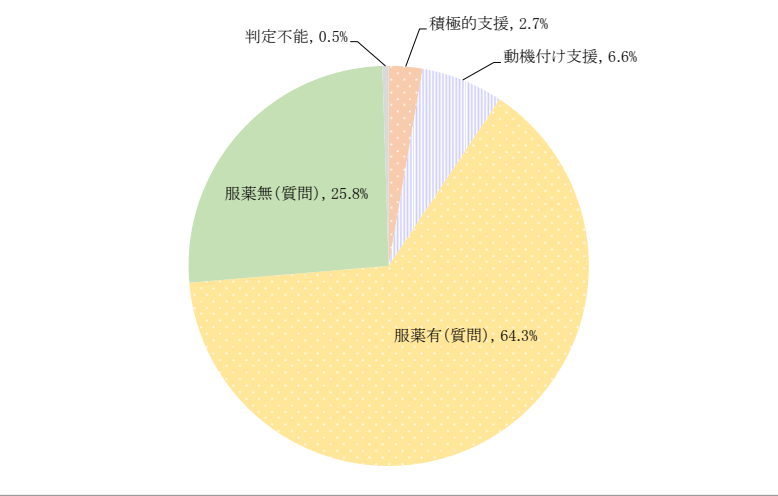
	健診受診者数 (人)	該当レベル					
		特定保健指導対象者(人)			情報提供		判定不能
			積極的支援	動機付け支援	服薬有(質問)	服薬無(質問)	
該当者数(人)	1,177	110	32	78	757	304	6
割合(%) ※	-	9.3%	2.7%	6.6%	64.3%	25.8%	0.5%

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)

資格確認日…令和5年3月31日時点

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合

保健指導レベル該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)

資格確認日…令和5年3月31日時点

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合

※特定保健指導の対象者(階層化の基準)

腹囲/BMI	追加リスク		喫煙歴(注)	対象	
	①血糖	②脂質 ③血圧		40歳-64歳	65歳-74歳
≧85cm (男性) ≧90cm (女性)	2つ以上該当			積極的支援	動機付け支援
	1つ該当		あり なし		
上記以外でBMI ≧25	3つ該当			積極的支援	動機付け支援
	2つ該当		あり なし		
	1つ該当				

(注) 喫煙歴の欄の斜線は、階層化の判定が喫煙歴の有無と無関係であることを意味する。

※追加リスクの基準値は以下のとおりである。

- ①血糖：空腹時血糖が100mg/dl以上 または HbA1c(NGSP値)5.6%以上
(空腹時血糖及びHbA1c(NGSP値)の両方を測定している場合には、空腹時血糖の値を優先)
- ②脂質：中性脂肪150mg/dl以上 または HDLコレステロール40mg/dl未満
- ③血圧：収縮期血圧130mmHg以上 または 拡張期血圧85mmHg以上

※特定保健指導では、糖尿病、高血圧症または脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者については、対象から除いている。

※65歳以上75歳未満の者については、積極的支援の対象となった場合でも動機付け支援とする。

また、年齢階層別保健指導レベル該当状況は以下のとおりである。

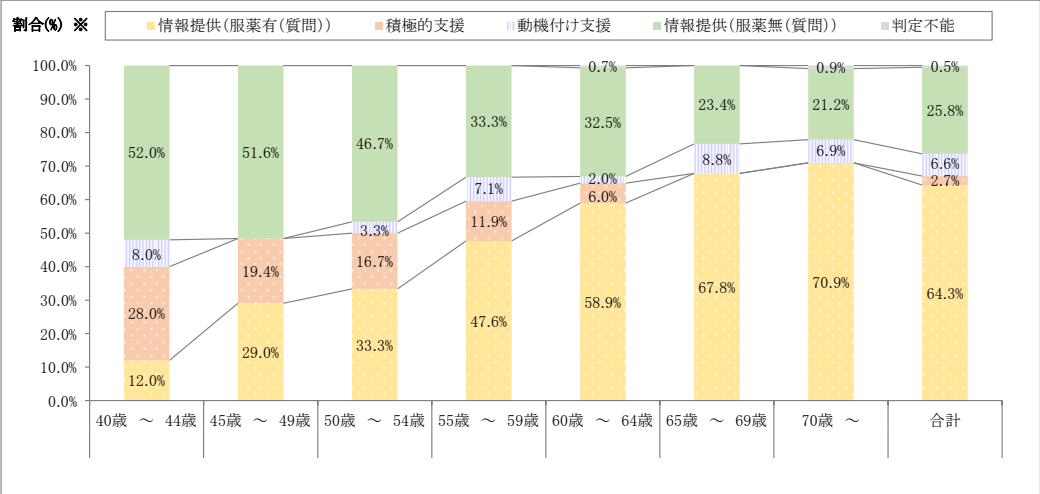
年齢階層別 保健指導レベル該当状況

年齢階層	健診受診者数(人)	特定保健指導対象者数(人)				
			積極的支援		動機付け支援	
			人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※
40歳 ～ 44歳	25	9	7	28.0%	2	8.0%
45歳 ～ 49歳	31	6	6	19.4%	0	0.0%
50歳 ～ 54歳	30	6	5	16.7%	1	3.3%
55歳 ～ 59歳	42	8	5	11.9%	3	7.1%
60歳 ～ 64歳	151	12	9	6.0%	3	2.0%
65歳 ～ 69歳	351	31	0	0.0%	31	8.8%
70歳 ～	547	38	0	0.0%	38	6.9%
合計	1,177	110	32	2.7%	78	6.6%

年齢階層	健診受診者数(人)	情報提供				判定不能	
		服薬有(質問)		服薬無(質問)			
		人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※
40歳 ～ 44歳	25	3	12.0%	13	52.0%	0	0.0%
45歳 ～ 49歳	31	9	29.0%	16	51.6%	0	0.0%
50歳 ～ 54歳	30	10	33.3%	14	46.7%	0	0.0%
55歳 ～ 59歳	42	20	47.6%	14	33.3%	0	0.0%
60歳 ～ 64歳	151	89	58.9%	49	32.5%	1	0.7%
65歳 ～ 69歳	351	238	67.8%	82	23.4%	0	0.0%
70歳 ～	547	388	70.9%	116	21.2%	5	0.9%
合計	1,177	757	64.3%	304	25.8%	6	0.5%

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)
資格確認日…令和5年3月31日時点
※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合

年齢階層別 保健指導レベル該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)
資格確認日…令和5年3月31日時点
※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合

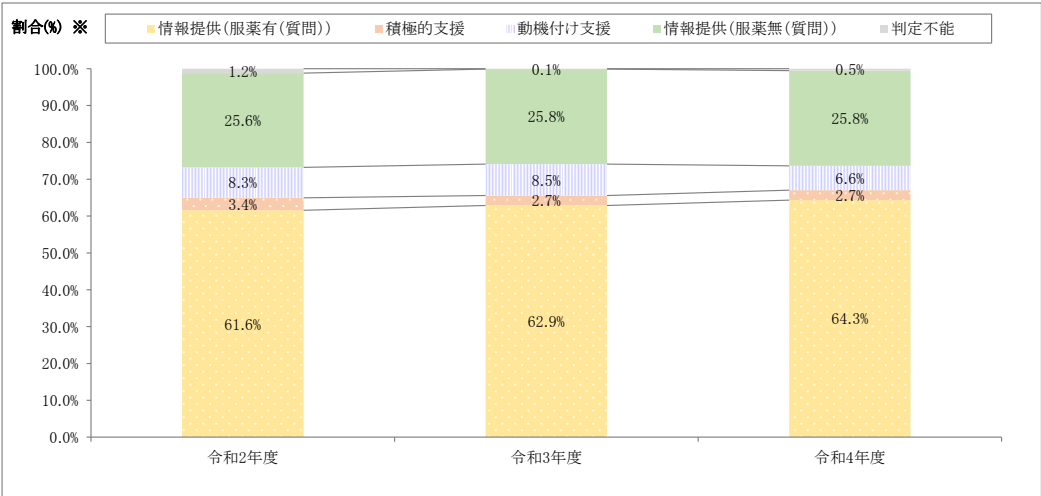
以下は、令和2年度から令和4年度における、保健指導レベル該当状況を年度別に示したものである。令和4年度を令和2年度と比較すると、積極的支援対象者割合2.7%は令和2年度3.4%から0.7ポイント減少しており、動機付け支援対象者割合6.6%は令和2年度8.3%から1.7ポイント減少している。

年度別 保健指導レベル該当状況

年度	健診受診者数(人)	特定保健指導対象者数(人)				
			積極的支援		動機付け支援	
			人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※
令和2年度	1,090	127	37	3.4%	90	8.3%
令和3年度	1,096	123	30	2.7%	93	8.5%
令和4年度	1,177	110	32	2.7%	78	6.6%

年度	健診受診者数(人)	情報提供				判定不能	
		服薬有(質問)		服薬無(質問)			
		人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※
令和2年度	1,090	671	61.6%	279	25.6%	13	1.2%
令和3年度	1,096	689	62.9%	283	25.8%	1	0.1%
令和4年度	1,177	757	64.3%	304	25.8%	6	0.5%

年度別 保健指導レベル該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36カ月分)

資格確認日…各年度末時点

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合

(2) 特定保健指導対象者のリスク因子別該当状況

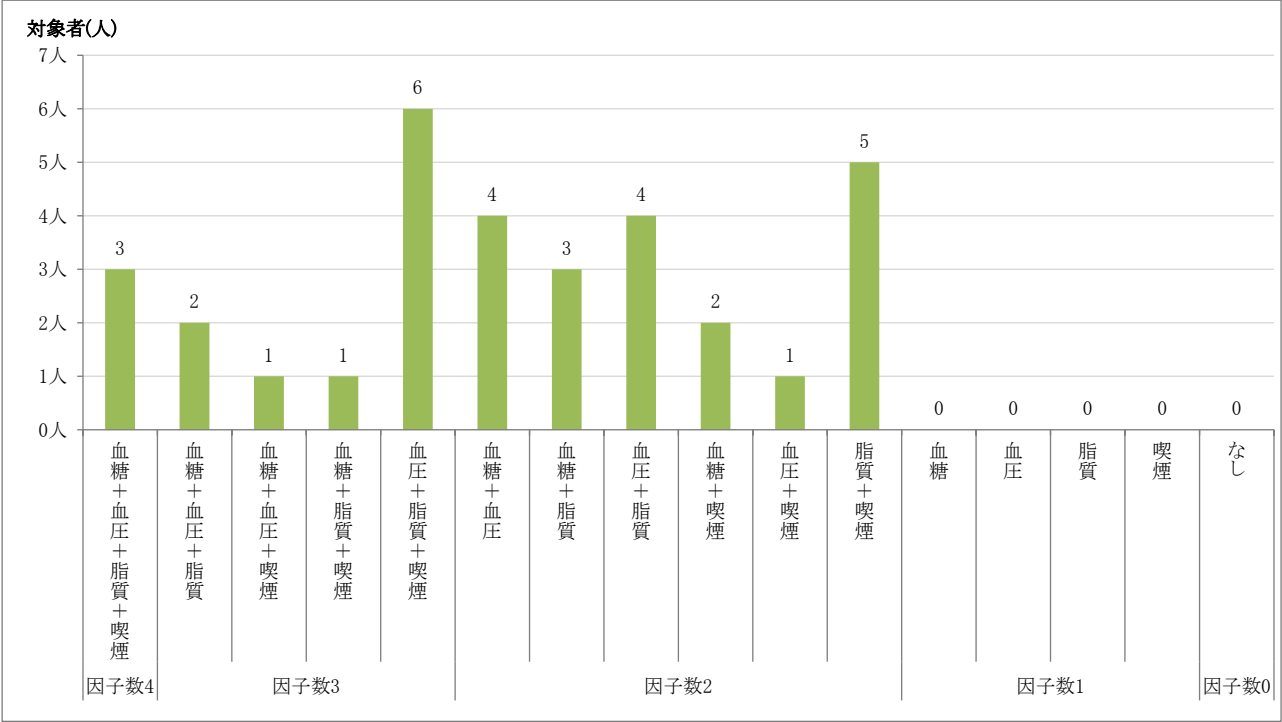
以下は、令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)における、特定保健指導対象者のリスク因子別該当状況を示したものである。

特定保健指導対象者のリスク因子別該当状況

特定保健指導対象者	リスク判定 ※ (該当に●)				リスク因子数	リスク因子組み合わせ	対象者	
	① 血 糖	② 血 圧	③ 脂 質	④ 喫 煙			110人	
積極的支援	●	●	●	●	因子数4	血糖＋血压＋脂質＋喫煙	3人	32人 29%
	●	●	●		因子数3	血糖＋血压＋脂質	2人	
	●	●		●		血糖＋血压＋喫煙	1人	
	●		●	●		血糖＋脂質＋喫煙	1人	
	●	●	●	●		血压＋脂質＋喫煙	6人	
	●	●			因子数2	血糖＋血压	4人	
	●		●			血糖＋脂質	3人	
		●	●			血压＋脂質	4人	
	●			●		血糖＋喫煙	2人	
		●		●		血压＋喫煙	1人	
			●	●		脂質＋喫煙	5人	
	●				因子数1	血糖	0人	
		●				血压	0人	
			●			脂質	0人	
				●		喫煙	0人	
					因子数0	なし	0人	
動機付け支援	●	●	●	●	因子数4	血糖＋血压＋脂質＋喫煙	1人	78人 71%
	●	●	●		因子数3	血糖＋血压＋脂質	11人	
	●	●		●		血糖＋血压＋喫煙	1人	
	●		●	●		血糖＋脂質＋喫煙	1人	
	●	●	●	●		血压＋脂質＋喫煙	2人	
	●	●			因子数2	血糖＋血压	8人	
	●		●			血糖＋脂質	4人	
		●	●			血压＋脂質	12人	
	●			●		血糖＋喫煙	3人	
		●		●		血压＋喫煙	2人	
			●	●		脂質＋喫煙	0人	
	●				因子数1	血糖	12人	
		●				血压	16人	
			●			脂質	5人	
				●		喫煙	0人	
					因子数0	なし	0人	

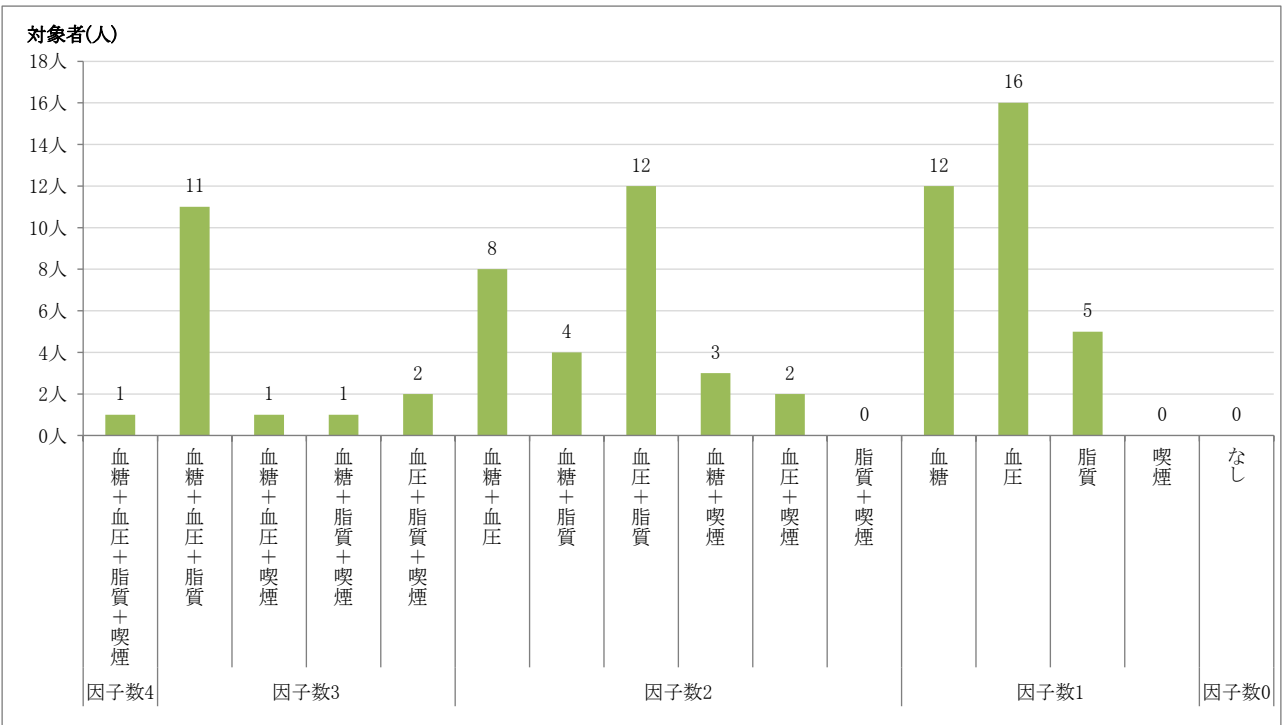
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)
資格確認日…令和5年3月31日時点
※リスク判定…健診検査値が保健指導判定値を超えている組み合わせ(喫煙については質問回答による)。そのため、厚生労働省が定める保健指導対象者の選定にない組み合わせに該当する場合がある。また、医師の判断等により、リスク因子数が0であっても特定保健指導対象者に分類される場合がある。
リスク判定の詳細は以下のとおりとする。
①血糖…特定健康診査の検査値において、空腹時血糖100mg/dl以上 または HbA1c5.6%以上 (NGSP)
(空腹時血糖とHbA1cの両方を測定している場合は、空腹時血糖を優先し判定に用いる)
②血压…特定健康診査の検査値において、収縮期血压が130mmHg以上 または 拡張期血压85mmHg以上
③脂質…特定健康診査の検査値において、中性脂肪150mg/dl以上 または HDLコレステロール40mg/dl未満
④喫煙…特定健康診査の生活習慣に関する質問票においてたばこを習慣的に吸っていると回答

積極的支援対象者のリスク因子別該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)
資格確認日…令和5年3月31日時点

動機付け支援対象者のリスク因子別該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)
資格確認日…令和5年3月31日時点

(3) 特定保健指導対象者と非対象者の医療費の比較

令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)の積極的支援及び動機付け支援の該当者を「対象者」、情報提供の該当者を「非対象者」とし、更に「非対象者」について、質問票における回答内容から「非対象者(服薬有)」と「非対象者(服薬無)」に分類した。以下は各分類の生活習慣病医療費について比較した結果を示したものである。特定保健指導により「対象者」の生活習慣改善を促し、服薬開始を防ぐことが重要である。

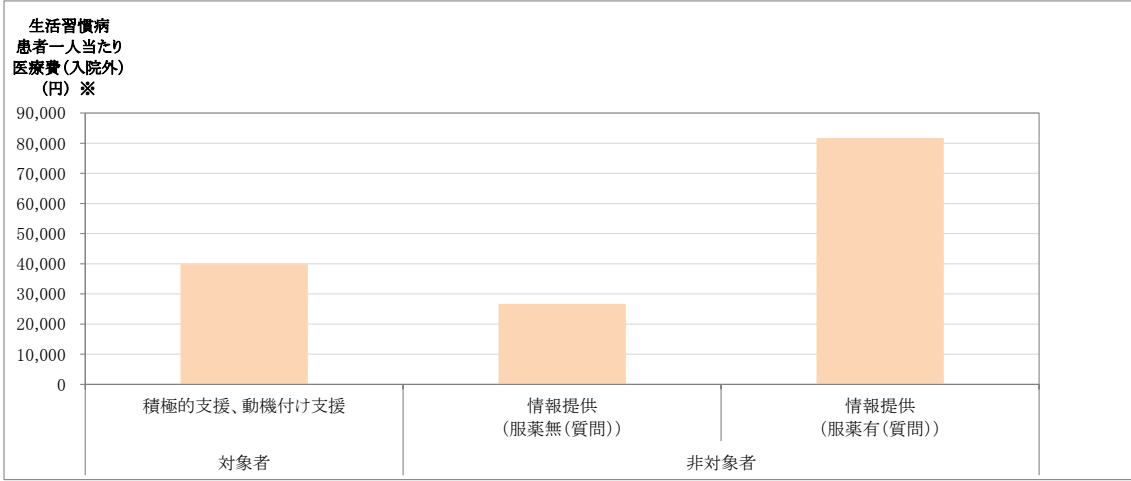
特定保健指導対象者・非対象者別 生活習慣病医療費

		人数(人)	生活習慣病医療費(円) ※			生活習慣病患者数(人) ※		
			入院	入院外	合計	入院	入院外	合計 ※
対象者	積極的支援、動機付け支援	110	405	717,163	717,568	1	18	18
非対象者	情報提供 (服薬無(質問))	304	17,851	746,432	764,283	2	28	28
	情報提供 (服薬有(質問))	757	1,103,431	61,394,348	62,497,779	32	751	751

		人数(人)	生活習慣病患者一人当たり医療費(円) ※		
			入院	入院外	合計
対象者	積極的支援、動機付け支援	110	405	39,842	39,865
非対象者	情報提供 (服薬無(質問))	304	8,926	26,658	27,296
	情報提供 (服薬有(質問))	757	34,482	81,750	83,219

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)
資格確認日…令和5年3月31日時点
非対象者…健康診査受診における質問表の服薬の項目にて一項目でも「はい」と回答した健康診査受診者は「服薬有」、服薬の全項目「なし」と回答した健康診査受診者は「服薬無」で表記
※生活習慣病医療費…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で投薬のあった患者の生活習慣病医療費
※生活習慣病患者数…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で投薬のあった患者数。合計人数は、入院、入院外の区分けなく集計した実人数
※生活習慣病患者一人当たり医療費…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で投薬のあった患者一人当たりの生活習慣病医療費

特定保健指導対象者・非対象者別 生活習慣病患者一人当たり医療費(入院外)



データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12カ月分)
資格確認日…令和5年3月31日時点
※生活習慣病患者一人当たり医療費(入院外)…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で投薬のあった患者一人当たりの入院外生活習慣病医療費

第4章 特定健康診査等実施計画

1. 目標

国では、市町村国保において、計画期間の最終年度である令和11年度までに特定健康診査受診率60.0%以上、特定保健指導実施率60.0%以上、特定保健指導対象者の減少率25.0%以上(平成20年度比)を達成することとしている。本町においては各年度の目標値を以下のとおり設定する。

目標値

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和11年度 (国基準)
特定健康診査受診率(%)	44.0%	45.0%	46.0%	47.0%	48.0%	49.0%	60.0%
特定保健指導実施率(%)	22.5%	23.0%	23.5%	24.0%	24.5%	25.0%	60.0%
特定保健指導対象者の 減少率(%)※	34.0%	34.5%	35.0%	35.5%	36.0%	36.5%	25.0%

※特定保健指導対象者の減少率…平成20年度比

2. 対象者数推計

(1) 特定健康診査対象者数及び受診者数の見込み

以下は、令和6年度から令和11年度までの特定健康診査対象者数及び受診者数について、各年度の見込みを示したものである。

特定健康診査対象者数及び受診者数の見込み

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
特定健康診査対象者数(人)	2,433	2,281	2,153	2,022	1,916	1,768
特定健康診査受診率(%) (目標値)	44.0%	45.0%	46.0%	47.0%	48.0%	49.0%
特定健康診査受診者数(人)	1,071	1,026	990	950	920	866

年齢階層別 特定健康診査対象者数及び受診者数の見込み

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
特定健康診査 対象者数(人)	40歳～64歳	825	796	766	744	712	680
	65歳～74歳	1,608	1,485	1,387	1,278	1,204	1,088
特定健康診査 受診者数(人)	40歳～64歳	254	255	254	256	253	251
	65歳～74歳	817	771	736	694	667	615

(2) 特定保健指導対象者数及び実施者数の見込み

以下は、令和6年度から令和11年度までの特定保健指導対象者数及び実施者数について、各年度の見込みを示したものである。

特定保健指導対象者数及び実施者数の見込み

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
特定保健指導対象者数(人)	109	105	103	99	98	92
特定保健指導実施率(%) (目標値)	22.5%	23.0%	23.5%	24.0%	24.5%	25.0%
特定保健指導実施者数(人)	25	24	24	24	24	23

支援レベル別 特定保健指導対象者数及び実施者数の見込み

			令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
積極的支援	対象者数(人)	40歳～64歳	35	35	36	35	35	35
	実施者数(人)	40歳～64歳	8	8	8	8	8	9
動機付け支援	対象者数(人)	40歳～64歳	10	10	10	10	11	10
		65歳～74歳	64	60	57	54	52	47
	実施者数(人)	40歳～64歳	0	0	0	0	0	0
		65歳～74歳	17	16	16	16	16	14

3. 実施方法

(1) 特定健康診査

①対象者

実施年度中に40歳～74歳になる被保険者（実施年度中に75歳になる75歳未満の者も含む）で、かつ、年度途中での加入・脱退等異動のない者を対象とする。ただし、妊産婦、刑務所入所中、海外在住、長期入院等、厚生労働省告示で定める除外規定に該当する者は対象者から除くものとする。

②実施方法

ア. 実施場所

委託契約を結んだ医療機関等で実施する。

イ. 実施項目

国が定める対象者全員に実施する「基本的な健診項目」と、医師が必要と判断した場合に実施する「詳細な健診項目」に基づき実施する。

■基本的な健診項目（全員に実施）

質問項目	標準的な質問票
身体計測	身長、体重、BMI、腹囲（内臓脂肪面積）
理学的所見	身体診察
血圧測定	血圧
脂質検査	空腹時中性脂肪（やむを得ない場合には随時中性脂肪）、HDLコレステロール、LDLコレステロールまたはNon-HDLコレステロール
肝機能検査	AST（GOT）、ALT（GPT）、 γ -GT（ γ -GTP）
血糖検査	空腹時血糖またはHbA1c、やむを得ない場合には随時血糖
尿検査	尿糖、尿蛋白

■詳細な健診項目（医師が必要と判断した場合に実施）

心電図検査	
眼底検査	
貧血検査	赤血球数、ヘモグロビン値、ヘマトクリット値
血清クレアチニン検査	eGFRによる腎機能の評価を含む

ウ. 実施時期

4月から3月に実施する。

エ. 案内方法

対象者に、特定健康診査受診券と受診案内を個別に発送する。また、広報やホームページ等で周知を図る。

(2) 特定保健指導

① 対象者

国が定める「特定保健指導対象者の選定基準」に基づき、特定健康診査の結果を踏まえ、内臓脂肪蓄積の程度とリスク要因数による階層化を行い、対象者を抽出する。ただし、質問票により服薬中と判断された者は、医療機関における継続的な医学的管理のもとでの指導が適当であるため、対象者から除くこととする。また、65歳以上75歳未満の者については、動機付け支援のみ実施する。

特定保健指導対象者の選定基準

腹囲/BMI	追加リスク		喫煙歴(注)	対象	
	①血糖	②脂質		③血圧	40歳-64歳
≧85cm (男性) ≧90cm (女性)	2つ以上該当		あり なし	積極的 支援	動機付け 支援
	1つ該当				
上記以外でBMI ≧25	3つ該当		あり なし	積極的 支援	動機付け 支援
	2つ該当				
	1つ該当				

(注)喫煙歴の欄の斜線は、階層化の判定が喫煙歴の有無と無関係であることを意味する。

※追加リスクの基準値は以下のとおりである。

- ①血糖：空腹時血糖が100mg/dl以上 または HbA1c(NGSP値)5.6%以上
(空腹時血糖及びHbA1c(NGSP値)の両方を測定している場合には、空腹時血糖の値を優先)
- ②脂質：空腹時中性脂肪150mg/dl以上(やむをえない場合は随時中性脂肪175mg/dl以上) または HDLコレステロール40mg/dl未満
- ③血圧：収縮期血圧130mmHg以上 または 拡張期血圧85mmHg以上

※特定保健指導では、糖尿病、高血圧症または脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者については、対象から除いている。
※65歳以上75歳未満の者については、動機付け支援のみを行っている。

② 実施方法

ア. 実施場所

委託契約を結んだ医療機関等で実施する。

イ. 実施内容

保有するリスクの数に応じて階層化された保健指導対象者に対し、個々の生活習慣の改善に主眼を置いた保健指導を実施する。第4期計画期間においては、特定保健指導の質の向上、対象者の利便性の向上及び負担軽減を目的として、「評価体系の見直し(アウトカム評価の導入)」、「ICTを活用した特定保健指導の推進」、「特定健診実施後の特定保健指導の早期初回面接実施の促進」等が国の指針として示されている。これらを踏まえ、保健指導の効果的・効率的な実施に努めるものとする。

動機付け支援

支援内容	対象者本人が、自分の生活習慣の改善点・延ばすべき行動等に気付き、自ら目標を設定し行動に移すことができるように、対象者の個性に応じた指導や情報提供等を行う。
支援形態	初回面接による支援のみの原則1回とする。 ○初回面接 一人当たり20分以上の個別支援(ICT含む)、 または1グループ当たりおおむね80分以上のグループ支援(ICT含む)。
実績評価	○3カ月以上経過後の評価 設定した行動目標が達成されているか並びに身体状況及び生活習慣に変化が見られたかどうかを評価する。面接または通信手段を利用して行う。

積極的支援

支援内容	特定健康診査の結果から、対象者本人が身体状況を理解し、生活習慣改善の必要性を認識し、具体的実践可能な行動目標を自らが設定できるように行動変容を促す。 支援者は、対象者の過去の生活習慣及び行動計画の実施状況を踏まえて目標達成のために必要な支援計画を立て、行動が継続できるように定期的・継続的に支援する。	
支援形態	初回面接による支援を行い、その後、3カ月以上の継続的な支援を行う。 ○初回面接 一人当たり20分以上の個別支援（ICT含む）、 または1グループ当たりおおむね80分以上のグループ支援（ICT含む）。 ○3カ月以上の継続的な支援 個別支援（ICT含む）、グループ支援（ICT含む）のほか、電話、電子メール等のいずれか、もしくはいくつかを組み合わせる。	
実績評価	○3カ月以上経過後の評価 アウトカム評価（成果が出たことへの評価）を原則とし、プロセス評価（保健指導実施の介入量の評価）も併用して評価する。	
	アウトカム評価	
	主要達成目標	・ 腹囲2cm・体重2kg減 または、当該年の健診時の体重の値に、0.024を乗じた体重（kg）以上かつ同体重と同じ値の腹囲（cm）以上の減少
	目標未達成の場合の行動変容評価指標	・ 腹囲1cm・体重1kg減 ・ 生活習慣病予防につながる行動変容（食習慣の改善、運動習慣の改善、喫煙習慣の改善、休養習慣の改善、その他の生活習慣の改善）
	プロセス評価	
	・ 継続的支援の介入方法による評価 （個別支援（ICT含む）、グループ支援（ICT含む）、電話、電子メール・チャット等） ・ 健診後早期の保健指導実施を評価	

ウ. 実施時期

4月から3月に実施する。

エ. 案内方法

対象者に対して、特定保健指導の参加勧奨をする。

4. 目標達成に向けての取り組み

以下は、第4期計画期間における目標達成に向けての取り組みを示したものである。

【特定健康診査】

事業分類	取り組み
特定健康診査の受診率向上	過年度における特定健康診査の受診情報等を分析し、AI技術を活用して未受診者の特性に合わせた通知内容により受診勧奨を行い、受診に関する関心を高め受診行動につなげる。
	毎年度同じ内容の通知文書を送付すると、対象者が通知内容に慣れてしまい、受診勧奨が形骸化してしまうため、適宜通知内容の見直しを行い、勧奨効果を維持する。

【特定保健指導】

事業分類	取り組み
生活習慣病該当者及び予備群の減少	健診結果を面談で手渡し、特定保健指導の参加勧奨をする。
	対象者へ保健師または管理栄養士による初回面談の実施。対象者自らが生活習慣改善に向けた行動をとれるよう支援計画を立てる。

5. 実施スケジュール

	実施項目	当年度												次年度			
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
特定健康診査	対象者抽出	↔															
	受診券送付	↔	↔														
	特定健康診査実施	←											→				
	未受診者受診勧奨			←								→					
特定保健指導	対象者抽出				←								→				
	参加勧奨				←								→				
	特定保健指導実施					←								→			
	未利用者参加勧奨						←							→			
前年度の評価							↔	↔									
次年度の計画									↔	↔							

1. 個人情報の保護

(1) 個人情報保護関係規定の遵守

個人情報の保護に関する法律及び同法に基づくガイドライン等に準じて、厳格な運用管理を行う。

また、外部委託を行う場合は個人情報の厳重な管理や、目的外使用の禁止等を契約書に定めるとともに、委託先の契約遵守状況を管理する。

(2) データの管理

特定健康診査・特定保健指導結果のデータの保存年限は原則5年とし、保存期間経過後適切に破棄する。

2. 特定健康診査等実施計画の公表及び周知

法第19条3において、「保険者は、特定健康診査等実施計画を定め、又はこれを変更したときは、遅滞なく、これを公表しなければならない。」とある。主に加入者（特に特定健診・特定保健指導の対象者）に対し、計画期間中の取り組み方針を示し、事業の趣旨への理解を促し積極的な協力を得るため、広報、ホームページ等で公表し、広く周知を図る。

3. 特定健康診査等実施計画の評価及び見直し

(1) 評価

特定健康診査の受診率、特定保健指導対象者の割合、特定保健指導の実施率、特定保健指導の成果（目標達成率、行動変容率）、メタボリックシンドローム該当者及び予備群の減少率等について、客観的に評価を行う。

(2) 計画の見直し

計画の見直しについては、毎年度目標の達成状況を評価し、必要に応じて見直しを行うものとする。

4. 他の健診との連携

特定健康診査の実施に当たっては、庁内連携を図り、がん検診等他の関連する検(健)診と可能な限り連携して実施するものとする。

5. 実施体制の確保及び実施方法の改善

(1) 実施体制の確保

特定保健指導に係る人材育成・確保に努める。

(2) 実施方法の改善

①アウトカム評価による「見える化」

特定保健指導対象者の行動変容に係る情報等を収集し、保険者がアウトカムの達成状況等を把握、要因の検討等を行い、対象者の特性に応じた質の高い保健指導を対象者に還元していく仕組みの構築が重要であるため、特定保健指導の「見える化」を推進する。

②ICTを活用した特定保健指導の推進

在宅勤務や遠隔地勤務等の多様なニーズに対応することを促進するため、遠隔で行う保健指導については、評価水準や時間設定等は対面と同等とする。ICT活用の推進に当たっては、「特定健康診査・特定保健指導の円滑な実施に向けた手引き」や「標準的な健診・保健指導プログラム」を参照し、ICT環境やICTリテラシーの確認・確保等、ICT活用に係る課題に留意して対応するものとする。

卷末資料

1. 用語解説集

用語		説明
か行	眼底検査	目の奥の状態を調べる検査。通常眼底写真にて検査する。 動脈硬化の程度、高血圧、糖尿病による眼の合併症や緑内障・白内障の有無などを調べるもの。
	クレアチニン	アミノ酸の一種であるクレアチンが代謝されたあとの老廃物。腎臓でろ過されて尿中に排泄される。 血清クレアチニンの値が高いと、老廃物の排泄機能としての腎臓の機能が低下していることを意味する。
	血圧(収縮期・拡張期)	血管にかかる圧力のこと。心臓が血液を送り出すときに示す最大血圧を収縮期血圧、全身から戻った血液が心臓にたまっているときに示す最小血圧を拡張期血圧という。
	血糖	血液内のブドウ糖の濃度。 食前・食後で変動する。低すぎると低血糖、高すぎると高血糖を引き起こす。
	健康寿命	健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間。
	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施	高齢者の心身の多様な課題に対応し、きめ細かな支援を実施するため、後期高齢者の保健事業について、後期高齢者医療広域連合と市町村の連携内容を明示し、市町村において、介護保険の地域支援事業や国民健康保険の保健事業と一体的に実施するもの。
さ行	ジェネリック医薬品	後発医薬品のこと。先発医薬品と治療的に同等であるものとして製造販売が承認され、一般的に研究開発に要する費用が低く抑えられることから、先発医薬品に比べて薬価が安い医薬品。
	疾病分類	「疾病、傷害及び死因の統計分類」の「ICD-10(2013年版)準拠 疾病分類表」を使用。
	人工透析	機能が著しく低下した腎臓に代わり機械で老廃物を取り除くこと。1回につき4～5時間かかる治療を週3回程度、ずっと受け続ける必要があり、身体的にも時間的にも、大きな負担がかかる。
	心電図	心臓の筋肉に流れる電流を体表面から記録する検査。電流の流れ具合に異常がないかわかる。 また1分間に電気が発生する回数である心拍数も測定される。
	生活習慣病	食事や運動、休養、喫煙、飲酒などの生活習慣が深く関与し、それらが発症の要因となる疾患の総称。重篤な疾患の要因となる。
	積極的支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクがより高い者に対して行われる保健指導。「動機付け支援」の内容に加え、対象者が主体的に生活習慣の改善を継続できるよう、面接、電話等を用いて、3カ月以上の定期的・継続的な支援を行う。
た行	中性脂肪	肉や魚・食用油など食品中の脂質や、体脂肪の大部分を占める物質。単に脂肪とも呼ばれる。
	動機付け支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高い者に対して行われる保健指導。医師・保健師・管理栄養士等による個別、またはグループ面接により、対象者に合わせた行動計画の策定と保健指導が行われる。初回の保健指導修了後、対象者は行動計画を実践し、3カ月経過後に面接、電話等で結果の確認と評価を行う。
	特定健康診査	平成20年4月から開始された、生活習慣病予防のためのメタボリックシンドロームに着目した健康診査のこと。特定健診。40歳～74歳の医療保険加入者を対象とする。
	特定保健指導	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高く、生活改善により生活習慣病の予防効果が期待できる人に対して行う保健指導のこと。特定保健指導対象者の選定方法により「動機付け支援」「積極的支援」に該当した人に対し実施される。
な行	尿酸	食べ物に含まれるプリン体という物質が肝臓で分解されてできる、体には必要のない老廃物。主に腎臓からの尿に交じって体外に排出される。
は行	標準化死亡比	標準化死亡比は、基準死亡率(人口10万対の死亡数)を対象地域に当てはめた場合に、計算により求められる期待される死亡数と実際に観察された死亡数とを比較するものである。我が国の平均を100としており、標準化死亡比が100以上の場合は我が国の平均より死亡率が多いと判断され、100以下の場合は死亡率が低いと判断される。

用語		説明
	腹囲	へその高さで計る腰回りの大きさ。内臓脂肪の蓄積の目安とされ、メタボリックシンドロームを診断する指標のひとつ。
	フレイル	フレイルとは、健康な状態と要介護状態の中間の段階をさす。 年齢を重ねていくと、心身や社会性などの面でダメージを受けたときに回復できる力が低下し、これによって健康に過ごしていた状態から、生活を送るために支援を受けなければならない要介護状態に変化していく。
ま行	メタボリックシンドローム	内臓脂肪型肥満に高血圧、高血糖、脂質代謝異常が組み合わさり、心臓病や脳卒中などの動脈硬化性疾患を招きやすい状態。内臓脂肪型肥満(内臓肥満・腹部肥満)に加えて、血圧・血糖・脂質の基準のうち2つ以上に該当する状態を「メタボリックシンドローム」、1つのみ該当する状態を「メタボリックシンドローム予備群」という。
や行	有所見	検査の結果、何らかの異常(検査基準値を上回っている等)が認められたことをいう。
ら行	レセプト	診療報酬明細書の通称。
A～Z	AST/ALT	AST(GOTともいう)は、心臓、筋肉、肝臓に多く存在する酵素である。ALT(GPTともいう)は、肝臓に多く存在する酵素である。 数値が高い場合は急性肝炎、慢性肝炎、脂肪肝、肝臓がん、アルコール性肝炎などが疑われる。
	BMI	[体重(kg)]÷[身長(m)の2乗]で算出される値で、Body Mass Indexの略。肥満や低体重(やせ)の判定に用いる体格指数のこと。
	eGFR	腎臓機能を示す指標で、クレアチニン値を性別、年齢で補正して算出する。腎臓の中にある毛細血管の集合体である「糸球体」が1分間にどれくらいの血液を濾過して尿を作るかを示す値。 数値が低いと腎臓の機能が低下していることを意味する。
	HbA1c	ブドウ糖と血液中のヘモグロビンが結びついたもので、過去1～2カ月の平均的な血糖の状態を示す検査に使用される。
	HDLコレステロール	余分なコレステロールを回収して肝臓に運び、動脈硬化を抑える。善玉コレステロール。
	ICT	Information and Communications Technology(インフォメーションアンドコミュニケーションテクノロジー／情報通信技術)の略。コンピュータやデータ通信に関する技術をまとめた呼び方。 特定保健指導においてもその活用が推進されており、代表的なツールとしては、Web会議システムやスマートフォンアプリ、Webアプリ等が挙げられる。
	KDB	「国保データベース(KDB)システム」とは、国保保険者や後期高齢者医療広域連合における保健事業の計画の作成や実施を支援するため、健診・保健指導、医療、介護の各種データを併せて分析できるシステムのこと。
	LDLコレステロール	肝臓で作られたコレステロールを全身へ運ぶ役割を担っており、増えすぎると動脈硬化を起こして心筋梗塞や脳梗塞を発症させる。悪玉コレステロール。
	non-HDLコレステロール	総コレステロールからHDLコレステロールを減じたもの。数値が高いと、動脈硬化、脂質代謝異常、甲状腺機能低下症、家族性高脂血症などが疑われる。 低い場合は、栄養吸収障害、低βリポたんぱく血症、肝硬変などが疑われる。

2. 秋田県の共通指標一覧

(地域特性)

数値	抽出方法	備考	設定の意義・必要性
人口 ※性別	秋田県年齢別人口流動調査－第1表（各年10月1日現在の人口）	KDBシステムの人口は国勢調査に基づくため、5年に1度の更新となることから、使用しないこととする。	地域の特性を把握する上で基礎となる数値。
人口の年齢構成割合	秋田県年齢別人口流動調査－第6表（市町村別年齢3区分別人口）	KDBシステムの人口は国勢調査に基づくため、5年に1度の更新となることから、使用しないこととする。	地域の特性を把握する上で基礎となる数値。
国保被保険者数 ※年齢構成割合	KDB（地域の全体像の把握）	国保総合システム等により毎年連携される資格情報を表示。 ※過年度累計分は3月時点の被保険者数	地域の特性を把握する上で基礎となる数値。
平均寿命 ※性別	KDB（地域の全体像の把握）	厚労省「市区町村別生命表」の値を表示。5年に1度の更新。 ※平成31年度～令和4年度累計までは平成27年の値、令和5年度（累計）からは令和2年の値を使用	地域の特性を把握する上で基礎となる数値。
平均自立期間（要介護2以上） ※性別	KDB（地域の全体像の把握）	KDBシステムとの連携まで時間を要するため、2年前の数値が表示される。 ※令和5年度（累計）は令和3年統計情報の数値を利用。健康寿命は市町村毎の算定がされないため、補完的指標として活用されている平均自立期間の値を採用。	地域の健康課題の把握、保健事業の評価をする上で必要となる数値。
標準化死亡比 ※性別	KDB（地域の全体像の把握）	標準化死亡比は、基準死亡率（人口10万対の死亡数）を対象地域に当てはめた場合に、計算により求められる死亡数と実際に観察された死亡数とを比較するものである。全国の平均を100としており、標準化死亡比が100以上の場合は全国平均より死亡率が多いと判断される。 人口動態保健所・市区町村別統計の値を使用。5年に1度の更新。	地域の特性を把握する上で基礎となる数値。
死因	KDB（地域の全体像の把握）	人口動態統計の値を使用。KDBシステムとの連携まで時間を要するため、2年前の数値が表示される。	地域の特性を把握する上で基礎となる数値。
医科の受診率 ※性別、年齢構成別	KDB（医療費分析の経年比較）	「年齢階層」欄を押下することで「0～74歳」「0～14歳」「15～39歳」「40～44歳」「45～49歳」「50～54歳」「55～59歳」「60～64歳」「65～69歳」「70～74歳」と画面が切り替わる。	地域の課題を把握する上で必要となる数値。
医科の一人当たり医療費	KDB（市町村別データ）	1月のレセプトデータの値。 「健康スコアリング」では年間の値が確認できるが、歯科の値が把握できないため、採用しない。	全国的な重要課題である医療費の適正化と深く関連しており、保健事業の効果等を把握する上で必要となる数値。
医療費の高い疾病の点数 ※入院・外来別	KDB（医療費分析(1)細小分類）	入院・外来別に医療点数の高い順に10疾病まで確認可能。計画策定時点の上位10疾病について、次年度以降の実績を把握する。	全国的な重要課題である医療費の適正化と深く関連しており、保健事業の効果等を把握する上で必要となる数値。

(主要施策)

数値	抽出方法	備考	設定の意義・必要性
喫煙者の割合	KDB（地域の全体像の把握） …生活習慣のうち「喫煙」	特定健診等データ（質問票）	生活習慣病予防の効果を検証するためのアウトカム指標。
運動習慣のない者の割合	KDB（地域の全体像の把握） …生活習慣のうち「1日30分以上運動無し」	特定健診等データ（質問票）	生活習慣病予防の効果を検証するためのアウトカム指標。
適量飲酒者の割合	KDB（地域の全体像の把握） …生活習慣のうち 男性：1日飲酒量1合未満及び1～2合の計 女性：1日飲酒量1合未満	特定健診等データ（質問票） 「生活習慣」を押下することで、「男性」「女性」ごとの割合を確認可能。	生活習慣病予防の効果を検証するためのアウトカム指標。
血圧が保健指導判定値を超える者の割合	KDB（集計対象者一覧） ※S26_001 健診ツリー図より遷移	分母：特定健康診査受診者のうち、血圧の検査結果がある者の数 分子：①、②のいずれかを満たす者の数 ①収縮期血圧 ≥ 130 mmHg ②拡張期血圧 ≥ 85 mmHg	生活習慣病予防の効果を検証するためのアウトカム指標。
特定健診実施率	特定健診等データ管理システム 特定健診・特定保健指導実施結果報告（帳票ID：TKCA011）…法定報告	最新値は翌年10月末に更新 ※すべての都道府県で設定することが望ましいとされている。 ※国保中央会作成資料より抜粋	特定健診の受診勧奨に関する事業の効果を検証するためのアウトカム指標。
特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率	特定健診等データ管理システム 特定健診・特定保健指導実施結果報告（帳票ID：TKCA011）…法定報告	最新値は翌年10月末に更新 ※すべての都道府県で設定することが望ましいとされている。 ※国保中央会作成資料より抜粋	特定保健指導の効果を検証するためのアウトカム指標。
特定保健指導実施率	特定健診等データ管理システム 特定健診・特定保健指導実施結果報告（帳票ID：TKCA011）…法定報告	最新値は翌年10月末に更新 ※すべての都道府県で設定することが望ましいとされている。 ※国保中央会作成資料より抜粋	アウトプット指標。 → 特定保健指導により、翌年の指導対象者が減少することが目的
特定健診で受診勧奨を受けた者の医療機関受診率	KDB（地域の全体像の把握）	健診受診者数（受診勧奨者かつ医療機関を受診した健診受診者） $\div$ 健診受診者数 $\times 100$ * 健診の結果、受診勧奨の基準値を超える方で該当年度にレセプトがある方	特定健診後の対応に関する効果を検証するためのアウトカム指標。
がん検診受診率 ※胃がん、大腸がん 肺がん、子宮頸がん 乳がん	厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」	国保被保険者に限定した値を確認可能。	がん検診の受診勧奨に関する事業の効果を検証するためのアウトカム指標。
歯科の一人当たり医療費	KDB（健診・医療・介護データからみる地域の健康課題）	1月のレセプトデータの値。	歯科検診等の事業の効果を検証するためのアウトカム指標。
被保険者に占める糖尿病患者の割合	KDB（糖尿病のレセプト分析） 厚生労働省様式3-2	3月時点の値を採用。 （KDBシステムで検索する場合は作成年月を5月に設定） ※R4実績であれば、R5年3月の数値を報告。	有病者数

(主要施策)

数値	抽出方法	備考	設定の意義・必要性
喫煙者の割合	KDB（地域の全体像の把握） …生活習慣のうち「喫煙」	特定健診等データ（質問票）	生活習慣病予防の効果を検証するためのアウトカム指標。
運動習慣のない者の割合	KDB（地域の全体像の把握） …生活習慣のうち「1日30分以上運動無し」	特定健診等データ（質問票）	生活習慣病予防の効果を検証するためのアウトカム指標。
HbA1c（ヘモグロビン・エーワンシー） 8.0 %以上の者の割合	KDB（集計対象者一覧） ※S26_001 健診ツリー図から移行	※すべての都道府県で設定することが望ましいとされている。 ※国保中央会作成資料より抜粋 分母：特定健診受診者のうち、HbA1cの検査結果がある者 分子：HbA1c8.0%以上の者	糖尿病性腎症等重症化予防の効果を検証するためのアウトカム指標。
新規人工透析患者数	KDB（人工透析患者一覧） ※S23_001 医療費分析(1)細小分類から移行	人工透析患者のうち、当該年度の診療レセプトで「導入期加算」が算定されている被保険者を集計。 ※市町村国保については、県が抽出作業を行っているため、情報提供が可能。	糖尿病性腎症等重症化予防の効果を検証するためのアウトカム指標。
一件当たり介護給付費	KDB（健診・医療・介護データからみる地域の健康課題）	介護給付費データ	介護予防の効果を検証するためのアウトカム指標。
介護認定率	KDB（健診・医療・介護データからみる地域の健康課題）	65歳以上の介護認定者÷国勢調査人口等基本集計（65歳以上）×100 ※累計は年度内の平均を算出 ※分母のみ5年に1更新（国勢調査は5年に1度のため）	介護予防の効果を検証するためのアウトカム指標。
重複・頻回の受診状況	KDB（重複・頻回受診の状況）	3月時点の値を採用。 検索の際は、資格情報を「選択した診療年月に資格を有する者を抽出」と設定。 3医療機関以上かつ同一医療機関に最大10日以上受診した被保険者	医療費適正化に関する事業の効果を検証するためのアウトカム指標。
重複処方の状況	KDB（重複・多剤投与の状況）	3月時点の値を採用。 検索の際は、絞込みで「薬効分類単位で集計」、資格情報を「選択した診療年月に資格を有する者を抽出」と設定。 2医療機関以上かつ6医薬品以上を処方された被保険者	医療費適正化に関する事業の効果を検証するためのアウトカム指標。
多剤処方の状況	KDB（重複・多剤投与の状況）	3月時点の値を採用。 検索の際は、絞込みで「薬効分類単位で集計」、資格情報を「選択した診療年月に資格を有する者を抽出」と設定。 30処方日数以上かつ5医薬品以上処方された被保険者	医療費適正化に関する事業の効果を検証するためのアウトカム指標。
後発医薬品使用率	厚生労働省「保険者別の後発医薬品の使用割合」	3月診療分の値を採用。	医療費適正化に関する事業の効果を検証するためのアウトカム指標。

三種町国民健康保険第3期データヘルス計画
第4期特定健康診査等実施計画

発行年月 令和6年3月

発 行 三種町

編 集 三種町健康推進課 医療年金係

〒018-2401

秋田県山本郡三種町鵜川字岩谷子8番地

電話:0185-85-2137

FAX:0185-85-2178